

八  
61

日本大學明治卅五年  
法律科第二學年講義錄

保險法

栗津清亮

035433-000-3

八-61

保險法

栗津 清亮/著

[ M45 ? ]

BBO-0633



法學博士 栗津清亮君講述

保  
險  
法

完

日本大學發行

大正  
2. 9. 1  
製本

寄贈本

# 保險法目次

第一章	保險契約ノ定義	一
第二章	保險契約ノ種類	五
第一節	損害保險契約及ヒ生命保險契約	五
第二節	營業保險契約及相互保險契約	一一
第三節	諸種ノ保險	一四
第三章	保險契約ノ性質	二八
第一節	保險契約ハ射倖契約ナリ	二九
第二節	保險契約ハ條件付契約ナリ	三二
第三節	保險契約ハ損害填補ノ契約ナリ	三三
第四節	保險契約ハ隨意ノ契約ナリ	三五
第五節	保險契約ハ不要式ノ契約ナリ	三六
第六節	保險契約ハ對人契約ナリ	三九

第七節	保險契約ハ善意契約ナリ	四〇
第八節	保險契約ハ双務有償ノ契約ナリ	四一
第九節	保險契約ハ獨立ノ契約ナリ	四二

#### 第四章 保險契約ノ要素

第一節	被保險利益	四六
第一款	保險ノ目的ト保險契約ノ目的	四七
第二款	被保險利益ノ必要	五〇
第三款	被保險利益ノ存在スル場合	五三
第四款	保險價額	六二
第五款	保險金額	六八
第六款	超過保險	七一
第七款	一部保險	七二
第八款	重複保險	七五
第九款	共同保險	八二

第十款 再保險 ..... 八二

第十一款 集合保險總括保險及ヒ繼續保險 ..... 八六

#### 第二節 危險

第一款	危險ノ觀念	八八
第二款	危險ノ要件	九一
第三款	危險ノ種類	九六
第四款	危險ノ變更增加	一〇二
第五款	告知義務	一一二
第三節	保險期間	一二三
第一款	保險期間ノ意義	一二四
第二款	保險期間ノ確定	一二六
第三款	保險期間ノ中斷及ヒ短縮	一二九
第四節	保險料	一三一
第一款	保險料ノ性質	一三一

第二款 保險料ノ不可分……………一三三

第三款 保險料ノ増減……………一三九

第四款 保險料ノ拂込時期……………一四〇

第五款 保險料拂込ノ場所……………一四七

第五章 保險契約ノ當事者……………一四九

第一節 保險者……………一五〇

第二節 保險契約者……………一五二

第三節 被保險者……………一五四

第四節 保險金受取人……………一五六

第六章 保險契約ノ效力……………一五九

第一節 保險者ノ權利義務……………一六〇

第二節 保險契約者被保險者及保險金受取人ノ  
權利義務……………一六〇

第一款 保險契約者被保險者及保險金受取人

ノ權利……………一六〇

第二款 保險契約者被保險者及保險金受取人ノ  
義務……………一六一

第七章 保險契約ノ時效……………一七四

保險法目次終

# 保 險 法

法學博士 粟津清亮 講述

## 第一章 保險契約ノ定義

保險契約ニ對シテハ古來數種ノ定義アリ斯ノ如ク定義ヲ異ニスル所以ハ固ヨリ學者ニ依テ其ノ見解ヲ異ニシタルニアルヘシト雖モ思フニ是レ畢竟時代ノ變遷ト共ニ保險契約モ亦其ノ性質ヲ變シ來リ時ノ學者カ之ニ從テ異ナリタル定義ヲ下シタルニ非ラサルカ昔時ノ法學者例令ハ「ロックス」カ保險契約ハ一人カ報酬ノ爲メニ他人ノ物ニ關スル危險ヲ引受ケ若シ其ノ物カ損失スル時ハ之ニ付テ賠償ヲ爲ス契約ナリト言フカ如キ先ツ保險契約ニ於テ物件ヲ保險ノ目的トシ且ツ賠償ト云フ事ヲ第二ノ要件トシタルナリ「ニメリゴン」ノ如キモ保險トハ海上ヲ運送セラルル物ニ對スル賠償ノ契約ナリト云ヒ「アローゼ」ノ如キモ亦類似ノ定義ヲ下セ

リ此等ノ學者ハ皆保險法學者ノ元祖トモ云フヘキ人ナリト雖モ今日ニ於テ之ヲ見ル時ハ頗ル失當ナル定義ヲ與ヘタル者ト謂ハサルヘカラス今日ニ於テハ吾人カ假令ハ船舶又ハ家屋商品等ノ物件ヲ保險ニ附スルノミナラス雇人カ消費携帶スル場合ノ損害ヲモ保險シ又人ノ生命ヲモ保險ニ附シテ之カ死亡シ又ハ疾病ニ罹リ若ハ負傷ヲ爲シタル場合ヲ保險スルニ至リ必シモ物ニ付テノミ吾人ヲ保護スル者ニ非ラス又賠償ト云フ點ニ就テモ今日ニ於テハ損害ヲ排除輕減スル行爲ノミニ限ラス損害ヲ離レテ尙保險金ノ給付ヲ爲スト云フ思想ノ發生ヲ見ルニ及ヘリ此等ノ事實ハ昔時ニ於テ存在セサリシヲ以テ前述ノ定義モ亦今日ヨリ見レハ失當ノ感ヲ免レサルナリ然ルニ保險事業ノ擴張ト之ニ關スル法律思想ノ發達スルニ及ヒ保險契約ノ目的トスル所ハ物ニ非ラスシテ人カ物ノ上ニ有スル利益關係若ハ人カ他人ニ對シ有スル利益關係即チ物權並ニ債權ヲ保護スル所ノ行爲ナルコトヲ認ムルニ至レリ假令ハ「メイ」ノ如キ保險契約トハ當事者ノ一方カ報酬ヲ受ケテ一方カ損害ヲ蒙リタルトキ之ヲ賠償セント欲スル契約ナリト云ヒ「マーシャル」ハ保險契約トハ一人カ約定ノ報酬ヲ受ケテ他ノ一方ニ對シ其ノ臨メル危

險ニ關スル事故ノ發生ニ際シテ賠償ヲ爲サント約スルモノナリト謂ヒ多クノ學者ハ之ト大同小異ノ定義ヲ下シタリ然レトモ尙損害賠償ト云ヘル文字ヲ使用シ此思想ヲ脱却セサリキ殊ニ損害賠償ナル文字ハ自己ノ過失又ハ不法行爲ニ因リテ他人ニ損害ヲ被ラシメタル場合ニ其責ニ任スルトキニ用フルモタニシテ之ヲ保險ニ應用スルコト適當トナラス是ヲ以テ「グレイ」ノ如キハ保險契約ハ當事者ノ一方カ報酬ヲ受ケテ他ノ一方カ或目的ノ上ニ有スル利益ヲ害セラレタル場合ニ之ニ對シ指定ノ金額ヲ支拂フコトヲ約スル所ノ合意ナリト云ヒ又「エーレムベルヒ」ハ保險契約トハ當事者ノ一方カ報酬ヲ受クル代リニ不確定ニシテ且ツ經濟的損害ヲ引起ス所ノ事故ノ發生ニ際シ財產ノ給付ヲ約スル所ノ獨立ノ契約ナリト説ケリ此等ノ定義ハ今日ノ學說トシテ充分勢力ヲ保ツモノナリト雖モ之ヲ世界各國ノ立法並ニ習慣ニ照ストキハ必スシモ之ヲ以テ總テノ保險契約ヲ覆フ能サルカ如シ何トナレハ假令ハ指定ノ金額ヲ支拂ヒ給付スト云フモ實際ニ於テハ金錢ヲ以テ給付セスシテ現物ヲ以テ爲シ又ハ修繕再建等ヲ以テ契約ヲ履行スルコトアリ又或立法例ニ於テハ毫モ經濟上ノ損害ノ證明ヲ要セスシテ保險契約ノ成

立ヲ認ムル所アレハナリ我カ商法ニ於テハ第三編第十章ニ於テ保險ニ關スル一般ノ規定ヲ設ケ又第五編海商ノ部ニ於テ第五章ニ特ニ海上保險ニ關スル規定ヲ設ク而シテ此等ノ規定ニ依リテ見ルトキハ保險契約ヲ損害保險ト生命保險ノ二種ニ分チ之ニ對シテ各別々ナル定義ヲ下セルヲ以テ我商法ノ研究ニ於テハ同一ノ定義ヲ以テ二種ノ保險ヲ覆フコトハ不便ナルノ恐アリ依テ先ツ損害保險ノ何タルヤヲ説カンニ商法第三百八十四條ニ曰ク「損害保險契約ハ當事者ノ一方カ偶然ナル一定ノ事故ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ヲ填補スルコトヲ約シ相手方カ之ニ報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス」ト

此ノ規定ニヨレハ前ニ舉ケタル「エーレムベルヒ」ノ定義ノ如ク損害ノ發生ニ對シ財產ノ給付ニ依リテ之ヲ填補スルト云フ行爲ヲ認ムルモ生命保險ニ對シテハ全く異ナリタル定義ヲ與ヘ乃チ第四百二十七條ニ生命保險契約ハ當事者ノ一方カ相手方又ハ第三者ノ生死ニ關シ一定ノ金額ヲ支拂フヘキコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生スト規定シ全ク損害填補ナル文字ヲ除去シ從テ生命保險ニ於テ此ノ思想ノ存在ヲ認メサルニ似タリ此ノ如

キ立法ノ下ニ於テハ自ラ保險契約ノ種類ニ因リテ異ナリタル定義ヲ下スノ必要アルヘク又此ノ異ナリタル定義ニ付キ比較論評スルトキハ自ラ保險契約ノ性質ヲ了解スルニ便ナルヘシ依テ次章ニ之ヲ詳論セントス

## 第二章 保險契約ノ種類

### 第一節 損害保險契約及ヒ生命保險契約

前章ニ於テ其ノ一斑ヲ述ヘタルカ如ク我商法ハ第三編第十章保險ノ下ニ損害保險ト生命保險トヲ並ヒ規定シ損害保險ノ下ニ火災運送ノ二保險ヲ置ケリ而シテ海上保險ハ歷史上並ニ實際上海上商業ト密接ナル關係ヲ有スルヨリシテ特ニ之ヲ第五編第五章ニ容レタリト雖モ性質上當然損害保險ニ屬スヘキモノナリ左レハ我商法ハ保險契約ヲ區別シテ生命保險ト損害保險ノ二種トシ更ニ損害保險ヲ區別シテ火災運送海上ノ三種ト爲セシカト云フニ決シテ然ラサルヘシ何トナレハ我商法ノ起草者ハ此等ノ種類ノ外ニ他ノ保險契約アル事ヲ知ラサルモノニアラサルハ勿論ニシテ商法修正案參考書中ニモ此ノ事ノ明言サルルヲ見ルヘシ然リ既ニ信用保險徵兵保險等ノ實行アリ又日ナラシテ傷害保險ナル者創始セラ



レントスル狀況ナレハ將來尙諸種ノ保險契約ヲ見ルニ至ルヘシ而シテ果シテ我立法者カ當時現存スル者ニ對シ規定ヲ設ケ他ハ保險ノ原則ト當事者間ノ約束ニ讓リタルモノトセハ余輩ハ我商法カ保險ノ規定ヲ設クルニ採リタル系統ノ不完全ナルヲ思ハサルヘカラス何トナレハ我商法ニ於テ保險ノ總則ヲ設クト雖モ是レ損害保險ニ對スル總則ノミニシテ立法者ノ意ハ損害保險ト生命保險トハ全ク別種ノ者ナルカ故ニ之ニ對シテ總則ヲ設クルコト不能ナルカ又ハ至テ不便ナルカ故ニ保險契約全體ニ對スル總則ヲ設ケスト云フニアルナラン然トモ實際ニ付キテ見ルニ假令ハ徵兵保險ノ如キ又ハ疾病保險ノ如キ我商法ノ定義ニ從ヘハ生命保險トモ又損害保險トモ云フコトヲ得サルモノニシテ現ニ存在シ又將ニ發生セントスルニ當リ保險契約全體ニ對スル原則ナクンハ吾人ノ不便云フヘカラス斯ノ如キ新種類ノ保險契約ニ對シテコソ却テ法律ノ準備ヲ要スルニ非スヤ若シ又保險原則ハ實際ノ約束ニ任スヘシト云フナラハ既ニ進歩シタル保險ノ種類ニ對シテハ更ニ法律ヲ設クルノ必要ナキニ非ラスヤ近來我商法中保險契約ニ關スル規定ノ不便ニシテ且不穩當ナル箇所ヲ修正スル議アリ我國保險業者ノ團體ニ

於テモ之ヲ調査シ此點ニ關スル現行商法ノ不便ヲ示シ保險契約全體ニ關スル總則ノ制定ヲ希望スル旨政府ニ建議セリ而シテ此ノ事納レラルルヤ否ヤハ保スヘカラサルモ以テ自ラ世論ノ一致スル所ヲ知ルニ足ルヘシ損保保險ト生命保險ト相異ナリタル點ヲ茲ニ説明スルニ當リテ余輩ハ損害ナル文字カ如何ナル意義ヲ有スルヤヲ研究セサルヘカラス先ツ古來保險制度ニ對シ學者ノ採取シタル所ノ思想ニヨレハ保險契約ハ常ニ吾人カ蒙ルコトアルヘキ損害ニ對スル救濟ノ動機ヨリ生シタル契約ナルヲ以テ損害保險契約ト云フハ寧ロ無用ニシテ重複ナルノ感アリ故ニ此ノ損害ナル文字ハ廣キ意味ト解釋スルトキハ頗ル不適當ナル結果ヲ生スヘシ此ノ法律案先年議會ニ提出サルルニ當リ政府員タル岡野博士カ議員ノ質問ニ應シ答辨シタル所ニヨレハ損害保險ト生命保險ト異ナル所ハ前者ハ實際發生シタル損害ノ實額ヲ計算シテ填補スルコトヲ得ル種類ヲ云ヒ生命保險ハ之ニ反シ常ニ一定ノ金額ヲ支拂フモノナルヲ以テ此ノ見地ヨリスレハ損害保險ハ所謂實損保險ト解スヘシト説明セラレタリ博士ノ説明ニヨレハ恰モ獨逸ニ於テ多ク行ハルル所ノ損害保險並ニ定額保險ノ區別ニ一致シ唯生命保險並ニ其

他之ニ類似セル定額保險ヲ之ニ對峙セシメサルノ相違アルノミ然レトモ岡野博士ノ説明ハ我商法ノ客觀的解釋ト一致セサルノ恐アリ即チ第三百八十五條ニ於テ損害保險契約ハ金錢ニ見積ルコトヲ得ル利益ニ限り之ヲ其ノ目的ト爲スコトヲ得ルトアリ契約成立ノ時ニ既ニ之ヲ金錢ニ見積リ得ヘキ利益カ存在セサル場合ニハ之ヲ損害保險ト云フ能サルカ如シ然ルニ我國ノ法律ニ於テ損害ト稱スルモノハ決シテ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ノ喪失ヲノミ云フヘキモノニアラス總テ法律上ノ利益ノ喪失ヲ云フモノニシテ民法第三百九十九條第七百九條第七百十條等ニヨルモ我法律ハ損害ナル文字ヲ斯ノ如キ狹義ニ使用セス金錢ニ見積ルコトヲ得サル損害ヲモ亦損害ト云フニ似タリ然ラハ茲ニ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ニ限り保險スルモノニ對シ損害保險ナル文字ヲ用フルハ民法トノ一致ヲ缺キ世人ノ誤解ヲ來タスノ恐アリト云ハサルヘカラス而シテ之レ止ムヲ得ストスルハ吾人ハ我商法ニ所謂損害保險ナルモノハ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ヲ保險スル契約ニシテ生命保險ハ金錢ニ見積ルヲ得サル利益ヲ保險スルモノナリト解釋スルヲ穩當ナリト言ハサルヘカラス但シ此場合ニ於テ金錢ニ見

積ル事ヲ得ヘキモノト云フハ社會ノ取引相場又ハ鑑定人ノ斷案ニ依テ決定セラ  
ルヘキノ意ナリト解釋セサルヘカラス即チ客觀的價額ヲ有スル利益ト解釋セサ  
ルヘカラス假令ハ人類ノ生命ト雖トモ必スシモ全ク金錢ヲ以テ計算スルコト能  
ハスト云フコトヲ得サルモノニシテ假令ハ或者カ他人ノ不法行爲ニヨリ身體上  
ノ障害ヲ蒙リ又死亡シタル場合ニ於テ國家ハ斯カル被害者ニ對シ法律上損害賠  
償ヲ請求スノ權利ヲ附與セリ而シテ此ヲ如キ場合ニ於テ往々被害者ニ對スル損  
害ノ豫想額ヲ決定シ被害者又ハ被害者ノ遺族ニ慰藉料ヲ給與スルニ當リ被害者  
ノ從業能力並ニ四邊ノ事情ヲ考察シテ之ヲ決定スルカ如キ廣キ意味ヨリ云フ時  
ハ人ノ生命ニ付テモ亦金錢上ノ計算ヲ爲スコトヲ妨ケサルモノト謂フコトヲ得  
ン然レトモ茲ニ言フ處ノ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキモノトハ此カル場合ヲ除外  
シタル者ニシテ只市價又ハ數人ノ客觀ニヨリ直ニ定マルコトヲ得ル利益ニ限定  
セラレタルモノナリ次ニ尙一言スヘキコトハ我商法ニ於ケル生命保險ハ生死ニ  
關シ一定ノ金額ヲ支拂フト規定スルヲ以テ古來ヨリ往々學者ノ唱道シタル條件  
附支拂ノ契約又ハ一定金額給付ノ契約ニシテ其ノ名稱ヲ縱令保險ト云フトモ實

際保險契約ノ性質ヲ有セスト説ク學者アリト雖トモ我立法者ハ斯ク迄斷然タル主義ヲ有シタルニアラスシテ寧ロ余カ先ニ爲シタルカ如ク解釋スルヲ穩當ナリト云フヘシ若シ論者ノ云フカ如ク解釋セハ吾人ハ生命保險ニ對シ被保險利益ヲ説ク能ハス又危險ト云フ事ノ一般存在ヲ説クヲ要セス只生及死ト云ヘル事件ノ發生ヲ條件トシテ保險金ト稱スル金額ヲ授受スルニ過キササル一種ノ賭事ニシテ恰モ勝又ハ敗ト云ヘル一種ノ出來事ヲ條件トシテ金錢ヲ授受スル競馬ニ於ケル馬券賣買ト擇フ所ナカルヘシ然レトモ之レ保險ノ發生シタル動機ニ非ラス又今日世人カ生命保險ヲ利用スルノ主義ト合スル者ニアラス斯ノ如キ説ハ徒ラニ奇ヲ好ンテ事實ニ合セサル者ト云ハサルヘカラス而シテ最後ニ此生並ニ死ト云フ文字ニ付テ往々議論アリ死ニ付キテハ死亡ノ外想像スヘキモノナシト雖モ生ニハ獨リ生存ノミヲ指スカ將タ又出生ヲモ意味スルヤノ疑問アリ商法ノ起草者ノ中ニモ其意見ヲ異ニスルモノアリシカ現今ハ出生ヲ包含セサルヲ一般ノ解釋トス又生存ト云フ文字ニモ一定時期ニ於ケル生存ノミヲ云フヤ將タ又生存中ノ出來事或ハ生存ニ關スル出來事假令ハ疾病又ハ負傷等ヲモ包含スルヤノ疑問アリ

之ニ付テモ商法修正案參考書ノ中ニハ生トハ生存並ニ病傷ヲモ包含スト説明シアレトモ今日ノ一般解釋ハ或一時期迄ノ生存或ハ一定期ノ生存ヲ指ストセリ此ノ解釋ハ我國ニ行ハルル生命保險ノ實際ニ照シ斷定シタルモノニシテ我國ニ於テ今日迄生命保險ト云フハ狹義ノ所謂生命保險ニシテ人ノ死亡並ニ生存ヲ意味スルモノナリ此解釋ノ結果トシテ先年某地方ニ産兒保險ナルモノヲ發起シタル者アリシカ農商務省ハ之ヲ生命保險ト解釋シ地方裁判所ノ檢事ニ通牒シテ檢事ヲシテ免許ヲ受ケスシテ保險事業ヲ營メリトノ廉ヲ以テコレニ解散ヲ命シタリシニ會社ハ抗告ヲ爲シ遂ニ大審院ニ於ケル判決ノ結果産兒保險ハ生命保險ニアラス又固ヨリ損害保險ニアラス故ニ我カ國ノ立法ニ於テ法律ノ制裁ヲ蒙ルヘキモノニアラストセラレタルコトアリ然ラハ如何ナル保險ニシテ我商法上如何ナル規定ニヨリ拘束セラルルヤト云フニコレニ對スル準則ナシ此等ノ實際ノ事例ヨリスルモ我商法カ保險ニ對シ損害保險ト生命保險トニ分チ其他ノ保險ニ付キ間フトコロナキ立法上ノ不備ヲ指摘スルコトヲ得ルナリ

## 第二節 營業保險契約及相互保險契約

普通保險契約ト稱スルハ商行爲ニシテ且ツ保險契約ノ性質上又是ヨリ生シタル保險業法ノ如キ行政法ノ規定ニヨリ保險者ナルモノハ常ニ多數ノ相手方ニ對シ此ノ契約ヲ締結スルモノナルヲ以テ之ヲ營業保險契約ト云フコトヲ得ヘシ我國ニ於テハ從來保險契約ハ營業保險ナリシカ明治三十三年保險業法發布ノ結果相互保險會社ナルモノ認メラルルニ至リ初メテ相互保險契約ナル者ノ實行ヲ見ルニ及ヘリ是ニ於テカ營業保險契約ト相互保險契約ノ區別ヲ説カサルヘカラス我國ノ立法ノ下ニ於テハ營業保險契約トハ保險事業ヲ營業トスル株式會社ト保險契約者トノ間ニ結ハルル所ノ契約ニシテ其内容ハ即チ我商法ノ第三百八十七條又ハ第四百二十七條ノ定ムル所ニ適合スト雖トモ相互保險契約ハ保險契約者カ相互保險會社ナル者ヲ設立シ又ハ之ニ加入シテ其社員ノ一人ト爲リ同時ニ新商法ノ規定スルカ如キ保險契約ノ權利義務ヲ負フモノナルカ故ニ兩者ノ區別ハ頗ル大ナルモノト云ハサルヘカラス因テ茲ニ便利上相互保險契約ナルモノヲ分析スルトキハ吾人ハ之ヲ左ノ二種ノ法律行爲ヨリ成ルモノト云フヲ得ヘシ

(一) 相互保險會社ヲ設立シ又ハ之ニ加入シテ社員タラントスルノ行爲

(二) 保險契約者トシテ保險契約ヲ締結セントスル行爲

此ノ二種ノ行爲ヲ同時ニ一ノ契約ニヨリ行ハントスルモノナルカ故ニ一ノ保險契約ニヨリ二個ノ關係即チ我保險業法ニ所謂社員關係並ニ保險關係ヲ作ルモノナリ或學者ハ相互保險契約ノ性質ヲ説クニ付キ三種ノ學說アルヲ主張シ一ヲ契約説一ヲ團體説一ヲ兩立説ト爲スト謂ヘリ乃チ契約説トハ之ヲ純然タル保險ナリトスル説ニシテ團體説ハ團體ヲ作り之ニ加入スルノ行爲ニシテ保險ハ只其ノ目的ニ過キスト云フニアリ而シテ兩立説ハ余カ今述ヘタルカ如ク二種ノ行爲ヲ同時ニ行ヒ而シテ此ノ二ノ行爲ハ互ニ獨立セルモノニアラスシテ因果ヲ作ラサルヘカラサルモノナリト云フ説ナリ此ノ如キ數種ノ説ハ要スルニ之ヲ觀ルモノノ觀察如何ニヨリ保險契約ニ重キヲ置キ相互保險會社設立ノ行爲ヲ從タルモノトスル者ハ契約説ヲ主張スヘシト雖モ今日ノ立法ノ下ニ於テハ缺點アル説ト言ハサルヘカラス又團體説ハ論理上正當ナルカ如キモ保險關係ヲ作ランカ爲メ團體ヲ設立シ又ハ加入スルト云フ行爲ハ或ハ鐵道ヲ布設シ或ハ工業ヲ起サントスル行爲トハ異ナルモノニシテ寧ロ團體ヲ作りテ利益ヲ擧ケントスルヨリハ此團

體ヲ手段トシテ保險ノ目的ヲ果サントスルニアルヲ以テ實際迂遠ナル説ト云ハサルヘカラス而シテ相互保險會社ノ規定ニ對シテハ如何ナル法律ヲ適用スヘキヤト云フニ我商法第四百十八條ニ本節ノ規定ハ相互保險ニ之ヲ準用ス但シ其性質カ之ヲ許ササルトキハ此ノ限リニアラスト規定シ即チ社員關係ナル如キ特別ナル性質ト衝突スル場合ヲ除キ其ノ他ノ場合ニ於テハ總テ商法ノ規定ヲ準用スルコトトナシ生命保險ニ付テモ第四百十八條ヲ更ニ準用スルコトトセリ之ヲ以テ見ルモ相互保險契約ハ實際上普通ノ保險契約トシテ取扱ハレツツアルヲ見ルヘシ

### 第三節 諸種ノ保險

前二節ニ於テ述ヘタル保險ノ種類ハ我國ノ商法ニ於テ見ル所ノ標準ニ依リテ區別シタル所ノモノナレトモ外國ニ於テハ必スシモ斯ノ如キ區別ヲ採用スルト限ラス又實際學者間ニ於テ用ヒラルル所ノ保險ノ種類ニ關スル言語ハ尙多ク存在スルヲ以テ本節ニハ此等ノ實際並ニ外國ニ於ケル立法例ニ基ツキテ諸種ノ保險契約ノ種類ヲ紹介セント欲ス而シテ茲ニ便利ノ爲メニ先ツ保險ノ目的タルモノ

カ物件タルト人類タルト並ニ無形ナル權利關係タルトノ差異ニヨリテ保險ノ種類ヲ分類シ之ニ對シ各保險契約ナルモノカ存在スルコトヲ指示セント欲ス

#### 第一物ノ保險

此ノ稱ハ英米ニ於テハ見サル所ノモノニシテ主トシテ獨逸系統ニ屬スル國ニ於テ用ヒラルル所ノ言語ナリ其ノ意味ハ保險カ物ニ關シテ行ハルルノ義ニシテ我商法ニ所謂保險ノ目的カ物件ナル場合ヲ謂フ之ニ屬スル主要ナルモノハ左ノ如シ

##### 甲 火災保險

一般ニ家屋其ノ他ノ建設物例令ハ凱旋門廣告燈橋梁其他ノ建物ハ勿論山林ノ立木ノ如キモノヲモ火災ニ對シテ保險シ之ヲ不動産火災保險ト稱セリ之ニ對シ動産火災保險アリ家屋其他ノ建物ニ藏セララル家具衣服等ノ動産ヲ保險スルモノニシテ此ノ保險ノ通俗ナルコトハ今日世界ニ於テ苟モ保險ノ存在スル所ニ之カ行ハレサル所ナク我カ商法ニ於テ之ヲ損害保險ノ主要ナルモノトシテ特ニ第四百十九條乃至第四百二十二條ニ之ニ關スル規定ヲ設

ケタリ

## 乙 海上保険

此ノ保險ハ保險ノ最モ古キ者ニシテ主ニ商業上ノ取引ニ行ハルルモノナレトモ極メテ有力ナル保險ノ種類ナレハ茲ニ事々敷説明スルヲ要セス之ニ船體保險ト積荷保險アリ又本船保險ト區別スル爲メニ舢舨保險ト稱スル名稱アリ此等ニ付テ我商法ニ於テハ特ニ第五編海商ノ中ニ一章ヲ設ケ第五章保險トシテ規定セリ

## 丙 運送保險

海上保險モ運輸ニ關スル保險ナルヲ以テ外國ニ於テハ海上運送保險ナル言語アレトモ日本ニ於テハ運送保險ト言ヘハ總テ海上以外ノ運輸ニ付テ行ハルル保險ヲ指セリ即チ汽車ノ如キ全ク陸地ヲ交通スルモノハ固ヨリ河川並ニ湖沼ノ運送ニ付テ其運送荷物ノ保險ヲ行フモノヲ謂フ而シテ汽車其ノモノ或ハ河川ニ浮ヘタル汽船其船舶ノ船體保險ハ如何ニ取扱ルルヤト云フニ我商法ニ依リテ之カ運送保險ノ範圍ニ屬スルモノトハ想像スヘカラサルヲ

以テ船體ニ付テハ海上保險ニ屬シ汽車其者ニ付テハ運送保險會社カ特別ナル引受ヲ爲スヨリ外道ナシトス

## 丁 收穫保險

穀物果物ノ安全ナル收穫ヲ目的トスルモノニシテ我國ニ於テハ未タ行ハレサルモ外國ニ於テハ多ク見ル所ナリ其ノ著シキモノハ獨逸瑞西伊太利等ニ行ハルル所ノ雹害保險、風害保險等アリ

我舊商法ニ於テハ收穫物ノ保險ニ付テ多少ノ規定ヲ見タレトモ現行商法ニ於テハ之ヲ除去セリ

## 戊 家畜保險

牛馬豕羊鷄犬ニ付キテモ其斃死ニ對シテ保險スルモノニシテ之モ我國ニ於テ屢々計畫セラレタルモ未タ開始ヲ見サルノ種類ナリ

## 己 玻璃保險

店舗ノ玻璃、姿見窓等ヲ降雹地震其他天然並ニ人爲ノ炎害ニ對シテ保險スルモノニシテ玻璃板ノ利用盛ナル國ニ於テ見ル所ナレトモ我國ニ於テハ未タ

開始セラレス

庚 水道保險

水道管ノ破損水道栓ノ遺忘等ノ爲メニ家屋什器ノ破損濡霑ヲ填補スルモノ  
ヲ云フ

辛 盜難保險

盜賊ノ被害ヲ填補スルモノニシテ之モ我國ニハ未タ見サル所ナリ  
以上ヲ主ナル物ノ保險トシ此ノ外暴風雨ニ對シテ家屋其他ノ建物ヲ保險スル  
暴風保險馬車自動車等ノ破損ヲ保險スル車輛保險之ニ類似ノ自轉車保險健保  
險釀酒保險汽罐保險機械保險蝙蝠傘保險等アリ而シテ此等第二流ノ保險ノ中  
我國ニ於テ最近ニ蒸汽汽罐ノ破裂ヲ保險スル所ノ汽罐保險株式會社ノ設立ヲ  
見又海上保險ノ一種類トシテ帆船ヲ營業トスル日本帆船保險株式會社ノ設立  
ヲ見タリ故ニ前記ノ諸種ノ保險ハ漸ク我國ニ創始セララルルニ至ルヘク而シテ  
各種類ニ特種ナル法律關係モ自ラ發生スルヲ免レサルヲ得サルナリ

## 第二、人保險

人保險トハ人ニ關シテ保險ノ行ハルル場合ニ云フモノニシテ人ニ關スルトハ  
人ノ生命ニ關シ又ハ人ノ生存中身體ニ關スル諸種ノ出來事ニ付テ保險ヲ爲ス  
ノ義ナリ其ノ主要ナルモノ左ノ如シ

甲 生命保險

此ノ文字ニモ廣狹諸種ノ別アリト雖モ我國ニ於テハ人ノ生死ニ關シテ保險  
金ノ給付ヲ行フモノトスルハ前章ニ述ヘタルカ如シ之ヲ生並ニ死ノ點ヨリ  
觀察スルトキハ死亡保險生存保險並ニ混合保險ノ三種ト爲スコトヲ得而シ  
テ此ノ種類ニ依リテ大ニ法理ヲ異ニスルコトヲ知ラサルヘカラス混合保險  
トハ死亡生存兩保險ヲ混合スルノ意ニシテ一人ノ被保險者ニ付キ之カ死亡  
シタル場合ニ保險金ノ給付ヲ爲シ又ハ之カ或ル一定年齢迄生存シタル場合  
ニ保險金ノ給付ヲ爲スト云フモ死亡ト生存ト兩立セサルモノナレハ混合保  
險ト云フ名稱ハ寧ロ當ラスト云フ說ヲ爲スモノアレトモ一ノ契約ニ依リテ  
二種ノ義務ヲ負ヒ其ノ義務ノ履行カ交互ノ條件タル點ノミヨリ云ヘハ混合  
保險ナル文字モ必スシモ非難スルニ及ハズ殊ニ慣習上永ク用ヒラレタル言

語ナレハ學者ノ異說ヲ尊重スルニ足ラサルヘシ  
 次ニ被保險者ノ一人ナルト數人ヲ連接シタルトノ差異ニヨリ單生保險聯生  
 保險ノ區別ヲ爲スコトヲ得又一定額ノ保險金ヲ給付スルト年金ノ形ニ於テ  
 給付スルノ差異ニヨリ原本保險ト年金保險ノ區別ト爲スコトヲ得  
 而シテ最後ニ年金保險ハ年金受取人ノ生存ノ長短ニヨリ實際救済<sup>ニ</sup>ノ差  
 異ヲ生スルヲ以テ嚴格ニ云フトキハ我カ商方カ生命保險ヲ定義シテ當事者  
 ノ一方カ相手方又ハ第三者ノ生死ニ關シ一定ノ金額ヲ仕拂フ云々ト文字ニ  
 適合セサルノ感ナキヲ得ス

## 乙 疾病保險

吾人カ疾病ニ罹リ一定ノ期間職業ニ従事スルコトヲ得サル場合ニ其間得ル  
 能ハサル給料又ハ治療ニ要スル金額等ニ填補スル保險ニシテ例令ハ日給一  
 圓ヲ得ル所ノ職工カ疾病ニ罹リ十日間休業シタルトキハ明ニ十圓ノ損害ヲ  
 蒙リ又醫師ニ診察料藥料トシテ五圓ヲ拂ヒタリトセハ十五圓ハ金錢ニ見積  
 リ得ヘキ損害ナリトシテ之ヲ疑ハサルヘシ若シ此ノ如キ損害ヲ填補スル方

法ニヨリ疾病保險ヲ行ハハ我商法ノ立法者ハ之ヲ以テ損害保險ノ一種トセ  
 サルヘカラサルヘシ然ルニ實際ニ於テハ疾病保險ニ於ケル給與ハ必スシモ  
 其ノ現在給料並ニ醫療ノ實費ヲ計算スルニ非ラスシテ豫メ當事者間ニ其金  
 額ヲ協定シ置キ危險ノ發生ニ際シテ其ノ協定シタル金額ヲ授受スルモノト  
 セリ此ノ點ニ於テハ生命保險ニ於テ死亡又ハ生存ノ場合ニ支拂フヘキ保險  
 金ヲ豫メ協定スルト同一ニシテ之ニ付テハ生命保險ト同一ノ性質ヲ有スル  
 モノト云ハサルヘカラス斯ノ如キ保險ノ種類ハ尙他ノ種類ニ於テモ見ルコ  
 トヲ得ヘキカ故ニ前章ニ述ヘタル損害保險ト生命保險トノ區別ヲ研究スル  
 ニ付キ吾人ノ須ラク參考セサルヘカラサル事實ナリトス

丙 傷害保險 奇災保險災害保險又ハ怪我保險トモ稱ス吾人カ疾病以外ノ不  
 慮ノ災害ニ遇テ身體上ノ損傷ヲ蒙リタル場合ニ之ニ對シテ保險金ノ授受ヲ  
 爲ス所ノ保險ノ種類ニシテ通常之ヲ三種ニ區別シテ實行セリ(一)ハ職業傷害  
 保險ト稱ヘ例令ハ鑛山業航海業鐵道業務土木事業其他危險多キ事業ニ従事  
 シ又ハ電機蒸汽其他ノ動力ヲ使用スル所ノ工場ニ職工トシテ従事スル如キ



モノニ對シ保險ヲ行フモノ(二)ハ日常傷害保險ト稱シ吾人カ日常起臥歩行運動散策其ノ他總テノ行動中ニ起リタル傷害ニ對シテ保險スルモノ(三)ハ旅行傷害保險ト稱シ例令ハ汽車汽船其他諸種ノ交通機關ヲ利用シ旅行中其ノ交通機關ノ出來事ノ爲メ吾人ノ蒙ル所ノ傷害ヲ保險スルモノトス  
此ノ保險ニ於テモ亦疾病保險ニ於ケルカ如ク保險金額ニ付テハ豫メ當事者間ニ於テ之ヲ協定シ置キ例令ハ重傷死ニ至リタル場合ニハ其ノ協定金額ノ全部ヲ支拂ヒ二肢以上ノ用ヲ失ヒタル場合ハ之ト同額右手又ハ右腕ヲ失ヒタル時ハ十分ノ六左手又ハ左腕ヲ失ヒタルトキハ十分ノ五片脚ヲ失ヒタル場合ニハ同上兩眼ヲ盲シタル場合ニハ保險金全額片眼ヲ盲シタル場合ニハ十分ノ三一指ヲ失ヒタル場合ニハ十分ノ一ト云フカ如ク豫メ定協シ此ノ豫想シタル以外ノ負傷ニ付キテハ其從業能力ヲ喪失シタル程度ニ應シテ相當ノ金額ヲ給付スル如キ方法ニシテ又治療ニ必要ナル費用ヲ辨スル爲メ或ハ保險者ノ設ケタル病院又タ治療所ニ於テ實際ノ治療ヲ爲シ或ハ治療ヲ要スル間毎日保險金ノ例令ハ千分ノ二ト云フカ如キ金額ヲ給スルカ如キ方法ヲ

設クルモノトス而シテ斯ノ如キ保險契約ニ對シテハ或ハ定額保險ト云フヘキ場合アルヘク又或ル場合ニハ損害保險トモ稱セサルヘラス

#### 丁 徴兵保險

此ノ保險ハ被保險者カ兵役ニ徵集セラレタル場合ニ保險金ヲ給付スル方法ニシテ抑モ人民カ國家ノ法律ニ從ヒ兵役ニ就クニ只法律ニ依遵スルノミナラス誠ニ忠君愛國ノ精神ニ遵フモノニシテ之ヲ危險ナリトスルコトハ一見不穩當ナルカ如ク思惟スル者ナキニアラサルヘシ然レトモ經濟上ノ觀念ヨリ云フトキハ生活能力ノ旺盛ナル壯丁ヲ徵集スルコトハ其ノ家族ニ取リテハ少ナカラサル苦痛ニシテ或ハ之レカ爲メニ衣食ニ窮スル者ヲ出スヘク或ハ之カ爲メニ妻子ノ飢餓ニ陷ルモノナシト云フヘカラス而シテ此ノ如キ苦境ニアル者ナラストモ兵役ニ從事スルトキハ少ナカラサル費用ヲ要スルコト實際アル所ノ事實ナリ此等ノ經濟上ノ損害並ニ避クヘカラル費用ヲ支辨セシムル爲メニ徴兵保險ヲ設ケ之ニ依リテ被保險者カ其ノ苦痛ヲ救済スルコトハ純然タル保險ノ思想ニシテ且ツ金錢上ノ損害ノ保險ナリト云フヘ

シ然レトモ各人ニ對スル實際ノ損害額ハ固ヨリ船舶家屋ノ破壊損傷ノ如ク直ニ市價ニ依リテ決定セラルモノニアラサルヲ以テ之等ノ損害ハ豫メ當事者間ニ於テ其ノ額ヲ協定シ所謂主觀的價額ニヨリテ保險スルモノト解釋セサルヘカラス

### 第三 權利義務ノ保險

此ノ種類ノ保險ハ保險ノ目的カ物又ハ人ノ如キ有形ノモノニアラスシテ被保險者カ他人ニ對シ有スル所ノ確定ノ債權又ハ利益ノ希望若ハ他人ノ爲メニ負擔セサルヘカラサル費用或ハ責任ヲ保險スルモノナリ而シテ其ノ目的カ債權ナル場合ニハ之ヲ債權保險ト云ヒ利益ノ希望ナル場合ニハ希望保險ナル名稱ヲ付スルコトアリ而シテ又他人ニ對シテ負擔スル責任ナル場合ニハ之ヲ責任保險又ハ義務保險ト稱ス次ニ先ツ債權ノ保險ヲ例示セハ

#### 甲 抵當保險

抵當物ノ價額下落シ又ハ當初價額アリト思惟セシニ後日其ノ價額ノ少ナキヲ發見シタル場合乃チ抵當債權ノ執行ニ際シ抵當物ノ價額カ債權額ヨリ少

ナキ場合ニ起リタル損害ヲ保險者ニ於テ填補スルモノヲ云フ

#### 乙 信用保險

信用貸金若ハ賣掛代金等ノ損失ヲ填補スル保險ニシテ或ハ製造元カ小賣商ニ對シ品物ヲ貸置キ或ハ農夫カ米穀問屋ニ依託シ置キタル場合ニ後者ノ破産又ハ不誠實ニヨリ損害ヲ蒙リタルカ如キ場合ニ填補ヲ受クル場合ヲ云フ現今我國ニ於テ信用保險ト稱スルモノアリ然レトモ之ハ茲ニ云フ所ノ信用保險ニアラス雇人ノ信用ヲ保險スルモノニシテ外國ニ於テ所謂保證保險又ハ誠實保險ヲ指スモノトス

#### 丙 證券保險

所有スル所ノ株券債券ノ減價額又ハ受取リタル手形ノ不拂等ニ對スル保險ヲ云フ

#### 丁 借料保險

家賃地代等ノ延滞又ハ不拂等ヨリ損失ヲ填補スル保險ナリ

#### 戊 誠實保險

保險法 保險契約ノ種類 諸種ノ保險

前ニ述ヘタル如ク現今我國ニ於テ信用保險ナル名稱ノ下ニ行ハルルト雖トモ其内容ハ使用人ノ不正行爲ニヨリ受ケタル損害例令ハ拐帶費消詐取等ノ爲メニ吾人カ吾人ノ有スル財産ニ對シテ蒙ル損害ノ保險ナルヲ以テ嚴格ニ云フトキハ物保險ノ部類ニ屬セシムヘキモノナレトモ人間ノ誠實ヲ保險スルト云フ方面ヨリ見又保險サレタル財産カ必スシモ常ニ家屋商品等ノ現ニ被保險者ノ有スルモノニ限ラス往々ニシテ金錢有價證券並ニ他人ヨリ受クヘキ將來ノ利益等ナル場合アルヲ以テ茲ニ別示シタルモノナリ

#### 己 失職保險

其ノ文字ノ示スカ如ク一定ノ職業アル者カ其ノ職ヲ失フ場合即チ官吏ノ免職職工ノ解雇等ノ場合ニ其ノ失職ヨリ生スル損害ヲ填補スル保險ナリ或ハ定期ノ試験ニ落第シ或ハ正當ノ理由アル事業ノ報酬ヲ得ル事カ偶然ノ出來事ノ爲メ妨ケラレタル如キ場合ニ保險金ヲ給付スルカ如キモノ發生セハ此ノ種ノ保險ト同一ニ取扱フヲ得ヘシ

#### 庚 同盟罷業保險

雇主其雇人ノ同盟罷業ノ爲メ營業ヲ停止シ從テ豫期ノ利益ヲ收ムル能サルカ如キ損害ヲ保險スルモノナリ最後ニ責任ノ保險ニ屬スルモノハ次ノ二トス

#### 辛 責任保險

發達シタル社會ニ於テハ雇主ト被雇者トノ間ニ法律ノ規定アリテ被雇者カ職業ニ從事シテ身體上ニ損傷ヲ蒙リタル時ハ雇主之カ賠償ノ責ニ任シ相當ナル金額ヲ給付セサルヘカラサル義務アルヲ普通トス例令ハ鑛山ニ於テ爆發其他不慮ノ災難ノ爲メニ坑夫カ負傷又ハ死傷シタル場合ニ雇主ハ責任上相當ナル金額ヲ支拂ハサルヘカラス斯ノ如キ責任ヲ怖レ豫メ保險契約ヲ締結シ保險者ヲシテ此ノ損害ノ填補ヲ行ハシムルモノ之ヲ責任保險ト稱ス此ノ如キ保險ノ經濟的技術的内容ハ先ニ掲ケタル職業傷害保險ノ内容ト一致スヘシ而シテ又吾人カ民法上自己ノ過失ニ依リテ他人ノ生命又ハ財産ニ付キテ損害ヲ蒙ラシメ賠償ノ義務ヲ果ササルヘカラサルノ責任アリ斯ノ如キ

場合ニ於テ之ヲ保險契約ニヨリ救済スル時ニ又責任保險ナル名稱ヲ見ルコトアリ

### 壬 再保險

此ノ保險ハ如何ナル種類ノ保險タルヲ問ハス保險者カ被保險者ニ對シ有スル所ノ保險的債務即チ損害填補ノ責任ヲ更ニ他ノ保險者ヲシテ保險セシムル方法ニシテ常ニ義務ノ保險ナリ而シテ火災保險ノ如キ所謂損害保險ノ再保險ニ於テハ其ノ損害填補ハ保險者ノ蒙リタル實損ヲ填補スルモノナレトモ生命保險ノ再保險ニ於テハ必シモ保險者本來ノ保險契約ニ於ケルカ如ク常ニ豫メ定メラレタル一定金額ノ給付ヲ爲スモノナル故ニ再保險ハ此意味ニ於テ必シモ常ニ損害保險ナリ又ハ定額保險ナリト論斷スルコトヲ得ス此ノ保險ニ付キテハ後ニ詳説スル所アルヘシ

### 第三章 保險契約ノ性質

保險契約ノ性質ハ此講義ノ進行ト共ニ漸次解明セラルヘキハ勿論ナリト雖トモ從來學者ノ間ニ之ニ關スル概括的ノ諸論アリテ吾人ノ參考トナルコト少カラサ

ルヲ以テ茲ニ之ヲ紹介シ聊カ論評ヲ加ヘント欲ス

#### 第一節 保險契約ハ射倖契約ナリ

射倖契約トハ當事者雙方ノ利益カ交互ノ條件ニ繋リ一方カ利益ヲ得ルトキニハ他方カ之ニ對スル損害ヲ蒙ルヘキ契約ニシテ而モ此利害ノ實現ハ常ニ偶然ナル事故ノ發生ニ繋ラサルヘカラス今之ヲ保險契約ニ付テ見ルニ先ツ被保險者ノ方面ヨリ觀察スレバ被保險者ハ決シテ保險ニヨリ僥倖ヲ得ントスルノ意ニアラス只自己ノ現ニ所有セル利益或ハ將來必然得ラルヘキ確實ナル利益ノ損喪ヲ回復セント欲スルノ意ニ外ナラサルカ故ニ縱令僅少ナル保險料ヲ拂ヒテ巨大ナル保險金額ヲ得タリトスルモ是レ決シテ僥倖ヲ得タルモノニアラス夫ノ富籤ヲ買フ場合ノ如ク例令ハ十圓ノ金ヲ投シテ新ニ一萬圓ヲ得ルコトアリトセハ保險モ射倖ノ行爲ナルヘシト雖トモ此ノ如キハ固ヨリ一種ノ賭博ニシテ保險ニアラス故ニ此方面ヨリシテ保險ヲ以テ射倖契約ト云フヲ得ス次ニ又之ヲ保險者ノ方面ヨリ觀察スレハ冒險貸借ノ時代ニ於ケルカ如ク保險者ハ危險ニ對スル何等ノ豫想モナク保險料ヲ獲得スルヤ將又保險金ヲ失フヤ全ク天運ニ委シタル場合ハイサ

保險法

保險契約ノ性質 保險契約ハ射倖契約ナリ

知ラス今日統計並ニ數學ノ智識ニヨリ危險發生ノ數ヲ豫想シ自己ノ引受ケタル實際ノ危險ヲシテ豫想ト一致セシムルノ技術モ發達シタル今日ニ於テハ保險事業ハ昔時ノ冒險的射倖的性質ヲ喪ヒ例令ハ物品製造販賣ノ如キ着實ナル業務トナレリ而シテ實際ノ豫定ニ反シ多少ノ損失ヲ蒙ルコトアリトスルモ是レ今日ノ保險事業ノ性質ヨリ來リタルモノニアラスシテ其ノ經營方面ニ缺點アリシ結果ト云サルヘカラス例令ハ射倖業務ト云フ能ハサル製造販賣ノ業ニ於テモ尙需要供給ノ權衡ヲ失シテ損失ヲ蒙ルコトナキニアラス故ニ保險者ノ方面ヨリ云フモ保險契約ハ射倖的ノ性質ヲ有スルモノニアラスト論スル者アリ此說ハ今日完全ノ域ニ達シタル保險ニ對シテ有力ナル議論ニシテ或學者カ保險ヲ大數契約ナリト云ヒ保險契約ハ常ニ保險者カ多數ノ保險契約者ト契約ヲ締結シ或ハ締結スヘキ状態ニアル場合ニ限リ甲乙二人カ其他ノ者ヲ交ヘスシテ此種ノ契約ヲ締結シタル場合ヲ全ク除外スルモノナリトスルノ說モ畢竟此種ノ議論ヲ保護スルモノナリト雖トモ反對論ノ主張スル所ニヨレハ今日保險事業カ統計及ヒ數理ノ應用ニ依リテ着實ナル業務トナリ從テ之ニ基ク所ノ保險契約ハ射倖的性質ヲ含マヌ

ト云フモ是レ固ヨリ程度ノ論ニ過キス生命保險ノ如キハ統計ト危險分配ノ完全ニ依リテ確實ニ營マルト雖トモ火災海上其ノ他新ナル種類ノ保險ニアリテハ損失ノ差常ニ天運ニ支配セラレ個々ノ契約モ亦冒險的性質ヲ有スルカ故ニ之ヲ射倖契約ト云ハサルヘカラスト云フニアリ此說モ亦保險ノ實際ノ情況ヨリ見テ頗ル有力トセサルヘカラス何トナレハ例令ハ近年函館大火ノ爲メニ我國ノ火災保險業者カ非常ナル打撃ヲ蒙リ殆ント破産ニ陥タルモノアルカ如キ或ハ先年桑港ノ大震災之ニ次ク所ノ大火災ノ爲メニ米國ノ有力ナル保險會社カ非常ナル苦境ニ陥リタル事實ハ火災保險契約ヲ以テ射倖契約ナリトセサルヘカラサル事實ナリ況ンヤ統計數理ノ完全セサル所ノ保險例ヘハ盜難保險疾病保險等ヲ開始スルニ付キテハ保險者ハ常ニ戰々兢々トシテ損害發生ノ少ナカラシムコトヲ希望スルニアラスヤ

此ノ如キ場合ニ於ケル保險契約ヲ保險契約ニ非スト云ヘハ保險契約ナルモノハ常ニ其時期ノ如何ニヨリ或ハ射倖契約タリ或ハ射倖契約タラスト論セサルヘカラス況ンヤ我商法ノ規定ノ下ニ於テ斯ノ如キ契約ヲ保險契約以外ニ除外スルコ

ト能ハサルニ於テヲ故ニ保險者ノ方面ヨリ保險契約ヲ射倅契約ニアラストス  
ルノ説ハ常ニ論者ノ理想若ハ希望ナリト謂ハサルヘカラス

### 第二節 保險契約ハ條件付契約ナリ

條件付契約ト云フ言語ハ二種ノ意味ニ用ヒラルルコトヲ記憶セサルヘカラス一  
ハ保險契約ノ目的ハ保險金ノ支拂ニアリ而シテ此支拂即チ保險契約ノ效力ハ事  
故ノ發生ト云ヘル一個ノ條件ニ繫ルト云ヘル誤解ヨリ來ル説ニシテ昔時保險契  
約ヲ以テ被保險者ノ方面ヨリスルモ亦射倅契約ナリトシ利益ノ保護ト云ヘル方  
面ヲ眼中ニ置カス且ツ保險契約ノ效力ハ獨リ保險金ノ支拂ニ存在シ保險金ノ支  
拂アリテ初メテ保險契約カ效力ヲ生シタルモ尠ナリトシタルカ如キ進歩セサル  
時代ニアリテ稱ヘラレタル説ニシテ今尙此ノ種ノ誤想ヲ懷クモノナキニアラス  
ト雖トモ保險契約ハ今日ニ於テハ利益ノ保護若ハ危險引受ノ契約ニシテ保險金  
ノ支拂ハ其ノ保護ヲ現實ニシ又引受ノ結果トシテ爲スニ過キス保險金ヲ支拂ハ  
サルモ契約ノ期間カ經過シタルトキハ保險者ハ當然其義務ヲ果シタルモノニシ  
テ保險契約ハ之ニ拘ハラズ當初ヨリ成立セルモノナルカ故ニ保險契約ヲ以テ條

件付ナリト云フハ全ク誤レリ但シ生命保險疾病保險負傷保險等ノ場合ニ損害ノ  
如何ニ拘ハラズ一定ノ保險金ノ給付ヲ爲ス事實アルヲ見テ此等ヲ利益ノ保護ヲ  
タハ引受ノ契約ナリトセス豫メ約シタル事故ノ發生ヲ條件トシテ保險金ヲ支拂  
フ契約即チ條件付支拂ノ契約ナリト云フノ説アリト雖モ此ノ説ハ茲ニ言フ所ノ  
條件付契約トハ其ノ意味ヲ異ニセリ次ニ第二ノ意味ハ保險契約カ多クノ前提條  
件ヲ以テ成立スルノ點ヨリシテ稱ヘラレタル者ニシテ例令ハ保險契約ヲ締結ス  
ルニ際シ保險契約者並ニ被保險者カ危險ニ關スル諸般ノ告知ヲ爲シ之カ前提ト  
ナリテ保險契約成立シ此ノ前提カ惡意若クハ錯誤ニヨリテ事實ト異ナルトキハ  
契約モ亦無効ナリトスル此ノ如キ事實ヨリシテ條件付契約ナリト稱スルナラハ  
固ヨリ非難スヘキニアラス斯ノ如キ場合ニ於ケル條件ナル文字ハ先ニ述ヘタル  
支拂ノ條件ニ係ルト云フ場合ト同シク寧ロ通俗ノ意味ニ於テ使用セラルルト云  
ハサルヘカラス

### 第三節 保險契約ハ損害填補ノ契約ナリ

是レ古來賠償契約ト稱セラレタルモノニシテ保險契約ノ目的ハ不慮ノ事故ニヨ

リ生シタル損害ヲ填補スルニ係ルト云フヨリ來レル說ナリ而シテ此說ハ尙多ク勢力ヲ有スル所ナレバ屢々述ヘタルカ如ク生命保險疾病保險傷害保險ノ如ク一定金額ノ給付ヲ爲ス所ノ保險契約カ此性質ヲ有セスト說クモノ生スルニ及ヒ是ニ於テカ一定金額ノ給付契約ノ說生スルニ至レリ現ニ我國ノ保險ニ關スル規定ヲ解釋スルニ付テモ生命保險ヲ保險契約ニアラストシ生死ト云ヘル事故ノ發生ニ對シテ一定金額ノ授受ヲ約スルモノナリト解釋スルモノ出ツルニ至レルカ如シ然レトモ斯ノ如キ說ハ保險ヲ賭博ト同一視スルモノニシテ只生命保險ヲ許シ賭博ヲ許ササルハ結果ノ善惡ヲ異ニスルノミニシテ賭博ト雖トモ例令ハ馬券賣買ノ如キ臺灣ノ富籤ノ如キ許スヘキモノト許スヘカラサルモノトアリ生命保險モ一般ニ許ササルモ親族カ保險金ヲ受取ル場合ニ限り之ヲ許スナリト云フ亂暴ナル結論ニ歸セサルヘカラス此ノ如キ說ヲ主張スル者亦實際之ナキニアラスト雖モ現在ノ法律ヲ改メテ例令ハ獨逸ニ於ケルカ如ク被保險者ノ承諾アル場合ニハ何人ト雖モ皆保險金受取人タルコトヲ得ト規定セハ此ノ場合ニ於テハ賭博ノ範圍ヲ擴張シタルニ過キスト論結セサルヘカラス是レ生命保險ノ數百千年以來

ノ歴史ト今日之ヲ利用セル者ノ意思ニ反セルノ說ナリ況ンヤ生命病傷等ノ保險ニ於テ死亡若ハ疾病ノ發生ニ際シ實際葬儀ニ必要ナル費用ヲ支辨シ又ハ病者ヲ病院ニ收容シ治療ヲ加ヘ或ハ負傷者ニ從業能力ノ喪失セル程度ニ應シ保險金ヲ給付スル方法ヲ行ヘハ之レ損害填補ノ契約ナレトモ普通ノ場合ニハ賭博ナリト主張スヘカラサルニアラスヤ損害計算ノ方法ニ差違アルハ保險契約ノ實質ニ影響スルモノニアラス茲ニ述ヘタル場合即チ實際ノ損害額ヲ計算スルハ損害發生ノ時ニ於ケル計算ヲ基礎トシ普通ノ場合ニ於テハ豫メ當時者間ニ於テ損害ノ額ヲ協定シ置クノ差異アルニ過キス若シ損害ノ觀念カ生命病傷等ニ全然存在セストセハ之ヲ賭博ト云フヘク又一定金額給付ノ契約トモ云フヘシト雖モ苟モ或ル範圍ノ損害カ想像セララルルニ於テハ之ヲ損害填補ノ契約ト云フモ妨ケサルニアラスヤト思惟ス

#### 第四節 保險契約ハ隨意契約ナリ

保險契約ノ包容ハ當時者隨意ニ之ヲ決定シ得ルノ點ヲ以テ隨意契約ト云ヒ又自由意思ニ基ク契約又ハ私法契約等ノ語アリ保險契約カ往々國家ノ強制ニヨリ行

ハルル場合ト區別トシテ使用セラルル所ナルカ若シ斯ノ如キ契約ヲ想像スルナ  
 ラハ國家カ其ノ契約ノ條件ヲ確定シテ吾人ノ任意ニ變更スルヲ許ササル契約モ  
 出ツヘシ故ニ茲ニ隨意契約ト云フハ固ヨリ保險カ當事者ノ任意ニ依リ行ハルル  
 場合即チ我商法ニ所謂保險契約ニ付テ云フ所ノモノト解セサルヘカラス若シ強  
 制保險契約ヲ保險契約ナリトシテ之ヲモ共ニ論セント欲セハ吾人ハ必スシモ隨  
 意契約ナリト云フ能サル場合アルヘシ但シ隨意契約ナリト云フモ公安ニ反シ或  
 ハ法規ニ反シテ保險金ヲ受取ルヘモキノヲ被保險者以外ニ定メ或ハ生命保險ニ  
 於テ親族相續者以外ニ定メ或ハ自殺シタル者モ保險金ヲ支拂フノ契約ヲ爲スカ  
 如キハ總ヘテ無効ト云ハサルヘカラス保險事業ハ株式會社並ニ相互會社ニ限リ  
 之カ營業ヲ認許セラレ認許ノ條件トシテ普通保險契約ト稱シ保險者保險契約者  
 トノ間ニ締結スヘキ契約ノ條項ニ付キテハ主務官廳ノ干涉ヲ受ケ其ノ以外ノ契  
 約ハ之ヲ爲スコトヲ許サストスルカ故ニ此ノ點ニ於テハ所謂當業者ノ隨意ナル  
 モノカ大ナル制限ヲ蒙レリト云ハサルヘカラス

### 第五節 保險契約ハ不要式ノ契約ナリ

昔時ニ於テハ保險契約ハ保險證券ナルモノノ發行ニヨリテ始メテ成立シタル事  
 アレ共今日ニ於テハ斯ノ如キ形式ヲ要セサルノミナラス當時者ノ間ニ於テ口頭  
 又ハ電話電信等ニヨリテモ契約ヲ締結スルヲ得ルモノナリ通常保險契約ヲ結フ  
 ニハ保險者タラントスル者(保險申込人ト)ヨリ保險者ノ豫メ定メタル書式ニヨル  
 申込書ヲ差出サシメ保險者ハ之ニ記載セラレタル事項ヲ調査考察シタル上契約  
 ヲ締結スルコトヲ承諾シ若クハ之ヲ謝絶スルモノトス而シテ前ノ場合ニ於テハ  
 保險契約者ヲシテ保險料ヲ拂込マシメ其領收ト共ニ契約カ成立シタルモノトス  
 而シテ此ノ成立ヲ證スル爲メニ保險證券ヲ發行スルヲ以テ保險證券ハ契約ノ要  
 件ナルカ如ク思惟スル者アリト雖モ此ノ書面ハ法律上保險契約者ノ請求アル場  
 合ニ限り保險者カ其交附ヲ拒ム能ハサルモノニ過キス(商法第四〇三條)之レナクトモ毫  
 モ契約ノ成立ヲ妨ケサルナリ商人ト商人トノ間ニ行ルル保險契約ニ付キテハ  
 此等普通ノ手續ヲ省カントスルモノ少ナカラス例令ハ倉庫會社ト火災保險會社  
 間ニ多ク行ハルル所謂日歩保險ニ於テハ通帳ノ如キモノヲ作り置キ倉庫ヨリハ  
 其ノ荷物ノ例令ハ今日ニ於ケル現在高ヲ記入シテ之ヲ保險者ニ提出シ保險者ハ

保險法 保險契約ノ性質 保險契約ハ不要式ノ契約ナリ



之ニ證印ヲ押捺シ以テ保險契約ノ成立スル場合アルカ如シ而シテ保險料モ亦必  
 スシモ其間ニ授受セラルルニ限ラス或ハ月末ノ勘定又ハ年末ノ計算ヲ以テスル  
 場合アリ保險契約カ又諾成契約ナリト稱セラルルハ必スシモ保險料ノ支拂又ハ  
 其他ノ要件ノ具備ニヨリ成立スルニアラス當事者間ニ於テ意思ノ合致シタル瞬  
 間ニ成立スル契約ナリトノ意義ナリ我商法ニ於テモ當事者ノ一方カ損害ヲ填補  
 スルコトヲ約シ相手方カ之ニ其ノ報酬ヲ與フルコトヲ約スルニヨリ其效力ヲ生  
 スト規定セルヲ以テ不要式ニシテ又諾成ノ契約タルコトヲ知ルヲ得ヘシ然レト  
 モ又之ニ反對スルカ如キ現象ヲ見ルコトアリ例令ハ英國ノ法律ニ依リ一タヒ生  
 命保險契約ノ締結ニヨリ發行セラレタル保險證券ハ其後何人ノ手ニ讓リ渡サル  
 ルモ有效ニシテ此證券ヲ所持スル者ヲ「ポリシーホルダー」ト稱シ被保險者カ死  
 亡スレハ證券所持人カ保險金ノ支拂ヲ受クル事實アルヲ以テ恰モ保險證券ハ約  
 束手形ノ所持人ノ如ク其ノ手形ノ所持ニヨリ權利ヲ有シ從テ保險契約ハ恰モ證  
 券ノ發行ヲ要件トナスカ如ク解セラルル事アルヘシ然レトモ是レ英國ノ生命保  
 險證券ノ特別ナル習慣ニシテ一般ニ斯ノ如キ事例アルニアラス又我國ニ於テモ

殆ント一般ノ保險會社ハ其契約ノ條款ニ於テ保險者ノ責任ハ第一回保險料ヲ領  
 收シタル時ヨリ始マルト規定シ保險料ノ領收ヲ要件トスルカ如ク見ユレトモ是  
 レ保險者ノ責任ノ始マルノ時期ヲ示シタルニ過キス保險契約成立ノ時期ト保險  
 者ノ責任開始ノ時期トハ自ラ別物ニ屬ス

### 第六節 保險契約ハ對人契約ナリ

其意味ハ保險ノ目的其者ヲ保護スル契約ニアラスシテ目的ニ付キテ吾人カ有ス  
 ル利益ヲ保護スル契約ナリ即チ人的契約ナリトノ意ナリ乃チ昔時保險契約ハ物  
 又ハ人ニ固著シタル契約ニシテ縱令其物ノ所有者カ交代スルモ保險契約ハ依然  
 トシテ存在スルトシタル誤解又ハ今日ト雖トモ當該物件ヲ回復セサレハ損害填  
 補ノ目的ヲ達シタルモノニアラストスルノ誤解ヲ解クノ用ニ供スル爲メニ此性  
 質ヲ抽出シタルモノナリ例令ハ火災保險ニ於テ保檢契約ハ其ノ家屋ニ附隨シタ  
 ルモノニアラス其家屋ヲ所有スル者ノ利益ヲ保護スル契約ナルヲ以テ所有者カ  
 其家屋ヲ他人ニ讓渡シタル時ハ保險契約ハ當然消滅スルヲ原則トシ又生命保險  
 ニアリテモ特定シタル保險金受取人ノ爲メニ結ハレタル契約ハ其ノ受取人ノ死

亡又ハ現行商法ノ規定ニヨリ親族關係ノ止ミタルトキニ消滅スルヲ原則トスルカ如シ又保險者ハ必スシモ損害ニ遇ヒタル家屋ヲ原狀ニ復セシムル事ヲ要セス被保險者ノ利益ヲ回復スルニ足ルヘキ金額ヲ給付スルヲ以テ足レリトシ又被保險者ノ方ヨリ云ヘハ保險金ヲ受ケタリトテ必スシモ家屋ヲ再築スルヲ要セス又結婚教育等ノ資金ヲ得ンカ爲メニ保險契約ヲ締結シタリトシテ必スシモ其保險金ヲ結婚費並ニ教育費ニ限リテ使用セサルヘカラサル道理ナシ是レ皆保險契約カ所謂對人的ノ性質ヲ有スル所以ナリ

### 第七節 保險契約ハ善意契約ナリ

昔ヨリ殆ント總テノ法學者カ此契約ニ對シ此性質ヲ主張スルハ一ハ保險者カ天變不測ナル災害ニ對シテ引受ヲ爲スト云フコトハ全ク相手方タル保險契約者又ハ被保險者ノ陳述スル所ノ危險ノ情況ヲ根據トシ之ニ信賴スルカ故ニシテ相手方ヲシテ此德義ヲ守ラシメサルトキハ如何ナル虛偽ヲ述フルカ計ラレサルカ故ニ保險契約ノ成立ニハ被保險者ノ最大善意ヲ要ストセルナリ又二ニハ保險契約カ往々ニシテ賭博的行爲ニ走り從テ當事者ニ於テハ偏ニ天運ヲ賭シテ輕浮ナル

行動ヲ執リ互ニ詐術ヲ弄シテ利益ヲ爭フカ如キ行動ニ出テサラシメンカ爲メニシテ保險契約カ文明ノ社會ニアラサレハ存在シ得サル事實ヲ見テモ當事者ノ德義ヲ主トスルモノトスルコトヲ知ルヲ得ヘシ是レ法律ノ規定ニ於テモ特ニ保險契約者及ヒ被保險者ノ告知義務ニ關スル點ニ重キヲ置キタル所以ニシテ又保險者ノ方面ニ於テモ被保險者ノ不知ヲ利用シテ利益ヲ博取セントスルカ如キ場合ニハ相當ナル制裁ヲ蒙ルヘキハ當然ニシテ商法第三百九十八條第四百二十九條並ニ第三百九十七條ノ規定ハ此等ノ性質ヲ證明シタル者ト云サルヘカラス

### 第八節 保險契約ハ雙務有償ノ契約ナリ

雙務トハ片務ニ對スルノ辭ニシテ保險契約ノ爲メニ當事者雙方カ義務ヲ負フノ意ナリ即チ一方ハ損害填補又ハ保險金額支拂ノ責ヲ負ヒ一方ハ報酬即チ保險料ヲ支拂フノ義務ヲ負フ外後ニ詳述スル所ノ諸種ノ義務ヲ雙方ニ於テ負フモノナリ而シテ有償契約ト云フモノハ其ノ經濟上ノ觀察點ヨリスルモ雙方互ノ報償ヲ要スル契約ニシテ贈與ノ如キ無償ノ契約ニ非ラサルヲ云フ此等ノ性質ニ付キテハ殆ント多ク説明スルコトヲ要セス

## 第九節 保險契約ハ獨立ノ契約ナリ

「エーレンベルヒ」モ亦斯ク云ヘリ其ノ意ハ他ノ契約ニ附隨シテ存在シ或ハ他ノ契約ノ内容ノ一部ヲ形作クルモノニアラスシテ單一ニ獨立シテ存在スルコトヲ要スルト云フニアリ例令ハ口入業者俗ニ桂庵ト稱スルモノカ多クノ雇人ヲ周旋シ若シ其ノ雇人カ雇主ニ對シテ不徳義又ハ不正ヲ働キ損害ヲ蒙ラシメタル場合ニハ身元引受其他ノ責ニ任スト約スルカ如キ行爲ハ恰モ西洋ニ所謂誠實保險我國ニ行ハルル所ノ信用保險ニ於テ保險者カ被保險者タル雇主ニ對シ其使用人ノ不正ニ付テ責ニ任スルト同一ナリ然レトモ此ノ如キ契約ハ固ヨリ之ヲ保險契約ト言フヘカラス桂庵カ斯ノ如キ責任ヲ負フハ自己ノ周旋ノ確實ナルヲ證センカ爲メノ引受ニシテ周旋ノ行爲ニ附隨シタル行爲ナリトセサルヘカラス又運送業者カ其ノ運送ヲ引受ケタル荷物ニ對シ之カ不可抗力方ニヨリテ喪失又ハ毀損シタル場合ニ其ノ損害ヲ賠償スヘシト爲シ其ノ代リニ普通ヨリモ高價ナル運賃ヲ請求スルノ習慣アリ元來運送契約ニ於ケル運送人ノ責任ハ獨リ運送人ノ自己若ハ運送取扱人使用人其他運送ノ爲メ使用シタル者カ不注意又ハ運送人ノ惡意又ハ重

大ナル過失ニ依リ生セシメタル損害ニ對シテノミ賠償ノ責ニ任スヘキモノニシテ不可抗力ニヨリテ物品カ滅失又ハ毀損若クハ延著シタル場合ニハ之カ責ニ任セサルヲ原則トス然ルニ運送ヲ依託スルモノハ不可抗力ノ場合ヲモ懸念シ其ノ引受ヲモ運送人ニ請求スルコト少ナカラス茲ニ於テカ運送人ハ其ノ引受ヲ爲スト同時ニ割増賃金ヲ請求シ以前ハ之ヲ保險付若ハ無保險等ノ稱號ヲ以テ區別シ割増賃金ヲ保險料ト稱シタリ而シテ甚タシキニ至リテハ自己ノ運送セル荷物ニ迄モ此引受ヲ推シ及ホシ全ク運送保險ト同一ノ行爲ヲ行フニ至リシカハ實際ニ於テモ取締上ノ問題トナリ我カ保險業法ニ於テ保險業者ハ他ノ業務ヲ兼營スルコトヲ得サルコトヲ規定セルヲ以テ斯ノ如キハ保險ト運送トノ業務ヲ並行スルモノナリトシ同時ニ官ノ許可ヲ得スシテ保險ヲ營ム不法ナル所業ト見做シ運送業者ニ對シ當局者ヨリ警戒ヲ加ヘタルコトアリ是ニ於テカ運送業者ハ其行爲ヨリ全ク保險ナル文字ヲ撤回シ等シク運送契約ナレトモ運送人ノ責任ノ範圍ヲ區別シ不可抗力ニ對シテモ責任アル契約ニ付テハ特ニ割増賃金ヲ請求スルコトトシ且ツ自己ノ取扱ハサル運送品ニ對シテハ全然引受ヲ爲ササルコトトシテ以テ

法律ノ制裁ヲ免レタリ而シテ此ノ如キ場合ニ於ケル危險引受ノ行爲ハ其名稱ノ何タルヲ問ハス運送保險ノ契約ヲ締結スルニ非ラスヤト論難スルモノアリ斯ノ如キ學者ハ所謂獨立契約說ヲ排斥スルモノニシテ例令ハ之カ他ノ契約ノ内ニ包含セラレ表面保險契約タル體裁ヲ備ヘサルモ其實質ニ於テハ全ク保險契約ニシテ之カ大數契約トシテ存在セル場合ニ於テノミ保險ニアラスト主張ス然レトモ他人ノ危險ヲ引受ケ又ハ多クノ場合ヲ平均シテ損害ノ填補ヲ行フ行爲ハ保險以外ニ存在ス可キハ勿論ニシテ必スシモ之ヲ悉ク保險契約ノ範圍ニ入ルルヲ必要トセス運送契約ニ於ケル運送人ノ引受ノ如キハ如何ニモ自己ノ力及サル不可抗カ迄ニ及ヘリト雖モ彼ノ出來ル限リ其運送ノ機關ヲ整備セシメ使用人ヲ督勵シ不抗可力ノ迫害ヲ避クルノ手段ヲ講シ尙及サル所ニ對シテノミヲ填補ヲ實行スルノ點ヨリ云ヘハ例令ハ身元引受ヲ爲スモノカ出來得ル限リ其者ノ身元ヲ取調ヘ又常ニ監督シテ不正ヲ行ハサラシムルニ盡力シ遂ニ力及ハサル場合ニノミ其責ニ任スルト同一一般之ヲ以テ保險行爲ト區別スルモ反テ穩當ナル意見ト云ハサルヲ得ス故ニ保險契約ハ斯ノ如キ場合ヲ離レ全ク單獨ニ行ハルル場合ニ於テノ

ミ之ヲ保險契約ト稱スヘキナリ又保險事業トハ保險契約ヲ集合體ニ於テ實行スルヲ云フハ勿論ナリト雖モ是レカ他ノ事業ノ補助トシテ又ハ他ノ事業ノ行ハルル範圍ニ限リ實行セラレル場合例令ハ或ル紡績工場ニ於テ其雇人ヲ糾合シテ一ノ組合ヲ作ラシメ給料ノ中ヨリ一定ノ預金ヲ爲サシメ死亡疾病其ノ他ノ災害ニ遇ヒタル者ニ救助金ヲ附與スルカ如キハ一種ノ保險事業ニシテ各自ノ行フ所ノ契約ハ保險契約ナリト論スル者モアルヘキカスノ如キ場合ニ於テモ亦此事業カ公衆一般ノ間ニ行ハルルニ非ス其事業ノ存立ト運命ヲ共ニスル所ノ特種ナル行爲ニシテ經濟上ノ性質ヨリ云ヘハ保險ト一致スヘシト雖モコレヲ以テ保險事業ト見做スハ不穩當ナルヘク或ハ又此ノ各個ノ契約ヲ相互保險契約ナリトスルモ同シク不穩當ニシテ或ハ之カ雇傭契約ノ條件トシテ行ハルル形式ニアリテハ全ク保險契約ト云フ能ハサル場合モアルヘシ要スルニ今日保險契約ト稱セララルモノハ其經濟的實質ヨリモ寧ロ其形式ニ於テ論セサルヘカラス又獨リ私法上ノ關係ヨリノミナラス公法上ノ觀察點即チ其行爲ヲ取締ル必要アリヤ否ヤノ觀察點ヨリ論セサルヘカラス是レ之ヲ獨立ノ契約ト云フ點ニ付キ學者ノ意見區々

ル所以ニシテ尙吾人ノ研究スヘキ問題ナリトス

### 第四章 保險契約ノ要素

#### 第一節 被保險利益

凡ソ吾人カ此世ニ處スルニ際シテハ常ニ百般ノ災害ノ襲來ヲ免カルルコトヲ得  
 ス人類カ其生存繁榮ノ目的ヲ達スルニハ此等ノ災害ト闘フコトヲ要スルハ勿論  
 ニシテ其行動ハ之ヲニツノ方向ニ分ツコトヲ得一ハ防禦手段ニシテ一ハ回復ノ  
 方法ナリ例令ハ茲ニ一ツノ家屋アリ之ヲ火災ト云ヘル災害ニ對シテ守ルニハ警  
 火番ヲ置キ或ハ消防夫ヲ排置シ一朝事アレハ其ノ鎮壓ヲ行ハシムルカ如キハ防  
 禦手段ナリ其他傳染病ニ對シテ檢疫ヲ行ヒ或ハ消毒ヲ施行スル等ハ皆此方面ニ  
 屬スルモノニシテ人類ノ努力スル所蓋シ少ナカラサルナリ然レトモ人智如何ニ  
 發達シタル今日ト雖モ尙ホ總テノ災害ヲ防禦シ盡スヲ得サルノミナラス吾人ノ  
 蒙ル所ノ損害ハ益々多キヲ加フルノ狀況ナリ是ニ於テカ或ハ救恤ノ方法アリ或  
 ハ授産場或ハ貧院等ノ設置アリテ人類ノ不幸ヲ救済スルノ方法ヲ講スルニ至レ  
 リ此等ノ手段ハ所謂善後策ニシテ一旦吾人ノ受ケタル損害ハ之ヲ如何トスルモ

能ハス只其人ノ一層困難ニ陥ラントスルヲ防クノ方法ニシテ保險ハ此ノ兩者ノ  
 間ニ存在シテ彼等ノ受ケタル損害ヲ完全ニ填補回復スルノ方法タリ故ニ保險契  
 約ノ存在ニハ必ス其保險契約ニ因リテ保護セラルヘキ利益ノ存在ヲ必要トシ之  
 ヲ被保險利益ト稱シ英語ニ「インシエラブル、インテレスト」(Insurable Interest) 即チ保  
 險スヘキ利益ト云ヒ獨逸語ニ「インテレッツセ」(Interesse) ト稱スルモノニシテ之ナキ  
 所ニ保險契約ノ存在スヘキ謂ハレナキヲ以テ保險契約ノ第一要素トシテ掲ケラ  
 ルル所ノモノナリ而シテ近來或種ノ保險契約ニ此要素ヲ認メサル論者ノ發生ス  
 ルニ至リ又此利益ノ種類ニ就テモ多クノ區別ヲ立テサルヘカラス且ツ此利益ヲ  
 中心トシテ之ニ對スル諸方面ノ觀察ヲ要スルカ故ニ順次款ヲ分チテ之ヲ論述セ  
 ント欲ス

#### 第一款 保險ノ目的ト保險契約ノ目的

先ニ述ヘタルカ如ク吾人カ保險契約ヲ締結シ之ニ依リテ利益ヲ受ケント欲スル  
 ハ新ナル利益ヲ得ント欲スルニ非ラスシテ既ニ自己ノ有セル利益カ或ル事故ノ  
 爲メニ損喪セラレントスルヲ慮リ其場合ニ之カ回復ヲ得ント欲スルニアルヲ以

保險法 保險契約ノ要素 被保險利益

テ保險契約ニ於ケル標的ハ利益ナリ吾人ハ之ヲ被保險利益ト稱シ之ヲ有スル者ハ乃チ被保險者ナリ故ニ保險契約ノ標的ハ被保險利益ナリト云フヲ得ヘシ而シテ我カ商法ニ於テハ標的ナル文字ノ代リニ目的ト云ヘル文字ヲ使用セリ而シテ被保險者ヲシテ此利益ヲ有セシムルニハ他ニ具體的ナル事物ノ存在ヲ必要トス例令ハ吾人カ家屋ヲ所有スルトセヨ吾人カ之ニ付テ保險シ得ヘキ利益トハ其ノ家屋カ吾人ニ與フル利益ノ事ニシテ家屋其者ハ利益トハ異ナレリ我商法ニ於テ前者ヲ保險契約ノ目的ト云フト同時ニ後者即チ家屋其者ヲ指シテ保險ノ目的ト稱セリ此二者ハ區別シテ記憶セサルヘカラス保險ノ目的ハ第二章保險ノ種類ヲ説クニ當リ述ヘタルカ如ク物件タルコトアリ例令ハ家屋船舶牛馬商品樹木等ノ如シ又タ債權ナルコトアリ例令ハ貸付金ノ債權抵當債權ノ如シ或ル場合ニハ身體ナルコトアリ例令ハ生命保險ニ於テ子カ親ノ身體ニ付キテ利益ヲ有スル爲メニ之レヲ保險ニ付スル場合ノ如シ故ニ舊商法ニ於テハ被保險物ナル文字ヲ見タリシカ現行商法ニ於テハ物ト云ヘル文字ノ穩當ナラサルコトヲ覺リテ保險ノ目的ト改メタリ但シ現行商法ニ於テハ生命保險ニ付テ保險契約ノ目的又ハ保險ノ

目的等ノ文字ヲ全ク使用セサルカ故ニ所謂損害保險ニ限リテ是等ノ言語ノ存在スルコトヲ記憶セサルヘカラス而シテ保險ノ目的ハ乃チ保險契約ノ目的ノ源泉トモナルヘキモノナレハ二者決シテ相離ルヘキモノニアラス從テ此二者ヲ區別スルノ必要ナキニ似タレトモ先ニ述ヘタル如ク保險契約ハ對人ノ契約ニシテ對物ノモノニアラス乃チ現物ヲ供給スルノ目的ニアラスシテ喪ハレタル利益ヲ回復スルニアルヲ以テ吾人ハ具體的事物タル保險ノ目的夫レ自身ヲ契約ノ要素ト爲ス能ハス又保險ノ目的ハ一ニシテ利益ハ多種ナル場合アリ例ヘハ同一ノ家屋ニ付キテモ之ニ關シテ諸種ノ利益アリ乃チ所有權者ノ有スル利益アリ使用權ヲ有スル者ノ利益アリ又收益權ヲ有スル者ノ利益アルカ如シ又再保險ノ行ハルル場合ノ如キニ於テモ本來ノ保險ノ目的タル船舶家屋ハ一ナレトモ保險契約ノ目的タル利益ハ獨リ船舶家屋ノ所有者タル本來ノ被保險者カ有スルノミナラズ他ノ保險者ニ再保險ヲ求メタルノ保險者モ之ヲ有スル所ナリ故ニ保險契約ノ目的ハ常ニ利益タラサルヘカラス然レトモ是等ノ利益カ如何ナル程度ニ於テ危險ニ莅メラルヤヲ知ラント欲セハ事物ノ性質位置其他ノ情況ヲ觀察シテ之ヲ決定セサ

ルヘカラス且ツ利益ノ損喪ハ一ニ其利益ノ源泉タル事物ノ損喪ニ依リテ生スルモノナルカ故ニ保險契約ニ於テ保險ノ目的ニ着眼スルモ亦當然ノ結果ナリトス

### 第二款 被保險利益ノ必要

被保險利益トハ吾人カ目的ノ事物ニ付テ有スル利益ニシテ此利益ヲ有セサル者カ保險契約ノ保護ヲ受クルコトハ當ニ理由ナキノミナラス之カ賭博的行爲ニ利用セラレ或ハ又之カ爲メニ危険ノ發生ヲ増加セシメ公益ノ上ヨリ有害ナル結果ヲ惹起スカ故ニ法律上之ヲ許ササルコトヲ原則トス例ヘハ吾人カ自ラ所有スル家屋ニ付テハ利益ヲ有スルコト勿論ナルカ故ニ保險契約ヲ結ヒ利益ノ保護ヲ受クルハ當然ナリト雖トモ他人ノ所有家屋ニシテ且ツ吾人ノ使用權收益權其他何等ノ利害關係ヲ有セサル場合ニハ之ニ付テハ保險契約ヲ結フヘキ必要モナケレハ道理モナシ若シ人カ此ノ如キ行爲ヲ爲サハ是レ該家屋ノ火災ニ罹カルコトヲ條件トシテ保險金ヲ得ント欲スル投機的意思ニ依ルカ或ハ自ラ該家屋ヲ燒キテ保險金ヲ得ント欲スル惡意アリト推測セサルヘカラス假令初メハ斯ノ如キ惡意ナシトスルモ中途ニ於テ此ノ如キ惡意ヲ發セストモ限ルヘカラス生命保險ニ於

テモ十六七世紀ノ頃ヨリ此事業カ發達シタル結果トシテ從來自己ノ死亡ノ爲メニ其遺族ノ有スル利益ヲ害セラレンコトヲ恐レテ行ヒタルモノヲ一般ニ推擴ノ當時著名ナル人物ノ生命ヲ賭シテ保險金ノ授受ヲ爲スニ至リ生命保險ハ利益ヲ保護スルモノニアラスシテ利益ナキ賭博行爲ト化シ去リタル爲メ歐洲諸國ニ於テ一時生命保險契約ノ締結ヲ絶對ニ禁止シタルコトアリ而シテ此禁止ハ十八世紀ニ至リテ解ケタレトモ爾來保險契約ニ於テハ必ス被保險利益ヲ要求スルコトトナレリ例ヘハ英國ニ於テ海上保險ニ付テハ千七百四十六年ニ從來往々行ハレタル利益ノ有無ヲ問ハサル保險契約ヲ禁シ生命其他ノ保險ニ付テハ千七百七十四年賭博條例 (Gaming Act) ニ依リテ禁止セラレタリ我商法ニ於テモ特ニ明文ヲ以テ保險契約ニ利益ノ存在ヲ要ストハ規定セサレトモ損害保險ニ付テハ第三百八十四條保險契約ノ定義ヲ掲クルニ際シ損害ヲ填補スルコトヲ約シト云フ以上ハ損害ヲ受クヘキ目的タル利益ノ存在ヲ要スルコト勿論ニシテ又第三百八十五條ニ金錢ニ見積ル事ヲ得ヘキ利益ニ限リ保險契約ノ目的ト爲スコトヲ得ト規定セルニ依ルモ明瞭ニシテ生命保險ニ於テハ損害ナル文字モ亦利益ナル文字モ一切

使用セサルカ故ニ或ハ被保險利益ヲ要求セサル精神ナリト解スルモノナキニアラスト雖トモ余等ノ見解ヲ以テスレハ立法者ハ斯ノ如キ極端ナル精神ニアラス生命保險ト雖トモ苟モ保險タル以上ハ危險ニ對シテ何物カヲ保護スルモノナラサルヘカラス而シテ何物ヲ保護スルヤト問ハハ被保險者自身又ハ他人カ被保險者ノ生存又ハ死亡ニ付テ利害關係ヲ有スル其利害關係ヲ保險スルモノト推斷セサルヲ得ス只此利害關係即チ利益ハ必ラスシモ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキモノニアラサル點ニ於テ損害保險ト異ナルカ故ニ損害保險ト區別シタリト解釋スルヲ妥當ナリトス保險契約ハ其種類ノ何タルヲ問ハス被保險利益ヲ要求スルハ古來ヨリ今日ニ至ル迄諸國ノ立法並ニ學說ニ於テ一般ニ認めラルル所ナレトモ「エンデマン」氏ハ被保險利益ヲ以テ保險契約ノ要素ナリト爲サス保險契約ハ獨リ生命保險ニ於ケルノミナラス總テ金錢ノ投機ナリト云ヘリ是レ保險事業ノ實際ニ於テ例ヘハ海上保險ニ於テ危險ノ發生セルト否トニ拘ハラズ有效ナル契約ヲ認メ又ハ利益ノ有無ヲ問ハサル契約ヲ結ヒタル事實又ハ火災保險ニ於テモ荷物什器ノ如キ一々之ヲ其契約ノ當時ニ點檢評價シテ被保險利益ノ存在ヲ確ムルコト

ハ被保險者ノ秘密ニ立入ルノ弊アルカ故ニ一倉庫又ハ什器ヲ收ムル所ノ箆筒長持若クハ單ニ家屋ノ外貌ノミヲ以テ一定ノ保險金ヲ契約シ火災ノ發生ニ際シテ其内容カ悉ク燒失シタルヤ否ヤヲ問ハスシテ保險金額ヲ支拂フカ如キ事實ヲ見テ斯ク結論シタルナルヘシト雖トモ危險發生ノ前後ヲ問ハサルノ條項ハ全ク保險ノ利用ヲ擴張スル所ノ變則ニシテ海上保險ノ一部ノ契約ニ於テ實行セラルル外實際他ニ於テ行ハレス又利益ノ有無ニ係ラスシテ保險契約ヲ有效トスル條項ハ今日一般ニ無効ト認めラレ又最後ノ場合ハ德義ノ發達セル社會ニ於テ保險者カ被保險者ヲ信用シテ利益ノ存在又ハ其損喪ハ當該被保險者ニ於テ當然ナリトシテ之ヲ默認シタル結果ニシテ之カ存在セサル場合ニモ契約ヲ有效ナラシメ又損害カ發生セストモ保險金ヲ支拂フモノニ非ラス故ニ保險契約ヲ以テ總テ金錢ノ投機ナリトスルカ如キハ徒ラニ矯激ニ走レルノ議論ナリ

### 第三款 被保險利益ノ存在スル場合

保險契約ニ被保險利益ヲ要スルコトハ前款ニ述フルカ如クナレトモ其如何ナル場合ニ之カ存在スルヤト云フコトハ聊カ進ンテ研究スルコトヲ要ス先ツ損害保



險ニ付テ云ヘハ舊商法ニ於テハ第六百二十七條ニ「所有權債權其他ノ權利名義又ハ權利關係ニ起因スル財産上ノ利益ニシテ之ニ關スル危險ノ起生ニヨリ被保險者ニ直接ニ損害ヲ加フヘキモノハ保險ニ附スルコトヲ得ル利益トス」第二項ニ「博奕賭事富講其他ノ意外ノ事ニ依ル僥倖ノ利益ハ保險ニ付スルヲ得ス」ト規定シ積極的及消極的ニ被保險利益ノ存スル場合ヲ定メタリシカ現行商法ハ之ヲ修正シ斯ノ如キ錯雜ナル列舉的ノ規定ヲ廢シテ「金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ニ限リ之ヲ目的トスルコトヲ得」トシタリ然レトモ決シテ舊商法ノ規定ヲ否認シタルニアラス只之ヲ概括シタルニ過キス故ニ被保險利益ノ存在スル場合ヲ説明スルニハ寧ロ舊商法ノ規定ヲ借ルヲ以テ便利ナリトス物件ノ所有者又ハ他人ニ對シテ債權ヲ有スル者ハ當該物件又ハ債權ニ付テ被保險利益ヲ有スルコト勿論ナリ何トナレハ之カ損喪ハ直ニ損害ヲ權利者ニ與フヘキカ故ナリ物件ノ占有者或ハ使用收益ノ權利ヲ有スル者モ亦然リ而シテ斯ノ如キ場合ノ利益ハ常ニ積極的ナリト雖トモ物件又ハ債權ニ付テ消極的ノ利益ヲ有スル者亦頗ル多シ此場合ニハ寧ロ利害關係ト考フルヲ便宜ナリトス例ヘハ家屋ノ賃借人カ其家屋カ火災ニ罹リ

タル場合ニ貸主ニ對シテ損害賠償ノ責任ヲ有スル場合ニハ彼ハ該家屋ニ付テ消極的ノ被保險利益ヲ有スルナリ運送人質商代理商仲買人委託販賣業倉庫業者問屋宿屋等カ顧客ヨリ委託セラレ若クハ顧客ノ爲メニ保管スル物品ニ對シテ被保險利益ヲ有シ鐵道會社カ線路ニ沿ヒタル家屋森林等ニ付テ火災保險ノ被保險利益ヲ有スルカ如キモ皆其例ナリ又他人ニ對スル保險義務例ヘハ債務ノ保證手形ノ裏書身元ノ引受等モ其危險ニ對シテ之レヲ保險ニ付スルコトヲ得又自己ノ過失ニ依リ他人ニ損害ヲ蒙ラシメタル所謂不法行爲ニ關スル賠償責任モ保險ニ付スルコトヲ得ル利益ニシテ再保險モ亦保險契約上ノ債務ヲ保險ノ目的トスルモノナリ此ノ如キ消極的ノ利益ヲ保險ニ付スル場合ヲ責任保險又ハ義務保險ト稱ス而シテ危險ノ發生ニ依リテ想像セラルヘキ必然ナル費用ノ保險モ固ヨリ有效ニシテ例ヘハ火災ノ發生シタル場合ニ之カ消防ニ必要ナル費用若ハ救援救護ニ必要ナル費用又ハ燒跡掃除ニ要スル費用モ固ヨリ被保險利益トシテ保險ニ付スルコトヲ得ルナリ商法第四百二十一條火災保險ニ關スル規定中ニ「賃借人其ノ他他人ノ物ヲ保管スル者カ仕拂フコトアルヘキ損害賠償ノ爲メ其ノ物ヲ保險ニ付

シタルトキハ所有者ハ保險者ニ對シテ直接ニ其損害ノ填補ヲ請求スルコトヲ得  
トアルハ賃借人又ハ保管者カ被保險利益ヲ有スルコトヲ明ニシ且損害填補ヲ受  
クル場合ニハ彼等カ之ヲ受ケテ其受ケタルモノヲ再ヒ所有者ニ對シテ賠償ヲ爲ササルカ如  
ケ又一方ニハ保險者ヨリ填補ヲ受ケナカラ所有者ニ對シテ賠償ヲ爲ササルカ如  
キ不徳義ナル行爲ノ生セサラシメンカ爲メニ設ケタル規定ニシテ斯ノ如キ場合  
ニハ物ノ所有者カ被保險者ニシテ被保險利益ヲ有スルモノニアラス保管者受託  
者カ被保險者タルモノタルコトヲ了解スルヲ要ス

被保險利益ハ通常契約成立當時ニ存在スヘキモノナレトモ其當時ハ存在セスト  
モ將來即チ保險期間内ニ於テ之カ發生スヘキ確實ナル道理アル場合ニハ之ヲ保  
護スルノ目的ヲ以テ保險契約ヲ締結スルヲ得ルナリ然レトモ賭博富籤ノ如キ射  
倖ノ行爲ニヨリテ或ハ得ラルヘキ利益ノ如キハ勿論除外セサルヘカラス商法第  
四百廿四條第二項ニ運送品ノ到達ニ依リテ得ヘキ利益同第六百五十八條ニ積荷  
ノ到達ニヨリテ得ヘキ利益又ハ報酬ノ保險云々ノ語アリ是等ハ仲買人依託販賣  
業者或ハ荷主自身カ積荷ヲ積出ストキ積荷カ無事ニ到達シタル場合ニハ手数料

或ハ利益トシテ受取ルヘキ多少ノ金額アルヲ以テ其金額ヲ限度トシテ之ニ關ス  
ル利益ヲ保險ニ付スルノ謂ナリ又收穫保險ノ如キ保險ノ目的タル收穫物ハ契約  
ノ當時ニ未タ存在セス只田野ト蒔キタル種子アルノミ然レトモ之ニ適當ナル勞  
力ヲ加ヘ一定ノ時期ヲ經過スルトキハ必然多量ノ米穀トナリテ大ナル利益ヲ農  
夫ニ供スヘキモノナルヲ以テ其見積リ價額ヲ以テ保險契約ノ目的ノ價額ト爲ス  
コトヲ得ルナリ是等ノ場合ヲ希望保險ト稱ス即チ希望セラルル利益ノ保險ト云  
フ意ナリ或學者ハ此希望保險ナルモノヲ否認シ未タ存在セサル利益ニ就テハ絶  
對的ニ保險契約ヲ結フヲ得ス故ニ斯ノ如キ場合ニ於テモ被保險利益ハ契約ノ當  
時ヨリ既ニ存在セルモノニシテ決シテ後ニ至リテ發生スルモノニアラスト論セ  
リ然リ更ニ種子ヲ蒔カス又種子ヲ蒔クヘキ田野モ定メサル場合ニ於テハ之ニ  
付テ保險契約ヲ締結スヘキ餘地ナシ故ニ被保險利益ノ原因タル自然ノ事物ハ固  
ヨリ存在セサルヘカラスト雖トモ是レ被保險利益其者ニアラス被保險利益ナル  
言語ハ我商法ニ於テモ保險契約ノ目的ト稱セラレ又此目的ノ價額ト云ヘル文字  
モ見ルコトヲ得ルカ故ニ單純ナル抽象的ノ言語ニ非スシテ金額ニ見積ルコトヲ

得ル包容ヲ有セルモノナラサルヘカラス收穫物ノ播種セラレタルトキ吾人ハ未  
タ之ニ保險價額ヲ發見スルコト能ハサルニアラスヤ故ニ希望保險ナル言語ハ決  
シテ不穩當ナリト云フヲ得ス

以上ハ損害保險ノ被保險利益ニ付テ述ヘタル所ナカル生命保險ニ付テハ如何ニ  
之ヲ解説スヘキヤ時代ニヨリ又國ニヨリ其思想竝ニ立法ノ主義ヲ異ニセルカ如  
シ今先ツ英國ノ法律ニ於ケル生命保險ノ被保險利益ヲ考フルニ明ニ金錢上ノ利  
益 (Pecuniary interest) ヲ要ストセリ即チ生命保險ヲ締結スルニハ其目的トシテ金錢  
ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ノ存在ヲ要スト云フナリ而シテ昔ヨリ判決例ニヨリ  
テ定マレル場合ヲ掲クレハ例ヘハ

- (一) 妻ハ夫ノ生命ニ付テ被保險利益ヲ有スルモ夫ハ妻ノ身體ニ付テ之ヲ有セス(英國ニ於テテハ相互ニ於テ之ヲ有セリ)
- (二) 父又ハ母ハ子ノ生命ニ付キテ單ニ血族ノ關係ノミニテハ利益ヲ有スト云フヘカラス然レトモ子ノ死亡シタル場合ニ要スル葬儀ノ費用ニ付テハ固ヨリ之ヲ有シ且其程度ハ別ニ法律ヲ以テ規定セラレタリ例ヘハ滿一歳以下ノ小兒ハ全

ク保險ニ付スルコトヲ得ス一歳ヨリ五歳ニ至ル迄ハ六「ポンド」ヲ限リトシ六歳  
ヨリ十歳ニ至ル迄ハ十「ポンド」云々トスルカ如シ

- (三) 子ハ自己ヲ扶養スル父ノ生命ヲ保險ニ附スルヲ得レトモ自己カ扶養スル所ノ父ニ付テハ契約ヲ爲スコトヲ得ス
  - (四) 姉妹ハ自己カ扶養ヲ受クル所ノ兄弟ノ生命ヲ保險ニ附スルコトヲ得
  - (五) 自己ノ生命ニ付キテハ被保險利益ヲ有スルコト勿論ニシテ生存ノ場合ニ於テハ自己ノ利益死亡ノ場合ニ於テハ相續人ノ利益ヲ保險ニ附シタルナリ
  - (六) 一般ノ法則トシテ法律ニヨリテ扶養ノ義務アルモノハ其ノ扶養者ノ爲メニ保險ニ附セララルヲ通則トシ天然ノ愛情ノ如キハ被保險利益ヲ成立セシメス
  - (七) 保險證券ノ善良ナル讓受人ハ被保險者タル者ト何等關係ナキ場合ト雖トモ保險證券ノ全金額ニ對スル權利ヲ有セリ
  - (八) 債權者ハ債務者ノ身體ニ付キ債權ノ額ト辨濟期ヲ限リ被保險利益ヲ有ス
  - (九) 雇人ハ給料高ヲ限度トシテ雇主ノ身體ニ對シテ被保險利益ヲ有ス
- 以上ノ場合ニ於テハ保險契約ヲ締結スルニ際シ金錢利害ノ關係ヲ證明スルヲ要

セス此以外ニ於テモ金錢利害ヲ證明スレハ吾人ハ何人ノ生命ニ付テモ保險契約ヲ締結シテ保險金ヲ受取ルヘキ權利ヲ有スルナリ例ヘハ友人カ共同出資ヲ爲シ或業ヲ營メル場合或ハ學生カ恩人ヨリ學資ノ供給ヲ受ル場合尙其他ノ場合ヲ想像スルコトヲ得ヘシ

米國ニ於テモ亦此主義ヲ採リ裁判官ノ認定ニ於テ往々稍廣キ應用ヲ爲スコトアルノミ

獨逸ニ於テハ被保險者ノ承諾ヲ爲シタルモノナラハ何人ニテモ其ノ被保險者ノ生命ニ付キテ保險契約ヲ締結スルコトヲ得ルトシ佛國ニアリテハ全ク自由ニシテ更ニ承諾ヲモ要セストセリ斯ノ如ク國ニ依リテ極メテ狭少ナル金錢上ノ利益ノ存在ヲ要求スル所ト殆ント生命保險ヲ以テ金錢投機ノ域ニ驅ル者トノ差異アリ從テ生命保險ニ於テハ被保險利益ノ問題ハ常ニ一言ヲ以テ覆フ能ハサルモノナリ今之ヲ我國ニ付テ考フルニ舊商法ハ英國主義ヲ採リ暗ニ金錢上ノ利益ヲ要求セルカ如シ即チ第六百六十七條ニ「人ノ生命又ハ健康ハ終身其他或期間中之ヲ保險ニ附スルコトヲ得」ト掲ケ生命疾病ノ保險ヲモ亦有效ナルコトヲ示シ次ニ第

六百七十八條ニハ「何人ニテモ自己ノ生命又ハ健康ヲ保險ニ付スルコトヲ得又保險ニ付セントスルトキニ於テ他人ノ生存若クハ健康ニ付キ財産上ノ利益ヲ有スルモノハ其他人ノ生命若クハ健康ヲ保險ニ付スルコトヲ得」ト規定シ其第二項ニ於テ「配偶者兄弟姉妹尊屬親及卑屬親ノ生命若クハ健康ニ關スル相互ノ利益ニ付テハ證據ヲ舉クルコトヲ要セス」ト規定シ原則トシテハ財産上ノ利益ヲ要求スルモノモ第二項ニ掲ケタル者ニ付キテハ互ニ利益アルモノトノ推定ヲナセル點ニ付テハ英國ノ主義ニ比シテ稍寬大ナリ然ルニ現行商法ハ全ク是等ノ規定ヲ除去シ即チ屢々述ヘタルカ如ク更ニ利益ナル文字ヲ用ヒス從テ之カ存在ヲ必要トスルコトハ固ヨリ明文ヲ以テ示ササルモ曩ニ第四百二十八條ニ於テ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ被保險者自身其相續人又ハ親族ニ限リタルハ若シ生命保險ニモ被保險利益ヲ要求スル精神ナリトスレハ自己ト相續人並ニ親族間ニ限リテ其ノ存在スルコトヲ示シタリト解釋セサルヘカラス而シテ最近ノ商法改正ニヨリテ獨逸ト同一ノ主義ヲ執ルニ至レリト雖トモ之カ爲メニ全ク被保險利益ノ觀念ヲ除去シタリトハ言フヘカラス何トナレハ苟モ生命保險契約ヲ以テ一種ノ保險契約

ト爲ス以上ハ之ニ依リテ保庇スル所ノ利益ヲ想像セサルノ道理ナキト同時ニ被保險者ノ承諾ヲ與ヘタル保險金受取人ハ被保險者ノ生命ニ付テ利害關係ヲ有スル者トスルハ當然ノ推定ナリト言フヲ得ヘケレハナリ

#### 第四款 保險價額

保險價額ハ被保險利益ヲ金錢ニ見積リタル價額ニシテ我商法ニ於テハ之ヲ保險契約ノ目的ノ價額又ハ單ニ保險價額ト謂ヘリ(第三八六條第三八七條第三八九條第三九一條第三九二條其他)此價額ハ吾人カ保險契約ニ依リテ吾人ノ利益ヲ保護シ得ル所ノ程度ヲ示スモノニシテ保險契約ノ當時當事者間ニ於テ之ヲ決定スルヲ多クノ場合ノ習慣トス而シテ此價額ニ付テ主觀的價額並ニ客觀的價額ノ別ヲ説クモノアリ客觀的トハ獨リ當事者ノミナラス世間一般ニ認定スル所ノ價額ニシテ或ハ米穀ノ如キ取引所ノ相場ニヨリ決定サルルモノアレハ綿絲絹布其他ノ貨物ノ如ク市場ノ價額ヲ有スルモノアリ家屋其他ノ建物等ニ至リテハ世間ノ普通ノ價額明瞭ナラストセハ其道ノ知識アル者ヲシテ鑑定セシムル時ハ相當ノ價額ヲ知ルコトヲ得ヘシ斯ノ如クシテ決定シ得ル價額ヲ客觀的價額ト云フナリ主觀的價額トハ獨リ當事者ノ間

ニ協定サレタルモノニシテ世間ノ相場等ヲ顧慮セサル場合ヲ指スモノナリ例ヘハ生命保險ノ如ク或ハ疾病傷害等ノ保險ニ於テ當事者間ニ一定ノ保險金額ヲ契約スルコトハ是レ即チ主觀的價額ニ依ルモノナリト説クモノアレトモ余ハ少クトモ保險契約ニ於テハ斯ノ如キ區別ヲ立ツルヲ要セス否保險契約ニ於テハ決シテ所謂主觀的價額ナルモノヲ標準トスルコト能ハスト信ス何トナレハ若シ當事者カ任意ニ定メタル價額ニ依リテ保險契約ヲ締結シ得ルトセハ保險ハ事實上損害ヲ救済スルノ行爲ニアラスシテ一種ノ賭博ト化シ去ルヲ免レス生命疾病傷害等ノ保險ニ於テ當事者カ契約スル所ノ金額ハ是レ保險價額ニアラスシテ保險金額ナリ保險價額ハ常ニ客觀的ノ價額ナラサルヘカラス但シ生命其他之ニ類似スル所ノ保險契約ニ於テ被保險利益ノ存在ヲ是認シ斯ノ如ク其價額ヲ論スルトキハ何ヲ以テ客觀的價額ト爲スヘキヤ例ヘハ月給三十圓ヲ得ル所ノ者カ其生命ニ於テ十萬圓ノ價額ヲ付シ其全部ニ付キテ保險契約ヲ取結ヒ或ハ身體ノ一部ニ缺點アリテ自ラ衣食ヲ求ムルコトヲ得ス他人ノ扶養ニ依ル如キ者カ其生命ニ付キテ何程カノ保險價額ヲ客觀的ニ有スルハ如何ナル根據ニ基クヤ斯ノ如キ場合ニ

ハ全ク客觀的價額ヲ主張スヘカラズ故ニ主觀的價額ニ依ルモノト解釋セサルヘ  
 カラズト説ク者アルヘシト雖モ例ハ英吉利法ノ如キ生命保險ニ於テ金錢利益  
 ノ存在ヲ問フ所ニアリテハ明ニ客觀的價額ニ依ルモノト論斷スルヲ得ヘク然ラ  
 サル場合ニ於テモ客觀的價額ナル文字ノ意味ヲ稍廣ク解釋シ人類ハ其現在ノ情  
 況如何ニ拘ハラズ又往々個々ノ場合ニ例外アルニ拘ハラズ概括シテ言ヘハ無限  
 ナル知識能力ノ源泉ニシテ其死亡カ國家社會又ハ利害關係者ニ取リテ莫大ナル  
 或ハ寧ろ無限ナル損害ヲ與フルモノト解スルヲ得ヘク從テ強テ之ニ客觀的ノ價  
 額ヲ與ヘント欲スルナラハ常ニ無限ナル價額ヲ指定スルヲ得ヘク而シテ其一  
 分ニ付キテ吾人カ何時ニテモ保險契約ヲ締結スルヲ得ルモノナリト論スヘハ必  
 シモ説明シ難キニ非サルヘシ  
 被保險利益ハ斯ノ如ク客觀的價額ヲ標準トスヘキモノナルカ故ニ先ツ損害保險  
 ニアリテハ契約ノ當時ニ當事者間ニ必スシモ保險價額ヲ協定スルコトヲ要セス  
 何トナレハ第三百九十四條ニ當事者カ保險價額ヲ定メタルトキハ保險者ハ其價  
 額ノ著シク過當ナルコトヲ證明スルニアラザレハ其填補額ノ減少ヲ請求スルヲ

得スト規定シ又第四百三條ニ於テ保險證券ニ記載スヘキ事項ヲ舉ケ「保險價額」  
 定メタルトキハ其價額ト規定シタルヲ見テモ保險契約ノ當時必スシモ保險價額  
 ヲ協定スルヲ要セサルコト明ナリ然ラハ保險價額ヲ協定セスシテ後ニ損害ノ發  
 生シタル場合ニ如何ニスヘキヤト云フニ第三百九十三條ニ之ニ對スル明文アリ  
 即チ「保險カ填補スヘキ損害ノ額ハ其損害カ生シタル地ニ於ケル其時ノ價額ニ依  
 リテ之ヲ定ム」トアルカ故ニ例ハ或家屋ニ付キテ千圓ノ保險金ヲ契約シ該家屋  
 カ燒失シタル場合ニ若シ豫メ保險價額ノ協定セラレザリシ場合ニハ被保險者カ  
 其家屋ノ現在其場所ニ於ケル價額カ千圓若クハ其以上ナルコトヲ證明シタル時  
 ハ保險者ハ千圓ノ支拂ヲ爲シ之ニ反シテ保險者ノ其ノ家屋燒失ノ當時七百圓ノ  
 保險價額ヨリナカリシコトヲ證明スルコトヲ得ナハ七百圓ヲ支拂フノミヲ以テ  
 足レリトスルナリ  
 是レ一見被保險者ニ取リテ頗ル不利ナルカ如ク見ユレトモ保險ハ空想的ノ利益  
 ヲ保險スルモノニアラス實際ノ損害ヲ回復スルノ契約ニシテ若シ然カセザルト  
 キハ反テ罪惡ノ發生スルヲ免レサルノ點ヨリシテ斯ノ如ク規定シタルナリ然レ

トモ多クノ場合ニ於テハ損害填補ニ對スル保險價額ノ爭ヲ避クル爲メ前ニ述ヘ  
 クルカ如ク保險契約ノ當時ニ當事者間ニ一定ノ價額ヲ協約シ先ニ引用シタル第  
 三百九十四條ノ如ク保險者カ其價額ノ著シク過當ナルヲ證明スル外協定シタル  
 保險價額ニ依ルヘキモノトセリ但シ著シクト云フハ如何ナル程度ヲ指スヤハ事  
 實上ノ問題ニシテ例ヘハ雙方ニ於テ協定シタル場合ノ價額カ千圓ニシテ後填補  
 ノ際ニ保險者ニ於テ之カ七百圓ニ充タサルコトヲ證明スレハ第三百九十四條ニ  
 ヨリテ填補額ノ減少ヲ請求スルコトヲ得ルヤ或ハ八百圓ナラハ如何或ハ五百圓  
 ナラハ如何ト云フカ如キ個々ノ場合ニ於ケル爭ハ自ラ裁判官ノ判決ヲ仰カサル  
 ヘカラサルモ兎モ角被保險者ノ側ニ之タケノ危険ヲ條件トシ置カサル時ハ契約  
 締結ノ時ニ方外ナル保險價額ヲ提供シ保險者モ亦營業上ノ利益ヨリシテ之ヲ認  
 メ保險制度ノ弊害ノ一トシテ數ヘラルル所ノ社會ニ對スル損害發生ノ増加ヲ防  
 止スルコト能ハサルナリ

上述ノ如ク被保險者ハ保險價額ノ著シク減少シタル場合ニ填補額ノ減少ヲ請求  
 セラルル危険ヲ負ヘリ故ニ契約ノ期間中ニ於テ保險價額ノ減少シタルコトヲ知

リタルトキハ寧ロ進ンテ之ヲ保險者ニ通知シ或ハ場合ニヨリテハ保險金額並ニ  
 之ニ對スル保險料額ノ減少ヲ請求スルヲ可ナリトス我商法ハ第三百九十二條ニ  
 之ニ關スル規定ヲ設ケ保險價額カ保險期間中著シク減少シタルトキハ保險契約  
 者ハ保險者ニ對シテ保險金額及ヒ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得ト規定セリ  
 以上ハ損害保險ノ通則ナレトモ火災保險ノ如キ保險ノ目的ニ確定ノ場所アル場  
 合ニハ其場所並ニ時ニ於ケル價額ヲ發見スルニ難カラスト雖トモ海上保險並ニ  
 運送保險ノ如キ保險ノ目的カ常ニ轉移シ且ツ海上保險ノ如キニアリテハ往々損  
 害ノ發生シタル時期ノ不明ナル場合アルコトアリ故ニ若シ最初ヨリ當事者ニ於  
 テ保險價額ヲ定メザリシナラハ何時何處ニ於ケル價額ヲ以テ損害填補ノ標準ト  
 爲スヘキヤ不明ナルコト多キヲ想像シ商法ニ於テハ特ニ之ニ關スル規定ヲ設ケ  
 第四百二十四條ニ運送品ノ保險ニ付テハ發送ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額及ヒ到  
 達地迄ノ運送貨其他ノ費用ヲ以テ保險價額ト爲スト定メ又第六百五十六條及ヒ  
 第六百五十七條ニ海上保險ニ關スル規定ヲ設ケ船舶ノ保險ニ付キテハ保險者ノ  
 責任カ始マル時ニ於ケル其價額ヲ以テ保險價額トス荷積ノ保險ニ付キテハ其船

積ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額及ヒ船積並ニ保險ニ關スル費用ヲ以テ保險價額ト爲スト定メタリ

### 第五款 保險金額

保險價額ハ被保險利益ノ價ナルヲ以テ被保險者ハ此利益ノ限度迄保險契約ノ利益ヲ享有スルコトヲ得ヘク又保險契約者ハ此價額ト同額迄ノ保險金額ヲ契約シ得ヘキナリ即チ保險金額ハ保險者ノ填補ノ範圍ヲ定ムル所ノ標準ニシテ或ハ保險價額ト同額タリ或ハ保險價額ノ以內タリ時ニハ又保險價額ヲ超エテ保險金額ノ定メラルル場合ナキニアラスト雖トモ斯ノ如キ場合ハ超過保險ト稱シテ契約ノ效力ニ影響ヲ及ホスモノタリ要スルニ保險者カ其引受ケタル保險ニ付キテ安全ヲ得ント欲セハ保險價額ヨリ少ナキ保險金額ヲ締結セサルヘカラス是レ其餘分ニ付キテハ被保險者自身ヲシテ責任ヲ有セシムルノ方法ニシテ從テ被保險者ノ惡意又ハ大過失ニ原因スル損害ノ發生ヲ防止シ得ルナリ故ニ例ヘハ獨逸諸聯邦又ハ諸都市ニ行ハルル公立火災保險ニ於テ建物ノ價額ノ三分ノ二ヲ限リ保險金額ト爲スコトヲ得ト規定スルカ如キ或ハ米國ニ於テ多ク行ハルル「コーインシ

ユアランス、クロース」共同保險條款ニ於テ保險者ハ常ニ損害發生高ノ十分ノ八ヲ負擔シ被保險者ハ自ラ其十分ノ二ノ危險ヲ負擔スルト約スルカ如キハ保險金額ト保險價額トノ關係ヲ説明スルニ餘アリ然レトモ是等ハ保險者カ其安全ノ爲メニ探ル所ノ隨意契約ノ方法ナルカ故ニ保險金額ヲ保險價額ト同額ニスルコトモ固ヨリ妨アルコトニアラス殊ニ保險價額ノ客觀的決定カ困難ナル場合ニ際シテハ全ク之ヲ定メス保險金額ヲ以テ保險價額ト指定スル場合少ナカラス例ヘハ我商法第六百五十八條ニ「積荷ノ到達ニヨリテ得ヘキ利益又ハ報酬ノ保險ニ付テハ契約ヲ以テ保險價額ヲ定メサリシ時ハ保險金額ヲ以テ保險價額トシタル者ト推定ストアリ即チ積荷カ無事ニ外國ニ到達シ其爲メ荷主製造元或ハ委託販賣者ノ得ルカ如キ希望利益ノ保險ニ付キテハ損害保險ノ總則ヲ適用シテ損害ノ發生シタル時ト場所ニ於ケル計算ヲ行フコト能ハス豫メ保險價額ヲ定メタリシ場合ニハ勿論之ニ依ルヘキモ定メサリシ場合ニハ發送ノ時ニ於ケル客觀的價額モ亦明瞭ナラサルヘキカ故ニ保險金額ヲ以テ保險價額トシタルモノト推定セサルヲ得ス然リト雖トモ此場合ニ在リテモ無法ナル價額ヲ約スルコトハ固ヨリ許サレサ



ルモノタルヲ忘ルヘカラス即チ道理アル保險金額ニ非サレハ契約スルヲ得サルモノニシテ從テ縱令當事者間ニ於テ相當ノ保險金額ヲ定ムト雖トモ必スシモ此金額ノ全部カ常ニ支拂ハルルモノニアラス是レ損害保險ト生命保險ノ區別セラ  
 ルル一方面ニシテ損害保險ニアリテハ常ニ損害ノ實額ヲ計算シ又次ニ論スルカ  
 如ク一部保險又ハ共同保險ノ場合ニハ負擔ノ割合ヲ計算シテ填補ヲ爲スコト生  
 命保險又ハ其他ノ定額保險例ヘハ疾病傷害ノ保險ノ如ク保險者カ常ニ自己ノ引  
 受ケタル被保險金ノ全部ヲ仕拂フト異ナレリ然リト雖トモ往々之ノ變態ナキニ  
 アラス例ヘハ我國ニ於テ行ハルル信用保險ニ於テ主人タル被保險者ハ其財產ヲ  
 舉ケテ保險ニ附スルコトハ寧ロ少ナク財產ハ縱令何十萬アルモ保險金額ハ甲ノ  
 被備者ニ付テ千圓乙ノ被備者ニ付テ二千圓ト云フ如ク保險金ヲ定ムルナリ故ニ  
 甲ノ被備者カ五百圓ノ拐帶ヲ爲シタリトセハ保險價額ハ幾十萬ニシテ保險金額  
 ハ其幾十分若ハ幾百分ノ一ナルカ故ニ損害填補ニ際スル保險者ノ負擔モ亦其割  
 合ニ依ルヘキヤト云スニ斯クノ如クニシテハ信用保險ノ目的ヲ達スル能ハサル  
 ヲ以テ此場合ニハ特約ヲ設ケ主人ノ所有スル財產ノ價額如何ニ拘ハラズ保險者

ハ常ニ被保險者ノ蒙リタル全部ノ損害ヲ填補スト定メタルナリ是レ英語ニ所謂  
 「ザアリーニド、ポリシー」(定價保險)ノ一種ニシテ火災保險ニ於テモ保險價額ノ如何ニ拘  
 ハラス保險者ハ常ニ發生シタル損害ノ全部ヲ負擔スル契約ヲ特約スル場合ハ之  
 ヲ定價證券ト云フナリ斯ノ如キ方法モ亦存在スルコトヲ知ラサルヘカラス

第六款 超過保險

保險契約ハ被保險利益ヲ保護シ其損喪ヲ回復スルノ外ニ出ツルコト能ハサルカ  
 故ニ保險者ハ被保險利益ノ價額即チ保險價額以上ノ保險金額ヲ契約シ又ハ填補  
 ヲ爲スコトヲ得ス商法第三百八十六條ニ保險金額カ保險契約ノ目的ノ價額ヲ超  
 過シタルトキハ其超過シタル部分ニ付テハ保險契約ハ無効トストアリ之ヲ超過  
 保險ト稱シ惡意ヲ以テ締結セラレタル場合ニ於テハ寧ロ契約全部ヲ無効トスル  
 ヲ至當トスルカ如キモ超過保險ハ必スシモ惡意ノミニヨリ生スルモノニアラス  
 契約ノ當時ハ超過ノ事實ナキモ後ニ保險價額ノ低落ニヨリ超過ノ事實ヲ示スコ  
 トアルヘク又同部分ヲ無効トセストモ超過分ノミヲ無効トスレハ實際危險ナル  
 結果ヲ引起スコトナキナリ然リト雖トモ斯ノ如キ規定ハ眞ニ開明ノ域ニ達セザ

保險法 保險契約ノ要素 被保險利益

ル社會ニ於テハ尙不充分ニシテ實際超過保險カ有效ニ成立シ之ニ依リテ損害否  
 ナ損害ニアラサル部分モ填補セラルルノ奇觀ヲ生シ國家社會ニ損害ヲ與フルニ  
 ト少ナカラス現ニ我國ノ火災保險業ノ如キ此弊害ニ陥レルニアラサルカ外國ニ  
 於テハ極メテ稀ナル例ナレトモ超過保險ニ對シ警察的ノ干涉ヲ爲シ以テ危險ノ  
 發生ヲ防禦セント試ムル處アリ

### 第七款 一部保險

保險價額ノ全部ニアラスシテ其一部ヲ保險ニ付シタル場合即チ保險金額ノ保險  
 價額ニ充サル場合ヲ一部保險ト云フ此場合ニ於ケル保險者ノ負擔ハ常ニ保險金  
 額ノ保險價額ニ對スル割合ニ應シテ之ヲ定ム例ハ保險價額カ千圓ニシテ保險  
 金額カ五百圓ナラハ保險者ノ負擔ハ千ニ對スル五百即チ常ニ二分ノ一ナリ故ニ  
 保險ノ目的カ全部損害ニ罹リ千圓ノ損害カ發生シタラハ保險者ハ五百圓ヲ負擔  
 スルト同時ニ損害ノ額カ四百圓ナリシナラハ保險者ノ負擔額ハ其二分ノ一即チ  
 二百圓ナリ是レ保險ニ附セラレサル利益ハ被保險者自身カ保護ノ責ニ任スヘキ  
 道理ヨリ來ルモノニシテ被保險者自身カ保險者ノ地位ニ立テリト見做スコトヲ

得レハナリ之ヲ共同保險ト稱ヘ第五款ニ述ヘタル「コーインシユアランス」條款ハ  
 此原則ヲ應用シタルナリ舊商法ハ此主意ヲ明文ヲ以テ規定シ即チ第六百三十九  
 條ニ「保險スルコトヲ得ル利益ノ額ニ滿タサル保險ノ場合ニアリテハ其殘餘ノ額  
 ニ付被保險者ヲ自己ノ保險者ト見做シ被保險者ハ其額ノ割合ニ應シテ損害ヲ負  
 擔ス但別段ノ契約アルトキハ此限リニアラスト規定セリ別段ノ契約トハ例ヘハ  
 先ニ述ヘタル「ザアリードポリシー」ノ契約ノ如ク保險者カ其約定シタル金額ヲ限度  
 トシテ常ニ自己一人ヲ以テ填補ノ責ニ任スルカ如キ場合ヲ云フナリ然ルニ此ノ  
 如キ觀念ハ現今保險契約ニ關スル立法ノ主義ト相容レサル所ニシテ先ツ被保險  
 者ヲ自己ノ保險者ト見做スト云フカ如キハ寧ロ經濟上或ハ比喩的ノ言語ニシテ  
 俗ニ自己保險ト號シ例ヘハ汽船會社ノ如キハ其所有スル船舶ノ難破若クハ破損  
 ノ損害ニ供フル爲メニ年々各船舶ニ付キ一定ノ金額ヲ積立テ之ヲ自己保險ト云  
 フカ如キ慣習ヨリシテ之モ亦保險契約ナリト云フコトヲ得ルナラハ此規定モ或  
 ハ適當ナルヘシト雖トモ現今保險ト稱スルモノハ多數人ノ協力ニ依リテ損害ヲ  
 分擔シ保險契約ト云ヘハ必ス保險者カ相手方ノ爲メニ損害ヲ填補スルモノタラ

ナルヘカラス且現行商法ハ共同保險者ノ填補義務ヲ契約締結ノ順序ニ依リテ區別セルカ故ニ被保險者ヲ自己ノ保險者ト見做ス場合ニ之ヲ以テ最初ニ置クヘキヤ最後ニ置クヘキヤ決定スヘカラサル難問ノ發生スルノ患アルカ故ニ全ク舊商法ノ規定ヲ廢シ第三百九十一條ニ之ニ代ルヘキ規定ヲ設ケタリ即チ保險價額ノ一部ヲ保險ニ附シタル場合ニ於テ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニヨリテ之ヲ定ムトセリ次ニ此一部保險ナルモノハ被保險者ノ方面ヨリ云フヘキモノナルヤ又保險者ノ方面ヨリ云フヘキモノナルヤヲ考察スルニ余ハ常ニ被保險利益カ全部保險セラレ居ルヤ或ハ一部ヨリ保險セラレサルヤノ標準ヲ以テ見ルヘキモノニシテ保險シタル保險者ノ數カ一人ナルト數人ナルトハ固ヨリ論スル所ニアラスト信ス若シ之ヲ保險者ノ方面ヨリ各個ノ保險契約ニ付テ云フトキハ例ヘハ茲ニ五人ノ保險者アリテ千圓ノ保險價額ヲ分擔シ全部ノ保險ヲ行ヒタルトセハ之ヲ全部保險ト云フコトヲ得ヘキニモ拘ハラヌ各保險者ノ側ヨリ見レハ皆一部保險ナルノ奇觀ヲ呈スヘシ第三百九十一條ノ規定ハ此ノ如キ場合ヲ想像スルニアラスシテ之ヲ以テ保險ニ付セラレタル部分ト付セラレタル部

分トノ關係即チ保險者ト被保險者トノ負擔ノ關係ヲ示シタルモノト解釋セサルヘカラス

### 第八款 重複保險

重複保險ハダブルインシュアランス「ドゥベルフェヤジッヘルンク」ト稱シ共ニ一ノ被保險利益ニ付キ數個ノ保險契約ノ締結セララル場合ヲ指スナリ然レトモ是等ノ言語ノ意義ニ付キテハ自ラ人ニヨリテ説ヲ異ニセリ或者ハ數個ノ契約ノ存在ヲ以テ直ニ重複保險ト云フ例ヘハ千圓ノ保險價額ニ付キテ五百圓ト三百圓ノ保險金額カ別々ニ契約セラレタル場合ノ如キ之ヲ重複保險ト云フナリ然レトモ斯ノ如キ場合ニ對シテハ別ニ共同保險ト云フ名稱アリ故ニ之ヲ重複保險ト云フハ穩當ナラサルカ如シ何トナレハ被保險利益カ重複ノ保護ヲ受クルノ事實ハ見ルコトヲ得サレハナリ依テ或學者ハ又多數ノ契約ノ存在ノ外ニ其契約セル保險金ノ總額カ保險價額ヲ超過スル事實ヲ必要トシ是ニ於テ始メテ重複保險ト云フヲ得ヘシト解ケリ之ヲ最モ普通ニシテ穩當ナル意義ナリトス然ルニ或學者ハ又此外ニ尙一ノ事實ヲ要求シ數個ノ保險契約カ順次ニ結ハレタル場合ニアラサレハ重複

保險ト云フヲ得スト云ヘリ獨逸學者ニ於テ多ク此說ヲ見レトモ順序填補ノ主義ヲ採ルハ獨逸其他ノ大陸諸國ニシテ必スシモ之カ世界共通ノ主義ト云フヲ得ス又重複ト云フコトハ必ス後ヨリ前ノ上ニ重ナルト云フ事實ヲ固守セストモ一時ニ數個ノ保險契約締結セラレテ一ノ利益ノ上ニ二重ノ保護者アルコトハ更ニ怪ムニ足ラサル所ナルヲ以テ第三ノ意義ハ寧ロ不穩當ナリトセサルヘカラス我商法ニ於テハ重複保險ナル文字ヲ用ヒス只舊商法ニ於テ第二ノ意義ニ於テ之ヲ用ヒタルヲ見ルノミナレトモ實際多クノ保險會社ニ於テ此文字ヲ使用シ又説明上便利ナルヲ以テ余ハ茲ニ第二ノ意義ニ於ケル重複保險即チ一ノ被保險利益ニ對シテ數個ノ保險契約アリ而シテ之カ超過保險タルノ状態ニアル場合ヲ重複保險ト稱シテ次ニ説明セント欲ス

重複保險ニ付テハ我商法ノ規定ニ從ヒ次ニ掲クルカ如キ諸種ノ場合ヲ説明セサルヘカラス

**第一** 重複保險ハ必ス超過保險ナルヲ以テ總保險金額ノ保險價額ニ超過シタル部分ハ無効ナルコト勿論ナリ(第三八條第六條)

**第二** 重複保險カ同時ニ成立シタル場合ニハ各保險者ノ負擔額即チ損害發生ニ方リテ之ヲ填補スヘキ金額ノ限度ハ各自ノ保險金額ノ割合ニヨリ之ヲ定ムヘキモノトス例ヘハ千圓ノ家屋ニ付テ甲乙丙ノ三會社カ五百圓四百圓並ニ三百圓ノ各契約ヲ爲シタリトスレハ各會社ノ負擔額ハ五ト四ト三ノ割合即チ四百十七圓三百三十三圓並ニ二百五十圓ニシテ若シ其家屋カ全部燒失シタル場合ニハ各此金額ヲ支拂ハサルヘカラス又保險價額ノ一部例ヘハ半カ燒失シタル場合ニハ各會社ノ負擔モ半ニシテ即チ二百八圓五十錢百六十六圓五十錢並ニ百二十五圓ヲ支拂フカ如シ但シ同時ニ成立スルト云フモ事實上多數ノ契約カ同時ニ成立スルハ不可能ノ事ナルヲ以テ我商法ニ於テハ同日ニ締結セラレタル契約ハ同時ニ爲シタルモノト推定スト規定セリ

**第三** 重複保險カ時ヲ異ニシテ締結セラレタル場合ニハ前ノ保險者先ツ損害ヲ負擔シ若シ其負擔額カ損害ノ全部ヲ填補スルニ足ラサルハ後ノ保險者之ヲ負擔スヘキモノトス例ヘハ前例カ相次テ契約セラレタル場合ニアリテハ甲ハ五百圓乙ハ四百圓丙ハ百圓ヲ拂ヒ最後ノ保險者タル丙ハ超過部分即チ二百圓

ノ填補義務ヲ免ルルモノトス(三條八)

此例ハ損害カ全部ニ付テ發生シタル場合ナレトモ之カ一部ニ付テ發生シ即チ千圓ノ家屋ニ付テ其半即チ五百圓ノ損害カ發生シタル場合ニ各保險者ノ填補スヘキ金額如何ト云フニ我商法ノ規定ハ全損ノ場合ト一部損害ノ場合トヲ區別スルノ規定ナキカ故ニ同シク第三百八十八條ニヨリ先ノ保險者先ツ損害ヲ負擔シ即チ此場合ニ發生セル損害五百圓ヲ自己ノ責任タル五百圓ヲ以テ支拂ヒ乙丙ハ共ニ填補ノ義務ヲ免ルルナリ勿論乙丙カ填補ノ義務ヲ免レタリト云フモ只當該損害ヲ填補スルコトヲ要セサル迄ニシテ殘餘ノ保險價額即チ五百圓ニ對シテハ勿論保險ノ責任ヲ負擔シ若シ之モ燒失シタル場合ニハ先ツ乙カ其負擔分ヲ以テ損害ヲ填補シ足ラサル部分ヲ丙カ填補スヘキモノナリ然ルニ學者ニ依リテハ之ト解釋ヲ異ニシ斯ノ如キ場合ニ於テハ甲カ二百五十圓ヲ支拂ヒ乙カ二百圓ヲ支拂ヒ丙カ五十圓ヲ支拂フヘシト云フモノアリ此見解ハ第三百九十一條ノ保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ保險價格ニ對スル割合ニ應シテ之ヲ定ムト云ヘル規定ヲ引用シ

即チ甲ノ保險金額ハ五百圓ニシテ保險價格ハ千圓ナルカ故ニ甲ノ負擔ハ常ニ二分ノ一ナリ乙モ是ト同シク五分ノ二ナリ丙ハ十分ノ三ナリ故ニ生シタル損害ヲ負擔スル場合ニ於テモ二分ノ一ト五分ノ二ト十分ノ三ノ割合ヲ以テ之ヲ負擔スヘシト云フニアリ然レトモ余ノ見解ニヨレハ負擔額ナル文字ノ意義ハ第三百八十八條ニ於テモ明ナルカ如ク責任額ノ意ニシテ且此第三百九十一條ノ規定ハ保險ニ附セラレタル部分ト保險ニ附セラレサル部分トノ區別ヲ爲シ以テ保險者ノ負擔方法ヲ示シタル者ニ過キス各保險者ノ負擔スル方法ハ第三百八十八條ノ規定ニヨリテ順次ニ自己ノ負擔額ヲ支拂フヘキモノトセサルヘカラス然レトモ此解釋ハ順次填補ノ主義ヲ嚴正ニ實行セントスルニ在ルヲ以テ餘リニ極端ニ過クルトスル者少カラス然レトモ我法文ハ此ク解釋セサルヘカラサルヲ如何セン

我商法ニ於テ斯ク重複保險カ同時ニ結レタル場合ト時ヲ異ニスル場合トヲ區別シテ規定シ各保險者ノ責任ニ差異ヲ設ケタルハ理論上一應ノ道理ナキニアラサルモ實際上頗ル不便ナリ何トナレハ此ノ如キ契約ノ方法ハ前保險者カ第一危險

ヲ負擔スル者ニシテ其保險料カ第二以後ノ保險料ニ比シテ高率ナラサルヘカラ  
 ス故ニ保險契約ノ頻繁ニシテ進歩シタル社會ニ於テハ皆契約ノ順序ニ拘ハラ  
 總テ損害ヲ平等ニ分擔スルコトナシ英米並ニ主トシテ其保險事業ヲ繼承シタル  
 我國ニ於テモ從來ノ慣習上總テ平等分擔ノ主義ニヨレリ而シテ舊商法ハ全ク此  
 主義ヲ以テ其規定ヲ設ケシカ現行商法ハ之ヲ修正シタル者ナリ是レ歐洲大陸ノ  
 主義ニ習ヒタルモノニシテ修正ノ理由ハ時ヲ異ニシタル場合ト同一ノ場合トヲ  
 同シク取扱フハ不穩當ナリトノ理論ト後ノ保險者カ贊同シタル爲メ前ノ保險者  
 カ義務ヲ輕減セラルルコトノ不道理ナリト云フニアリ然レトモ斯ノ如キ理由ハ  
 全ク机上ノ空論ニシテ更ニ被保險者ノ意思ヲ考量セサルノ缺點アリ何トナレハ  
 被保險者カ一旦甲ノ保險者ニ保險契約ヲ爲シ置キ尙他ニ乙ノ保險者ヲ迎フルハ  
 甲ノ保險者ノ引受ヲ不安ト感スルカ或ハ未タ不足ナリト思惟スルカ或ハ一層確  
 實ニ利益ヲ保護セントスルノ意思アルカニシテ又縱令是等ノ意思ナシトスルモ  
 多數人ノ參同ノ爲メニ各個人カ其義務ノ輕減ヲ得ルハ世態ノ當然ナリ殊ニ時ヲ  
 異ニシタル場合ト時ヲ同シタル場合トヲ同一ニスルハ不穩當ナリト云フカ

如キ議論ヲ試ミントスルナラハ同日ニ契約シタルモノト雖トモ時ニ前後ノ區別  
 アルヘシ何ソ之ヲモ區別シテ責任ヲ異ニスルノ舉ニ出テサルヤ況ンヤ先ニ述ヘ  
 タルカ如キ保險技術上ノ復權ヲ考量セサルノ規定タルニ於テヲヤ我國ノ保險業  
 者ハ皆新商法ノ規定ヲ採用セス總テ從來ノ平等分擔主義ヲ採ルカ故ニ此法文ハ  
 全ク死文ナルノミナラス法律改正ニ際シテハ之カ修正サレンコトヲ希望スルモ  
 ノ多キヲ以テ順序負擔主義ハ我國ニ於テハ遠カラス其跡ヲ收ムルニ至ルヘシ  
 保險價格ノ全部ヲ保險ニ付シタルトキハ其以上ノ保險契約ハ超過保險ノ原則ニ  
 ヨリ無効タルヘキコト論ヲ俟タス然ルニ我商法ハ第三百八十九條ヲ以テ左ニ掲  
 クル場合ニ於テハ更ニ保險契約ヲ爲スコトヲ得ト定メタリ

(一) 前ノ保險者ニ對スル權利ヲ後ノ保險者ニ讓リ渡スコトヲ約シタルトキ  
 (二) 前ノ保險者ニ對スル權利ノ全部又ハ一部ヲ拋棄スヘキコトヲ後ノ保險者ニ約  
 シタルトキ

(三) 前ノ保險者カ損害ノ填補ヲ爲ササルコトヲ條件トナシタルトキ  
 是等ノ場合ハ重複ノ事實ヲ示ササル場合ニシテ重複ノ事實ヲ示ササル場合ニ於

テノミ更ニ保險契約ノ締結ヲ許シタルモノナルカ故ニ重複保險ト云フヨリ寧ロ豫備保險ト云フヲ當レリトス保險契約者カ前ノ保險者ノ資力ヲ疑ヒ或ハ所在地ノ關係上後ノ保險者ニ依頼シテ之ヨリ保險金ヲ得ント欲スルカ如キ場合ニ斯ノ如キ事項ヲ特約シテ更ニ保險契約ヲ締結スルヲ便利ナリトシテ此規定ヲ設ケタルナリ

### 第九款 共同保險

共同保險ハ前款ニ述ヘタルカ如ク一ノ被保險利益ニ付キ數個ノ保險契約カ參同スルモ其保險金額ノ總額カ保險價格ト同一ナルカ又ハ著ク其以内ナルカノ場合ヲ指スモノニシテ此場合ニ於テハ商法第三百八十八條ニヨリ之カ順序ニ結ハレタル場合ニハ先ノ保險者ヨリ其損害ヲ負擔スルコトトシ同時ニ結ハレタル場合ニハ保險金額ノ割合ヲ以テ之ヲ分擔スルコト當然ナリトス順次填補ノ場合ニ於テ其方法ニ付キテ起ル問題ハ重複保險ト同一ナルヲ以テ茲ニ之ヲ略ス

### 第十款 再保險

再保險トハ一ノ被保險利益ニ付テ保險ノ責任ヲ負ヒタル保險者カ其責任即チ自己カ不慮ノ危險ノ發生ニヨリ蒙ルコトアルヘキ損害ヲ再ヒ他ノ保險者ニ保險セシムルモノニシテ保險ノ目的ハ同一ナレトモ被保險利益ハ本來ノ被保險利益ト全ク別個ノモノニ屬ス本來ノ保險ヲ原保險ト稱シ原保險ニ於ケル被保險利益ハ或ハ物ニ關シ或ハ人ニ關シ或ハ債權債務ノ關係ニ關スト雖トモ再保險ニ於ケル被保險利益ハ常ニ義務保險ノ性質ヲ有シ從テ之ヲ損害保險ナリト解釋セサルヘカラス再保險ノ又再保險ノ其又再保險モ固ヨリ有效ニシテ多クノ保險業者ハ互ニ再保險ヲ授受シ以テ其事業ノ基礎ヲ安固ナラシムルノ手段トスルヲ以テ再保險ヲ一種ノ組合ノ契約ナリト云フカ如キ學者アリ其外再保險ノ法律上ノ性質ニ付テハ議論多シト雖トモ茲ニ最モ簡短ニ云フトキハ保險義務ノ保險即チ不定ノ原因ニ依リテ保險者ノ支拂サルヘカラサル債務ノ保險ニシテ常ニ損害ノ保險ト云ハサルヘカラサルナリ再保險ノ目的タル利益ノ内容ハ必スシモ原保險ト同一ニアラス先ツ保險金額ノ差異アルコトアリ例ヘハ原保險ノ金額ハ千圓ナルモ其内五百圓ヲ再保險ニ附スルコトヲ妨ケス又危險ノ一部ヲ再保險ニ附スルコトアリ例ヘハ火災保險ニ於テ原保險ハ總テノ種類ノ火災ニ對スル填補ヲ約スルモ再

保險法 保險契約ノ要素 被保險利益

保險ハ自火危險ニ對シテノミ又ハ類燒危險ニ對シテノミ填補ヲ約スルヲ得ルカ  
 如シ又保險契約ノ種類ヲ變更スルモ差支ナシ例ヘハ生命保險ニ於テ原保險ハ養  
 老保險ナルモ其内ノ死亡ノ危險ニ對スル部分ノミヲ保險ニ付シテ定期保險ノ再  
 保險ヲ締結スルヲ妨ケサルカ如シ又保險期間ニ付テハ原保險ハ一年ナルモ再保  
 險ハ六ヶ月タルコトヲ妨ケス之ト同時ニ再保險ニ付テ超過保險ヲ契約シ或ハ原  
 保險ノ保險期間ヲ超ヘテ再保險ヲ締フモ契約其モノノ效力ニ影響スルモノニア  
 ラス然レトモ再保險ノ成立ハ原保險ノ成立ニ懸カルモノナルカ故ニ原保險カ無  
 效ナル場合ニハ再保險モ無効ニシテ原保險カ效力ヲ失ハハ再保險モ亦之ト運命  
 ヲ共ニセサルヘカラス再保險ノ問題中我カ商法ノ規定並ニ保險業法ノ規定ニ關  
 聯シテ自今疑問トナレル難澁ナル問題アリ我カ保險業法ノ規定ニヨレハ生命保險  
 ト損害保險ハ同一ノ會社ニ於テ兼業スルコトヲ得スト定メラレタリ然ルニ生命  
 保險ノ再保險ヲ生命保險ナリトスレハ諸外國ニ於ケルカ如ク同業者カ互ニ再保  
 險ノ授受ヲ爲スコトヲ得ヘキモ之ヲ損害保險ナリトスルトキハ互ニ再保險ヲ授  
 受スルコト能ハサル不都合ヲ生スルナリ或學者ハ再保險ハ原保險ノ性質ヲ取ル

ト云ヒ即チ生命保險ノ再保險ハ生命保險ナリ火災保險ノ再保險ハ火災保險ナリ  
 ト云ヘリ此ノ議論ハ保險ノ經濟的並ニ技術的觀察ヨリシテ道理アリト云サルヘ  
 カラス保險ヲ取締ル所ノ行政上ノ觀察ヨリスルモ又斯ク見做スヲ適當ナリトセ  
 サルヘカラスト雖トモ純然タル法理上ノ性質ヨリスレハ再保險ノ被保險利益ハ  
 常ニ債務ニ關係スルモノニシテ金錢ニ見積ルコトヲ得ヘク唯々損害保險ト云フ  
 コトヲ得ヘシ故ニ我カ國ノ法規ノ下ニ於テハ生命保險會社ハ互ニ再保險ノ授受  
 ヲ爲スコト能ハサルト同時ニ火災保險會社又ハ海上保險會社ハ獨リ其部類ニ屬  
 スル火災海上等ノ保險契約ノ再保險ヲ行フコトヲ得ルノミナラス又生命保險ノ  
 再保險ヲモ引受クルコトヲ得ルノ奇觀ヲ呈セサルヲ得ス或人ハ生命保險ノ再保  
 險ヲ商法第四百二十七條ノ規定ニヨリテ同シク生命保險ナリト解釋スルコトヲ  
 得ヘシト説クト雖トモ立法者ノ主旨ハ蓋シ然ラサルヘク且ツ又之ヲ生命保險ナ  
 リトスルモ保險金額ヲ受取ルヘキモノハ常ニ保險者ニシテ第四百二十八條ニヨ  
 リ死亡保險ニアリテハ被保險者ノ同意ヲ得サルヘカラス此ノ如キハ立法ノ趣意  
 ニ非サルコト明ナリ再保險ノ性質ヨリシテ上記ノ如キ難問ヲ生スルカ爲メニ明



治四十五年三月保險業法改正ニ際シ生命保險會社ハ生命保險ノ再保險ハ之ヲ其目的トナスコトヲ得トノ改正ヲ爲シタリト雖トモ損害保險會社カ之ヲ爲シ得ストノ規定ナキヲ以テ尙問題ノ發生ヲ免レサルナリ

再保險ハ保險ノ進歩シタル諸外國ニアリテ生命保險其他ノ保險ニモ利用セラルコト勿論ナリト雖トモ最モ盛ナルハ海上保險ニアリ再保險ノ又再保險ヨリシテ數多ノ再保險者ヲ有スルカ如キ場合ハ殆ント海上保險ニ限レリ火災保險ニ於テモ互ニ再保險ヲ授受スルコトヲ得サルトキハ此事業ノ生存ニ缺クヘカラサル危險ノ分配ヲ良好ナラシムル能ハス大損害ヲ蒙リテ破産ノ悲境ニ陥ルヲ免レス故ニ再保險ハ寧ロ保險者ノ自衛ノ方法トシテ行ハルルモノナルヲ以テ其保險料ノ如キモ必スシモ原保險ノ保險料ヨリモ安價ナルモノニアラス或ハ同一若クハ却テ高キ場合アルヲ知ラサルヘカラス

### 第十一款 集合保險總括保險及ヒ繼續保險

保險契約ハ通常一個ノ被保險利益ヲ一個ノ契約ヲ以テ保護スルヲ普通ノ場合ナリトスト雖トモ時ニヨリテハ事情ノ相類似セル數多ノ利益ヲ同一ノ保險契約ニ

依リテ覆フコトアリ例ヘハ同一工場ニ使役セラルル多數ノ職工ヲ一團體トシテ其職務ノ傷害ニ對シテ保險スル場合ノ如シ之ニ對シテ單獨保險ノ語アレトモ只區別ノ爲メニ用ヒラルルノミ

又保險契約ハ特定ノ利益ヲ其目的ト爲スヲ普通トスト雖トモ便宜上包括的ノ契約ヲ以テ一定セサル利益ヲ保險スル事アリ例ヘハ倉庫内ニ貯藏セラルル荷物ヲ保險ニ附スル場合ニ於テ其出入常ナラサルカ爲メ其都度新ニ契約ヲ締結スルノ煩ナルヨリ一定ノ期間一定ノ金額ニ付テ該倉庫内ノ荷物ヲ總括シテ保險シ損害填補ハ危險發生當時ノ有高ニ依ルノ方法ヲ採ルコト少ナカラス之ヲ總括保險ト稱ス之ニ對シテ特定保險ノ語ヲ用ユルコトアレトモ是又區別ヲ表示スルニ過キス

次ニ又異リタル諸種ノ利益ヲ保險スルノ點ニ於テ總括保險ニ似タルモ共通ノ危險ヲ有セサルノ點ニ於テ之ト異ナレルヲ繼續保險ト稱ス例ヘハ船主カ一年ヲ限り其船舶ノ航海スル毎ノ危險ヲ保險セシムル場合ノ如シ

### 第二節 危險

保險法 保險契約ノ要素 危險

## 第一款 危險ノ觀念

危險ナル文字ハ諸種ノ意義ヲ有スト雖トモ保險ニ關シテハ之ヲ二種ニ使用スルカ如シ一ハ吾人ニ不幸ヲ齎シ來ル所ノ外圍ノ動力ニシテ又危險事項トモ云ヒ單ニ事故トモ云フ一ハ人若クハ保險ノ目的物カ是等外圍ノ危險ニ臨メル程度ヲ指スモノニシテ危險ノ確カラシキヲ謂フモノトス而シテ茲ニ保險ノ要素トシテ論スルハ前者ノ意義ニシテ吾人カ保險契約ヲ締結シ得ルハ吾人カ危險ニ臨メリト云フ前提ノ下ニ於テノミ契約ヲ締結シ得ルモノニシテ從ツテ此危險ノ性質内容等ニ付テ研究スル所ナカルヘカラス

危險ニハ天然ノ危險ト人爲ノ危險トアリ洪水暴風雨死亡罹病等ハ天然ノ危險ニシテ盜難放火殺傷使用人ノ消費拐帶戰爭等ハ人爲ノ危險ナリ保險ハ其何レナルヲ問ハス之ニ對シテ保護ノ契約ヲ成立セシムルモノナリ危險ニハ又自然的ノ危險ト人意的危險トアリ前者ハ被保險者ノ意思ニ拘ハラズ天然自然ニ存在スル所ノモノナレトモ後者ハ被保險者カ保險ノ利益ヲ得ント欲スルカ爲メニ其意思ニ依リテ發露スル所ノ危險ニシテ屢有力ナル影響ヲ保險者ノ負擔スル危險ノ上ニ

及ホスコトアリ之ヲ道德上ノ危險ト稱ス保險契約ニ付テハ又大ニ之ヲ考慮セサルヘカラス而シテ保險契約ニ於テ其成立ノ要素トナルヘキ危險ニ付テハ次ニ掲クル要件ヲ充タササルヘカラス

**第一** 危險ハ發生ノ不慮ナルコトヲ要ス 不慮トハ發生時期ノ不定ニシテ吾人ノ智力ヲ以テ豫想スルコト能ハサルモノヲ云フモノナレトモ絶對的ニ之カ不能ナルコトアリ又ハ關係的ナルアリ例ヘハ人類ノ死期又ハ地震ノ發生ノ如キハ前者ニ屬スルモノナレトモ放火ノ如キハ之ニ遭遇スル者ニ在リテハ全ク不慮トスルモ犯人自身ハ毫モ之ヲ以テ不慮トセサルナリ故ニ危險ノ不慮ナルコトハ只保險契約ノ當事者ニ取リテ不慮ナルヲ以テ充分ナリトセサルヘカラス

**第二** 危險ハ損害ヲ惹起スルモノタルコトヲ要ス 一般保險ノ觀念ニ於テハ保險制度ハ經濟上ノ損害ニ對シテ吾人ヲ保護スルハ手段ニシテ即チ金錢上ノ利益ヲ吾人ニ對シテ保護スルモノナリ例ヘハ火災ハ家屋什器ノ類ヲ燒キ難船ハ船舶荷物ハ失ハシメ死亡疾病ハ吾人ノ身體ヲ脅シテ勤勞ノ力ヲ損セシム是等ノ損害ハ皆經濟ノ範圍ニ屬スルモノニシテ保險ハ如何ニ之カ萬能ヲ稱ヘント

スルモ此範圍ノ損害苦痛ヲ排除輕減スルノ外ニ出テス此損害ヲ排除輕減セラレタル結果トシテ吾人カ精神上ニ愉快ヲ感スルコトアリトスルモ是レ保險ノ直接ノ效果ニアラス又其本來ノ目的ニアラサルナリ但經濟上ノ損害ト云フコトト金錢上ノ損害ト云フコトハ必竟同一ニ歸スルニモ拘ハラズ一ハ其意味稍空漠ニ聞ヘ一ハ稍精密ニ解セラルルカ故ニ生命保險ニ於テ各人ノ死亡ノ爲メニ生スル損害ヲ金錢ニ見積ルヘカラスト説キ遂ニ生命保險ヲ愛情其他一般ノ損傷ニ對スル保險ナリト云フカ如キ議論ヲ生スルニ至リシナリ

**第三** 危險ハ同種類又ハ類似セル種類ノ危險タルコトヲ要ス 是レ固ヨリ個々ノ保險契約ニ付テ吾人ノ唱フヘキ要件ニアラス只保險ノ本來ノ性質上火災ヲ恐レル所ノ人ハ集マリテ火災保險團體ヲ作り死亡ヲ恐レル所ノ人々ハ集合シテ生命保險ヲ行フト雖トモ異ナリタル危險ニ對シテハ各人ノ利益カ固ヨリ一致セサルヲ以テ之ニ對スル保險團體ヲ作ル能ハサルヲ云フナリ然レトモ此事業ノ進歩セサル時代ニアリテハ各種ノ危險ヲ恐レタル多數ノ人ヲ糾合シ又今日ト雖トモ英國其他ニ於テ生命火災海上ノ別ナク一ノ保險者ニ於テ之ヲ引受

クルモノナキニアラサルヲ以テ之ヲ危險ノ絶對的要件ト爲スハ正當ナラザルヘシ尙是等ノ事項ニ付テハ後ニ保險契約ニ於ケル危險ノ要件ヲ説クニ當リ之ヲ詳述スヘシ

## 第二款 危險ノ要件

保險セラルヘキ危險ハ法律上左ノ要件ヲ具備スルコトヲ要ス

### 第一 將來ニ發生スヘキコト

前款ニ於テ危險ハ不慮ナルコトヲ要スル旨ヲ説キタリシカ不慮ノ當然ノ結果トシテ既ニ發生シタル危險ハ不慮ト云フヲ得ス常ニ之カ將來ニ發生スヘキヲ要件トス然レトモ例ヘハ海上保險ノ如キニアリテハ航行中ノ船舶ヲ保險スル場合ニ既ニ事故ノ發生セシヤ或ハ未タ發生セサルヤ不明ナルモ其被保險者カ善意ニシテ契約ヲ締結スル場合ハ寧ロ之ヲ獎勵シ縱令後ニ至リテ其時既ニ危險ノ發生セル事實ヲ發見スト雖トモ尙其契約ヲ有效ナラシムルノ習慣第十七世紀ノ初頃ヨリ發生シ英國ニ於テ「ロスト、オーア、ナット、ロスト、クローズ」ト稱スル特別條款ヲ挿入シテ此契約ノ有效ナルコトヲ特約シタリ斯ノ如キハ全ク便

宜上ノ規定ニシテ保險契約ノ本質ニ反スルモノナレトモ其發生ノ動機ハ決シテ投機ノ意味ヲ含有セズ全ク交通不便ナル外國ノ港灣ヨリ歸港シ若クハ出港スル所ノ船舶カ途中危險ニ遭遇スル場合ニ對シ其所有者ヲ保護スル目的ヲ以テ創始セラレタリトスルヲ眞ニ近シトス今日海上保險會社カ行先不明ニ屬シ或ハ甚シク着港ノ遲延スル船舶ニ對シテ盛ニ再保險ノ授受ヲ行ヒ以テ自然ニ損害ノ分擔ヲ實行スル場合ニ於テモ此習慣ハ非常ナル效ヲ奏スルナリ而シテ此便宜的ノ習慣ハ次第ニ勢力ヲ得テ總テノ保險ニ擴張セラレ現ニ我商法ニ於テモ第三百九十七條ニ「保險契約當時當事者ノ一方又ハ被保險者カ事故ノ生ゼサルヘキコト又ハ既ニ生シタルコトヲ知レル時ハ其契約ハ無効トス」ト規定シ海上保險ニモ又之ヲ適用又ハ準用セリ

是レ即チ保險ニ加入スルトキ既ニ危險ハ生ゼリト雖トモ之ヲ知ラサレハ其契約ハ有效ナリトスル所ノ法律上ノ許容ニシテ當事者ノ意思ニ重キヲ置キタル結果危險ノ將來ニ發生スヘキモノタル原則ニ對スル特種ノ例外ヲ作りタルナリ然レトモ火災保險ノ如ク通常被保險物ノ所在確定シ或ハ生命保險ノ如キ秘

保險者ノ身體ヲ見サレハ契約ノ締結セラレサル種類ノ保險ニアリテハ斯ノ如キ便宜ノ利用セララルル機會ナシ現ニ我國ノ火災保險業者ハ其保險約款ニ於テ却テ之ト反對ノ規定ヲ設ケ保險契約者又ハ被保險者カ知ルト否トヲ問ハス保險契約ノ當時保險ノ目的既ニ火災ニ罹リタルトキ又ハ火災ニ罹ルヘキ原因既ニ發生シ居リタルトキハ保險者ハ填補ノ責ニ任セスト明言セリ

## 第二 他動的ナルコト

是又危險ノ不慮ナルコトヨリ生スル結果ニシテ吾人カ自ラ危險ノ發生ヲ促シ而モ保險ニ依リテ之カ救濟ヲ受ケントスルハ自家撞着ナリ又外圍ノ危險ニ因ラヌシテ被保險物ノ性質上發生スル所ノ危險ノ如キハ保險者ノ與リ知ラサル所ナリ我商法第三百九十六條ニ「保險ノ目的ノ性質若クハ瑕疵其自然ノ消耗又ハ保險契約者若クハ被保險者ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ生シタル損害ハ保險者之ヲ填補スル責ニ任セス」トアリ是レ損害保險一般ニ對スル規定ニシテ例ヘハ火藥カ其保存ノ缺點ヨリ自然ニ爆發スルカ如キ或ハ燐寸ノ荷造カ不完全ナリシ爲メ摩擦ヲ起シテ發火シタルカ如キ或ハ機械カ自然ト使用ニヨリテ

廢物ニ歸シタルカ如キ或ハ酒類カ運送中自然ト動搖シテ變質スルカ如キ皆保險者カ責ニ任セサル所ニシテ又保險契約者若クハ被保險者カ惡意ヲ以テ損害ヲ發生セシムルトハ例ヘハ火災ニ附シタル家屋ヲ保險金ヲ得ンカ爲メニ燒キタルカ如キ其最モ甚クシキ例ニシテ又重大ナル過失例ヘハ「ランブ」ノ下ニ危險ナル引火物ヲ置キ爲メニ大事ヲ引起シタルカ如キハ其一例トモ見ルヲ得ヘシ是等ハ皆保險者ノ填補スルヲ要セサル所ナリ然レトモ實地問題トシテハ是等ニ付テ常ニ困難ナル爭議ヲ發生スルコトヲ免レス例ヘハ被保險者タル主人カ幼年ナル使用人ニ「ランブ」ヲ取扱ハシメタルニ誤テ之ヲ取落シ之カ原因トナリテ火災ヲ引起シタル場合ニ之ヲ被保險者ノ重過失ト見做スヤ或ハ然ラサルヤ等ハ現ニ我國ニ於テモ訴訟ト爲リタルコトアリ拙著モ保險判例集三四頁又生命保險ニ付テハ此原則ノ表示トモ云フヘキ第四百三十一條ノ規定アリ曰ク左ノ場合ニ於テハ保險者ハ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セス

- (一) 被保險者カ自殺決闘其他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニヨリ死亡シタルトキ  
 (二) 保險金額ヲ受取ルヘキ者カ故意ニ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ

即チ自殺ノ如キハ全ク自動的ノ危險ナルヲ以テ之ヲ除外シ殊ニ保險金ヲ受取ルヘキモノカ被保險者ヲ死ニ致シタル場合ノ如キハ最モ此原則ニ反スル所ナルヲ以テ保險者ヲシテ此危險ヲ負擔セシメサルナリ

### 第三 適法ナルコト

危險カ法律ニ違反シタル行爲ヨリ發生シタル場合ニモ保險者カ之ヲ負擔スルトキハ公安ヲ害スルノ恐アルカ故ニ不法ナル行爲ヨリシテ危險ヲ招キタルトキハ保險者ハ責ニ任セサルヲ當然ナリトス例ヘハ保險ニ附セラレタル船舶カ密輸出入ノ目的ヲ以テ航海シタル場合ノ如キハ其一例ニシテ生命保險ニ付テモ例ヘハ竊盜ノ目的ヲ以テ他人ノ住宅ニ侵入シ家人ノ爲メニ殺害セラレタルカ如キ場合或ハ決闘其他ノ犯罪ニヨリ死亡シタル場合ヲ法律ニヨリ除外スルモ此意味ヨリ來レリト解スルコトヲ得自殺ニ付テハ之ヲ自動的危險ナリト見做サルト同時ニ又不法ナル危險トモ云フヲ得ヘシ然ルニ近來主トシテ外國ノ生命保險會社カ自殺者ニ對シテモ保險金ノ支拂ヲ爲スコトヲ契約スルコトアリ我國ニ於テモ之ニ習フモノナキニアラス勿論契約ヲ締結シテ直ニ自殺シ

タル者ノ如キニハ何等ノ支拂ヲ爲ササルモ例ヘハ保險契約締結後滿三ケ年ヲ經過シ或ハ滿五ケ年ヲ經過シタル後ノ自殺ニ對シテハ保險金ノ支拂ヲ拒マサル旨ヲ約スルナリ是レ此ノ如ク數年ノ後ニ自殺スル者ハ全ク他ニ止ムヲ得サルノ原因アリテ爲スモノニシテ決シテ保險契約ニ對スル惡意ヲ以テ遂行スルモノニアラス故ニ之ニ對シテ支拂ハサルハ殘酷ナリトノ見解ヨリ出テタルナルヘシト雖トモ國狀ニヨリテハ大ニ慎重ニ考慮セサルヘカラス之カ爲メ自殺者ヲ増加シ公益ヲ害スルニ至ラハ國家ノ損失スル所少ナカラサルナリ

### 第三款 危險ノ種類

保險契約ハ吾人カ天然人爲ノ災害ノ爲メニ經濟上ノ損害ヲ蒙ルコトアル場合ニ於テ此損害ヲ填補スルノ目的ヲ有スルモノタルコトハ既ニ説明セル所ナリ而シテ吾人ヲ脅カス所ノ危險ハ猶宇宙ノ森羅萬象ニ對シ吾人ノ探究シ盡ス能ハサルカ如ク固ヨリ之ヲ擧ケ盡スヲ得スト雖トモ經濟上六個ノ原則アリテ之カ爲メニ實際保險ノ成立シ得サルコトアリ

(一) 至大ナル危險ハ保險シ難シ例ヘハ洪水地震ノ損害ノ如キハ通常巨大ナル額ニ

達シ殆ント世界ノ團結ヲ得サレハ之ヲ填補スルコトヲ能ハサルカ故ニ未タ其

保險ヲ爲スヲ得ス

(二) 過小ナル危險ハ保險シ難シ何トナレハ損害ノ小額ニシテ吾人一人ヲ以テスルモ敢テ大ナル苦痛ヲ感セサルカ如キ危險ニ付テハ多數ノ人カ集リテ救濟ノ策ヲ講スルノ必要モナク又保險契約ノ如キ繁雜ナル手續ヲ爲スノ效モナシ外國ニ於テ保險ヲ好ム結果傘杖等ニ對シテ保險ヲ行フコトアリト雖トモ其販賣商カ其本業ニ附隨シテ景物的ニ斯ノ如キコトヲ行フノ外之カ爲メニ一ノ保險團體ヲ構成スルヲ見ス

(三) 多數ノ人カ一般ニ感スル所ノ危險ニアラサレハ保險シ難シ例ヘハ都會ニ於テハ何人モ皆火災ヲ恐ルルカ故ニ其保護ヲ希望スルモ人家稀ニシテ散在セル地方ニ於テ之ヲ見ルコト能ハサルカ如シ

(四) 屢發生セサル危險ハ保險シ難シ  
例ヘハ人ノ死亡ノ如キハ常ニ社會ニ於テ發生シ吾人ノ間斷ナク之ヲ恐ルルモノナレカ故ニ最モ善ク保險ノ成立ヲ見ルモ例ヘハ火山破裂ノ保險ノ如キハ其

一度發生シタル所ニハ人心兢々トシテ之ヲ唱フル人アルヘシト雖トモ長ク發生セサル間ニハ其必要ヲ忘レ去リテ又怖ルルモノナキニ至ルカ如シ

(五) 統計シ難キ危險ハ保險シ難シ即チ吾人カ統計ノ力ニヨリテ危險發生數ノ概略ナル豫想ヲ爲シ能ハサルカ如キ危險ニ對シテハ相互的組合ノ如キ場合ハイサ知ラス保險契約トシテ保險料ノ授受ヲ行ヒ之ニヨリテ保險者カ全責任ヲ負フカ如キ保險ハ特ニ成立ヲ見ルコト難シ例ヘハ我國ニ於テモ盜難保險ト云フカ如キ保險ハ夙ニ其必要ヲ覺リナカラ未タ其成立ヲ見サルカ如シ然レトモ學問知識ノ進歩ト共ニ漸々此點ニ於テ行ハルル範圍ヲ擴張スルハ又當然ニシテ昨今此盜難保險ヲ計畫スルモノ出ツルニ至レリ

(六) 監督ノ困難ナル危險ハ保險シ難シ即チ人意的危險ノ發生スル機會多クシテ之カ監視ノ至難ナルモノハ保險契約ノ基礎ニ動搖ヲ與フルモノニシテ其成立ヲ容易ナラサラシメサルモノナリ例ヘハ家畜保險ノ如キ保險セララルル所ノ家畜ノ換玉頗ル容易ニシテ保險者カ其異同ヲ判別スルコト難ク或ハ故意ニ之ヲ死ニ致シテ而モ其形跡ヲ發見スルノ困難ナルカ如キ事情ノ爲メニ我國ニ於テモ

其發起セララルコト一再ナラサルモ未タ之カ成立ヲ見サルカ如シ

以上六個ノ原因ニ拘束セララルルカ故ニ危險ノ種類ハ多シト雖モ之ニ基ク所ノ保險契約ハ甚タ多カラス殊ニ我國ノ如キ此事業ノ進歩セサル社會ニアリテハ僅ニ數種類ヲ見ルノミ我商法ニ於テハ危險ノ種類ニ付キ海上保險火災保險運送保險並ニ生命保險ヲ見ルノミ然レトモ實際ニ於テハ稍擴張セラレ此外徵兵保險信用保險汽罐機關保險及ヒ傷害保險ノ實行ヲ見ルニ至レリ

我商法ニ於テ火災保險ノ危險ハ如何ニ觀察セララルヤト云フニ即チ商法第四百十九條ニ「火災ニ因リテ生シタル損害ハ其火災ノ原因如何ヲ問ハス保險者之ヲ填補スル責ニ任スト」規定シ例ヘハ自火ナルト類焼ナルト放火ナルト電氣瓦斯等ヨリ來レルト落雷地震等ヨリ來レルトヲ問ハス總テ之ヨリ生シタル火災ヲ包含セシムルコトトセリ然レトモ實際ニ於テハ保險者ハ多ク除外例ヲ設ケ例ヘハ我國ニ於テハ地震又ハ噴火ノ爲メニ生シタル火災汽罐汽機等ノ破裂又ハ火藥ノ爆發ノ爲メニ生シタル火災戰爭暴動其他ノ事變ノ爲メニ生シタル火災並ニ火災ノ際ニ起リタル保險物ノ紛失盜取等ニ對シテハ保險セスト規定セリ是等ノ危險ハ先

ニ述ヘタル六個ノ原則ニ準據シテ考フルトキハ或ハ損失大ニ過キ又ハ監視ノ困難ナル爲メニ保險者ノ之カ責ニ任スルヲ得サルニ至ルモノアルヲ知ルヲ得ヘシ運送保險ニ付テハ河川湖沼若クハ陸上ノ交通機關ニ於テ若クハ運送中一時倉庫内ニ貯蓄セラレル間ノ火災水災強盜顛覆衝突其他ノ不可抗力ニシテ戰爭暴動一揆地震噴火竊盜鼠害蟲害鈎傷雨濡等ノ危険ハ或ハ大ニ過キ或ハ小ニ過キ或ハ竊盜ノ如キ監視頗ル困難ニシテ殆ント常例トナルカ如キモノナルヲ以テ特約アルニアラサレハ之ヲ負擔セサルコトトセリ

海上保險ニ於テハ其危険頗ル複雑ニシテ之ヲ類別スルトキハ左ノ三種ト爲スコトヲ得ヘシ

(一) 天然又ハ自然力ノ危険 即チ暴風雨坐礁淺瀨流水衝突ノ爲メニ沈没膠沙破船等ノ災ヲ蒙リ又ハ汽罐ノ破裂損傷火災等ノ爲メニ損害ヲ蒙ル場合ヲ指スモノナリ

(二) 船舶上ニ於ケル人爲ノ危険 其主ナルモノハ投荷ニシテ航海中暴風雨ニ會シ將ニ沈没ノ難ニ及ハントスルニ際シ全船ヲ救護センカ爲メニ船長カ積荷ノ一

部ヲ海中ニ投棄スルコトアリ誠ニ止ムヲ得サルノ處分ナルヲ以テ是亦保險者ノ引受クル所ノ危険ナリ任意ノ坐礁ノ如キモ亦然リ

(三) 船舶外ニ於ケル人爲ノ危険即チ海賊ノ襲撃劫掠敵國船ノ砲撃捕獲其他強留封港等ノ不時ノ處分ニヨリテ生スル危害モ亦海上危険ナリ

以上三種ノ危険ハ船舶積荷ニ對シテ直接ニ損害ヲ與フル事勿論ナレトモ是等ノ危険ヲ避クル爲メニ必要上取リタル行動ニヨリテ間接ニ損害ヲ惹起スルコトナキニアラス例ヘハ航海航路又ハ船舶ノ止ムヲ得サルニ出テタル變更又ハ止ムヲ得サル避難入港ノ如キ是又海上保險ノ危険ナリ然レトモ是等ノ危険ノ内ニハ其情況ニヨリ保險ヲ引受クル能ハサルモノ少ナカラス主トシテ戰爭海賊等ニ關スル危険船長海員等ノ故意又ハ重大ナル過失ニヨル危険等ハ之ヲ除外スルコトトセリ

生命保險ニ於テハ商法第四百二十七條ニ「被保險者又ハ第三者ノ生死ニ關シ云々トアルヲ以テ生命保險ニモ危険ヲ要素トスル以上ハ人類ノ死亡及ヒ一定年齢迄ノ生存ヲ危険ト解スルコトヲ得ヘシ而シテ生命保險ニ付イテハ人類ノ出生ヲ包



合セスト云ヒ或ハ疾病負傷ノ如キヲ包含スト云フ說アレトモ現今ニ於テハ我商  
 法ノ解釋上生ハ一定年齢迄若クハ一定ノ期間ヲ經過スル迄ノ生存ヲ意味シ經濟  
 上ヨリ云フトキハ吾人ノ生存ハ生活ノ費用ヲ要スルカ故ニ之ヲ危險ト見做スヲ  
 得ルナリ而シテ死亡保險ニ於テハ其死亡ノ自然的ナルト過激的ナルトヲ問ハス  
 只前款ニ掲ケタル要件ニ反セサル限り總テ保險者カ擔保ノ責ニ任スヘキモノト  
 ス

#### 第四款 危險ノ變更増加

保險者ハ保險契約ニ際シ特定セル危險ノ種類並ニ範圍ニ對シテ填補ノ責ニ任ス  
 ルモノナルカ故ニ契約ノ途中ニ於テ猶正確ニ云ヘハ保險期間ノ内ニ於テ危險ノ  
 種類カ變更シ或ハ其範圍カ擴張セラレタルカ如キ場合ニ於テハ依然トシテ其責  
 ニ任スヘキヤ否ヤハ茲ニ考察スルノ價值アリト云ハサルヘカラス  
 是ヲ危險ノ變更又ハ増加ノ場合ト稱シ我商法ニ於テハ之ヲ被保險者自身ノ招キ  
 タル場合ト自然ニ發生シタル場合トニ區別シ二箇條ノ規定ヲ設ケタリ即チ第四  
 百十條ニ保險期間中危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ

テ著シク變更又ハ増加シタルトキハ保險契約ハ其效力ヲ失フト規定シ又四百十  
 一條ニハ保險期間中危險カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘカラサル事由  
 ニ因リ著シク變更又ハ増加シタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ト  
 規定シタリ例ヘハ今或人カ其所有ノ家屋ヲ火災保險ニ附シタルニ從來普通住宅  
 トシテ何等業務ヲ營マサリシニ途中ニ於テ多人數ノ集散スル例ヘハ料理店待合  
 又ハ寄席ノ如キ業務ヲ開始シタリトセヨ是レ其人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ  
 火災ノ危險カ變更増加シタル例ニシテ此場合ニハ保險契約ハ直ニ其效力ヲ失フ  
 モノトシ以テ保險者ノ損害ヲ免レシムルコトトセルナリ又自ラ進ンテ異ナリタ  
 ル業務ヲ營ミタル如キ場合ニアラスシテ例ヘハ近傍ニ湯屋又ハ鍛冶屋ノ如キ危  
 險ナル職業ノ開始セラレタル場合ノ如キハ本人ノ責ニ歸スヘカラサル場合ニシ  
 テ之ヲモ直ニ契約失效ノ原因トスルハ聊カ苛酷ナルヲ以テ此場合ニハ保險者ノ  
 解除權ヲ認メタルナリ而シテ此後ノ場合ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ危險  
 ノ變更増加ヲ知リタルトキハ遲滞ナク之ヲ保險者ニ通知セサルヘカラス若シ此  
 ノ通知ヲ怠リタルトキハ保險者ハ危險ノ變更又ハ増加ノ時ヨリ保險契約カ其ノ

效力ヲ失ヒタルモノト見做スコトヲ得ルナリ然レトモ保險者カ此通知ヲ受ケナカラ其解除權ヲ行使セス又自ラ危險ノ變更増加ヲ知リナカラ解除權ノ行使ヲ爲ササルトキハ危險ノ變更増加ヲ默認シテ之ニ對シテ依然トシテ責ヲ負フヘキ意思アリト推定セラレ損害ノ發生ニ際シテ契約ノ效力ヲ爭フコトヲ得ストセラルルモノトス此事ハ商法第四百十一條ノ第二項第三項ニ明文アリ

以上ハ損害保險一般ニ對スル規定ナレトモ海上保險ニ於テハ其性質上直ニ此二個條ヲ適用シ難キ事情アリ故ニ少シク海上保險ニ特別ナル規定ヲ例トシテ示サントス第一海上保險ニ於テ危險ノ變更ト見做スヘキモノハ航路航海ノ變更ニシテ航海ノ變更トハ保險契約ヲ締結シタル後豫定ノ航海ヲ變更スル意義ニシテ航海トハ例ヘハ橫濱桑港ニ至ルノ間ヲ目的トシテ航行スル場合ニ橫濱ヲ出發港トシ桑港ヲ到達港トスルカ如キヲ云フ而シテ契約ノ當時ニ於テ此ノ航海ニ付キ契約ヲ結ビタル後之ヲ變更シテ橫濱ヨリ「シヤトル」ニ至ル間ト爲スカ如キ場合ハ即チ危險ノ情況ニ變化ヲ起スモノナルカ故ニ商法第四百十條ニ依レハ直ニ契約ノ效力ヲ失ハシムル者ナレトモ海上保險ニ付テハ第六百六十二條ニ於テ之ニ關ス

ル特別ナル規定ヲ設ケ先ツ航海ノ變更カ保險者ノ責任ノ始マル前ニ於テセルヤ又ハ後ニ至リテセルヤヲ區別シ前ニ於テセル場合ニハ變更ノ原因カ被保險者ノ責ニ歸スヘキ事由ニヨルヤ否ヤヲ問ハス契約ハ其效力ヲ失フトシ之カ責任開始後ナラハ其變更カ保險契約者又ハ被保險者ノ責ニ歸スヘキ場合ニ限リテ變更後ニ於ケル保險者ノ責任ヲ解除シ反對ノ場合即チ止ムヲ得サル航海ノ變更ハ之ヲ問ハサルコトトセリ此ノ如キ特別ノ規定ヲ設ケタル理由ハ海上保險ニ於テ一度發航シタル以上ハ保險契約者又ハ被保險者カ危險ノ變更増加ヲ遲滯ナク保險者ニ通知スルコトノ便宜ヲ缺クコト多カルヘク又海上ニ於テハ不可抗力又ハ第三者ノ不法行爲例ヘハ敵國襲撃捕獲等ヲ避ケンカ爲メニ航路ヲ變更スル事少ナカラサルノミナラス往々反テ其必要ヲ認ムルコト多ケレハナリ故ニ商法第四百十條ノ一例トシテ彙ニ掲ケタル火災保險ノ如キ場合ハ海上保險ニハ其例ナク本人ノ責ニ歸スヘカラサル航海ノ變更ハ皆已ムヲ得サル者ト見做ササルヘカラサルナリ次ニ第六百六十三條ヲ以テ航路ノ變更並ニ發航及ヒ航海繼續ノ遲滯其他危險ノ著シキ變更増加ニ付テハ保險者ハ増加以後ノ事故ニ付キ責任ヲ負フ事ナ

シト規定セルモ其變更又ハ増加カ事故ノ發生ニ影響ヲ及ササリシトキ又ハ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ不可抗力若クハ正當ノ理由ニ因リテ生シタルトキハ此限ニアラスト規定セルハ是亦海上保險ニ特殊ナル法則ニシテ抑モ航路トハ航海ヲ爲スニ付テ船舶ノ取ル所ノ針路ニシテ通常航海ノ一部分ナリトス例ヘハ横濱ヨリ桑港ニ至ルニ付テ一度布哇ニ寄港シ又布哇ヨリ桑港ニ向フ航路ニ付テ保險契約ヲ結ビタルニ拘ハラス横濱出發ノ後布哇ニ寄港スルコトヲ止メテ直接桑港ニ至ルノ航路ヲ取レリトスレハ明ニ危險ノ狀況ニ變化ヲ起スモノナルカ故ニ損害保險ノ原則ニ從ヘハ其場合ヲ二ツニ分チ之カ保險契約者又ハ被保險者ノ任意ナル處置ニ出テタル場合ニハ直ニ契約ノ效力ヲ失ハシメ又全ク是等ノ人ノ意ニアラスシテ或ハ布哇ニ寄港スルコトハ反テ不利益ナルヤヲ思ヒテ爲シタルカ如キ場合ニハ或ハ之ヲ通知シテ保險者ノ承認ヲ求ムルコトヲセサルヘカラサルモ斯カル事態ハ海上保險ニ於テ應用スヘカラサルモノナルヲ以テ航路ノ變更ハ原因ノ如何ニ拘ハラス其以後ニ於ケル保險者ノ責任ヲ免除スルコトトシ同時ニ例ヘハ布哇ニ動亂アリテ海上其通信ヲ得タルカ爲メ其危險ヲ避クルカ爲メ特ニ此處ニ

寄港セサリシ場合ニハ契約ノ效力ニ影響ヲ及ササルコトトシタルナリ

第二ニハ船長ノ變更ニ付テ一言セサルヘカラス船長ノ良否ハ航海ノ安全ニ關シ危險ノ狀況ニ影響スルカ故ニ我國ノ海上保險證券ニハ船長ノ變更ハ保險契約者ヲシテ之ヲ通知セシメ保險者ノ承認ヲ必要トスルコトトセリ然レトモ船長タル資格カ一定シ且ツ其技術カ發達シタル上ニ於テハ其變更ヲ以テ危險ノ變更増加ト爲スコトヲ得ス現ニ我商法ニ於テ第六百六十七條ニ船長ノ變更ハ契約ノ效力ニ影響ヲ及ホサストアリ

第三ニ船舶ノ變更モ亦積荷ノ保險ニ付テ危險ノ變更ト見做スモノニシテ保險者ハ變更後ノ事故ニ付テ責任ヲ負フコトナシトシ只止ムヲ得サル變更例ヘハ從來ノ船舶カ破損シ止ムヲ得ス他ノ稍劣等ナル船舶ニ移積シタル場合ノ如キハ縱令其後危險ヲ増加スルモ其原因ハ寧ロ危險ヲ避クルノ事由ニ存スルヲ以テ之ヲ以テ保險者ノ責任ヲ解クコトヲ得サルナリ

前述ノ事項ハ損害保險ニ付キテ説明シタル所ナルトモ生命保險ニアリテハ如何ナル場合ヲ危險ノ變更増加ト云フヘキヤ又商法第四百十條及四百十一條ヲ其儘

生命保險ニ應用シテ毫モ支障ヲ見サルヤヲ研究スルノ價值アリト云ハサルヘカ  
 ラス何トナレハ家屋什器ノ類ハ陸上一定ナル場所ニ存在シ從テ之カ危險ノ情況  
 ニ變化ヲ起ス場合ハ比較的ニ少ナク且ツ明瞭ナリト雖トモ人類ハ陸上タルト水  
 上タルヲ問ハス時々刻々異ナリタル情況ニ臨ムヲ以テ之ヲ常ニ危險ノ變更増加  
 ナリト云フトキハ生命保險ハ實際行ハレサルニ至ラサルヘカラス故ニ生命保險  
 ニ對シテ前記二條ノ規定ヲ準用スルニ際シテハ最モ其範圍ヲ狭クシテ可成被保  
 險者ノ利益ニ解釋スルヲ必要トス抑モ生命保險ニ於テ危險ト稱スヘキモノハ何  
 ナリヤト問ヘハ生存保險ニ於テハ吾人カ或ル一定ノ時期迄生存スルト云フコト  
 ハ危險ナレトモ此危險ハ外圍ノ情況ノ爲メニ著ク變動スヘキモノニアラス故ニ  
 生存保險ニ付テハ全然此問題ハ發生セス只死亡保險ニ付テノミ吾人カ死亡ニ臨  
 ム程度ノ増加若クハ死亡ニ臨ム情況ノ變動ヲ想像スルヲ得ルナリ而シテ吾人カ  
 死亡ノ危險ニ臨ム狀況ハ如何ナル事情ニ支配セラルルヤト云フニ余ハ之ヲ分チ  
 テ内外ノ二種ニ區別セント欲ス内部ノ事情トハ被保險者ノ性年齡現在ノ健康既  
 往ノ病歴血屬關係等ニシテ外部ノ事情トハ住居職業生計ノ程度嗜好習慣等ヲ其

主ナルモノトスヘシ而シテ吾人ハ是等ノ事情ノ相異ニヨリテ皆死亡ノ危險ニ望  
 ムノ程度ヲ異ニスル者ナリ故ニ一タヒ保險契約ヲ締結シタル後是等ノ事情ニ變  
 更若クハ増加ヲ生シタルトキハ危險カ變更増加シタル者ナルカ故ニ之ヲ以テ契  
 約ノ失效又ハ解除ノ原因ト爲ササルヘカラスアルモ内部ノ事情ナル者ハ豫メ保險  
 者ニ於テ其變動ヲ認メタルモノナルヲ以テ之ヲ問フヘキニアラス例ヘハ生命保  
 險ニ加入シタル後疾病ニ罹リ殆ント死ニ頻スルカ如キ危險ナル状態ニ陥レルト  
 スルモ毫モ契約解除ノ原因ト爲ス能ハサルハ當然ナルカ如シ又保險契約ヲ爲シ  
 タル後被保險者ノ兩親カ肺結核ヲ以テ斃レタリトスルモ保險者ハ之ヲ以テ契約  
 解除ノ原因ト爲ス能ハサルカ如シ故ニ生命保險ニ於テ危險ノ著シキ變更増加ト  
 云フハ全ク外部ノ事情ニノミ存在セサルヘカラス而シテ外部ノ事情ト雖トモ極  
 メテ顯著ナル場合ニ限ラサルヘカラス例ヘハ被保險者カ其住居ヲ變更シタル場  
 合ト雖トモ火災保險ノ如キニアリテハ甲ノ建物内ニ貯藏セラレタル動産ヲ乙ノ  
 建物ニ移シタルトキハ直ニ契約ノ失效若クハ解除ノ原因トナリ得ルトスルモ生  
 命保險ニ於テハ然ラス若シ之ヲ詳細ニ論スルトセンカ安全ナル家屋ノ内ニ靜臥

スル場合ト繁華ナル街頭ヲ通行スル場合ト電車汽車ニ乗スル場合ハ常ニ危険ノ變更増加ヲ起シツツアルモノナレハ之ヲ問フ要セス只人跡ノ稀ナル北極若クハ野蠻人ノ住スル部分ニ探検ヲ試ミ或ハ人ノ嘗テ上ラサル高山ニ攀登シ或ハ發明ノ試験ニ屬スル風船ニ乗シ或ハ潛行艇ニ乗込ミ或ハ猛獸狩ノ如キ冒險ヲ試ムル場合ノ如キヲ以テ著シキ變更増加トセサルヘカラス又職業ニ付テモ火藥ヲ取扱ヒ或ハ毒瓦斯ヲ取扱ヒ或ハ鑛山事業ニ従事シ或ハ潜水事業或ハ警察官監獄官等ニ轉業スルコトハ危険ノ増加ト云フコトヲ得ヘキモ學校教員僧侶法官會社員美術家其他普通生命上特別ナル危険ヲ想像スヘカラサル職業ニ付テハ其何レニ轉スルモ之ヲ以テ危険ノ變更増加ト云フ能ハサルヘシ故ニ實際内外ニ於ケル多數ノ生命保險業者ハ此點ニ付テ皆特ニ保險約款ヲ設ケ是等ノ事情ノ變化ニ付テ豫メ通知ノ義務若クハ失効解除ノ原因等ヲ規定セリ是レ漫ニ之ヲ法律ノ規定ニ任ストキハ實際上ノ疑義ヲ生スルコト至テ多ケレハナリ今我國ニ於テ生命保險會社ノ主トシテ問フ所ノ事情ハ第一被保險者ノ居所ニ付テハ海外旅行及ヒ熱帶地方ニ於ケル住居ヲ掲ケ例ヘハ海外旅行若クハ熱帶地方ヘノ旅行若クハ之ニ住

居中死亡シタル場合ニハ保險金ノ十分ノ一ヲ削減シテ支拂フト云フカ如キ規定ヲ設ケ第二職業ニ付テハ陸海軍務鑛山業鐵道瓦斯電氣等ヲ用ユル事業火藥ヲ取扱フ事業其他類似ノ危険業務ニ従事シタル場合ノミヲ問ヒ其場合ニハ死亡ニ際シテ保險金ノ十分ノ一ヲ削減スルト云フカ如キ規定ヲ設ケタリ然レトモ或會社ハ是等ノ制限ヲ撤回シ世界中至ル處ノ旅行居住並ニ百般ノ職業ノ自由ヲ許セリ第三ハ戰爭ノ危険ニシテ我商法第三百九十五條ノ規定ハ生命保險ニモ準用セラレ法律ニ依テモ然ルカ如ク保險業者ハ皆戰爭ニ關スル特別ナル規定ヲ設ケ原則トシテハ戰爭ニ因スル死亡ヲ保險セサルモ被保險者カ平時ヨリ毎年例ヘハ保險金ノ千分ノ二ヲ支拂ヒ置キ若クハ戰爭ニ際シテ保險者ノ請求スル特別保險料例ヘハ保險金ノ百分ノ三若クハ五ニ當ル金額ヲ拂込ムトキハ戰爭ニ因スル死亡ヲ引受クルト云フカ如キ規定ヲ設ケ或ハ又戰爭ノ爲メニ死亡シタルモノニ付テハ保險金ノ十分ノ二ヲ削減シテ拂ヒ渡スト云フカ如キ規定ヲ設ケタリ故ニ實際ニ於テハ是等ノ約款ニ於テ定メラレタル場合ノ外被保險者ハ危険變更増加ニ付テハ全ク自由ナリト言ハサルヘカラス然レトモ又解釋ニヨリテハ商法第四百十條

及ヒ第四百十一條ノ一般規定ハ是等ノ特別ナル規定ノ爲メニ打消サルヘキモノニアラストノ立論アルヤモ知ルヘカラス要スルニ此二箇條ノ解釋ハ充分慎重ニ實際危険ニ關スル事實上ノ研究ヲ待テ適用セラレサルヘカラサルモノナリ

### 第五款 告知義務

告知義務トハ獨逸語ニテ Anzeigepflicht ト稱スル所ノモシニシテ保險契約者カ其保險契約ニ關シ或事項ヲ保險者ニ告知スヘキ義務アル場合ヲ指スモノトス而シテ廣ク告知義務ト稱スルハ保險契約ノ當時保險契約者カ保險ノ目的ノ性質危険ノ狀況又ハ保險ノ目的ト自己ノ關係等ニ就キテ事實ヲ開陳スル場合ハ固ヨリ契約成立後危険ノ變更増加ヲ通知スルコト又事故ノ發生シタルトキ之ヲ通知スルコト及ヒ發生シタル損害ノ程度ヲ告知スルコト等ノ諸種ノ場合ヲ包括スト雖トモ狭ク特別ナル意義ヲ以テ告知義務ト稱スルハ獨リ保險契約ノ締結ニ際シテ保險契約者又ハ被保險者カ保險者ヲシテ引受ケシメント欲スル所ノ危険ノ内容及ヒ狀況ニ就テ誠實ナル陳示ヲ爲スノ責任アル事ヲ指ス者ニシテ茲ニ説ク所ノ告知義務ハ即チ之ヲ抑モ保險者カ被保險者ニ代リテ克ク危険ニ對抗シ得ル所以

ノモノハ當該危険ノ性質ト程度ヲ知悉シ充分ナル覺悟ヲ以テ之ニ當ルヲ以テナリ即チ危険ノ甚シキモノハ之カ引受ヲ拒絕シ高キ危険ニ對シテハ之ニ相當セル高キ保險料ヲ請求シ低キ危険ニ對シテハ又低キ保險料ヲ求メ斯クシテ其計算ヲ完固ナラシムルナリ而シテ斯ク其引受クル所ノ危険ノ程度ヲ充分ニ知悉スルニハ自ラ保險ノ目的タル物件又ハ人體ヲ觀查スルコト有ルヘシト雖トモ之ヨリモ尙有力ニシテ必要ナルハ保險契約者又ハ被保險者ヲシテ其當然知悉セル危険ノ狀況ヲ陳示セシムルニアリ是ニ於テカ保險契約ノ申込ヲ爲ス者ニ對シテ諸種ノ重要ナル質問ヲ發シ相手方ヲシテ之ニ答辯ヲ與ヘシメ此與ヘラレタル答辯ニ信賴シテ保險ノ引受ヲ爲スモノトス故ニ苟モ此答辯ニシテ虛偽又ハ隱蔽ノ事實アラシカ保險契約ハ其根柢ニ於テ動搖セサルヘカラス故ニ此答辯ヲ爲ス所ノ保險契約者又ニ被保險者ハ常ニ善意ニシテ眞實ヲ開陳セサルヘカラス保險契約カ古來最大善意ノ契約ナリト稱セラルルハ此點ヲ指示シタルモノニシテ保險契約ノ效力カ此告知事項ノ眞實ハ繋カルノ意ヨリシテ之ヲ保險契約ノ前提條件トモ云ヒ又保險契約者及ヒ被保險者カ之ニ拘束セラルルノ點ヨリシテ之ヲ告知義務ト稱

スルナリ英語ニテハ之ヲ Representation (開陳)ト言ヒ又生命保險ニ於テ被保險者カ其身體ノ健全ナルコトヲ告白スルコトヲ健康ノ保證 (Warranty of health)トモ稱セリ我商法ニ於テハ最近改正前マテ其第三百九十八條ニ左ノ規定アリタリ

保險契約ノ當時保險契約者カ惡意又ハ重大ナル過失ニヨリ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ其契約ハ無効トス但保險者カ其事實ヲ知リ又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキハ此限ニ在ラス

ト此規定ニハ保險者ノ引受クヘキ危險ニ關スル事項ナリト明言セラレタルモ保險契約ニ於テ所謂重要ナル事實又ハ事項トハ通常危險ニ關スルコトニシテ縱令其他ニ尙重要ナル事項ヲ想像シ得ルトスルモ危險ニ關スル事項ハ正ニ重要ナル事項トシテ此條文之ニ包含セラレ其告知ノ不正實ニ因リテ保險契約ノ無効タルコトハ爭フヘカラサル結果ナリ然レトモ此告知義務ノ違反カ契約ヲ無効ナラシムルニハ左ノ二個ノ要件ヲ具備セサルヘカラス

- 一 惡意若クハ重大ナル過失
- 二 保險者カ其事實ヲ知ラス又ハ知ルヲ得ヘカラサルコト

保險契約者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因ラスシテ善意若クハ輕過失ニ因リテ告知ヲ怠リタル場合ハ全ク之ヲ問ハサルハ善良ナル被保險者ヲ保護スル便宜上ノ規定ニシテ保險者ノ利益ヨリ論スルトキハ縱令善意ナリトモ錯誤ノ告知ノ爲メニ受クル所ノ損害ハ決シテ沒スルヲ得サルナリ例ヘハ茲ニ人アリ友人ヨリ一箇ノ函ヲ託セラレ其倉庫中ニ納メ置キ而シテ之ヲ普通一般ノ器具衣服ノ類ナラント思惟シ居レルヲ以テ其倉庫ヲ保險ニ付スルニ際シ普通ノ家具衣服ヲ納メタリト告知シ置キタルニ何ソ知ラン函中ノ物質ハ危險多キ藥品ニシテ之ヨリ火災ヲ惹起シタリトセヨ保險契約者ノ方面ニハ毫モ惡意ナク又其函カ衣櫃様ノ物ニシテ別ニ怪シムヘキ點ナカリシカ如キ場合ニハ重大ナル過失アリトモ認ムヘカラズ故ニ契約ハ無効ニ歸セサルヘシト雖トモ之ヲ保險者ノ側ヨリ言ヘハ若シ之ヲ知リタランニハ契約ノ申込ヲ拒絕セシナランニ告知ノ錯誤ノ爲メニ引受ヲ爲シ其爲メ損害ヲ被リタリト言ハサルヘカラス全然之ヲ救濟セサルモ又酷ナラスヤ此種ノ事實ハ生命保險ニ於テ往々發生シ現ニ裁判上ノ實例モアリ例ヘハ妙齡ノ婦女嘗テ肺患ニ罹リ醫療ヲ受ケタルモ醫師及ヒ其家族等ハ婦女ノ神經ヲ刺戟シ

テ却テ疾患ノ重ランコトヲ慮リ全ク之ヲ告ケサリシカ故ニ本人ハ其肺患ナルヲ知ラス或ハ普通ノ感冒ナリト告ケラレタルカ故ニ保險契約ノ締結ニ際シ全ク肺患ノ事實ヲ告ケス又ハ單ニ感冒ニ罹レリト告知シタル場合ノ如キハ其ニ契約ノ善意ヲ缺キタルニアラサルモ其要素タル危險ニ關シテ重大ナル錯誤アリタルモノナルカ故ニ契約ノ效力ニ影響ヲ及ボサシムルノ道理アリト言ハサルヘカラス我舊商法ニ於テハ第六百五十三條ニ被保險者カ故意ニ告知ヲ怠リタル場合ト無意ニ錯誤ニ陥リタル場合トヲ並ヒ示シ其孰レニ對シテモ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ルコトヲ定メタリシカ其後現行商法ハ前掲ノ如クニ之ヲ改メタルナリ此兩箇ノ主義即チ錯誤ヲ問フト否トニ就テハ諸外國ニ於テモ立法上ノ方針ニ就テ議論アリ獨逸商法調査委員會ニ於テモ多年之ヲ討議シタル由ナルカ最近ノ保險契約法ニ於テハ保險契約者ノ眞ノ善意ニ對シテハ無效ヲ主張スル能ハサルモ過失ニ因ル錯誤ノ告知ニハ保險者カ對抗スルコトヲ得ル旨ヲ定メタリ英米ニ於テモ種々ノ判決例アレトモ多少トモ錯誤ノ告知ニ對スル裁判ヲ認メ日本ノ如ク被保險者ノ利益ヲ謀リタルモノ無シ

次ニ縱令保險契約者カ告知義務ニ違反スト雖トモ保險者カ其事實ヲ知リナカラ契約ヲ締結シタル場合ハ之ヲ默認シタリト見做スヘキヲ以テ契約ノ無效ヲ主張スル能ハサルハ當然ナリト雖トモ前掲後段ノ如ク之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキモ亦同一ノ結果ヲ見ルハ保險者ニ責任ヲ負ハシムルニ重キニ失シタリト言ハサルヘカラス何トナレハ虛偽ノ告知ハ保險契約者ノ罪惡ニシテ之ヲ發見シ能ハサリシハ保險者ノ過失ナリ罪惡ト過失ヲ同一視シ縱令惡事ヲ犯スモ相手方カ之ヲ發見シ得サリシナラハ其目的ヲ達シ得ルトハ頗ル不穩當ナル立法ニシテ道義ノ根柢ニ反セリト言ハサルヘカラス特ニ此法文ノ解釋ヲ極端ニシ例ヘハ生命保險會社カ醫師ヲシテ被保險者ノ身體ヲ診査セシムル事實アル爲メニ縱令被保險者カ如何ナル虛偽隱蔽ヲ行フモ可ナリト思惟スルカ如キ傾向アルカ如キハ最モ誤解ノ甚シキモノニシテ醫師ノ診査ト雖モ今日醫學ノ進步ノ程度並ニ普通醫師ノ能力ニ於テ如何ナル隱蔽セラレタル疾病ヲモ發見スルノ進境ニ至ラサルハ固ヨリ縱令然リトスルモ全ク之ニ責任ヲ嫁シテ毫モ被保險者ノ惡意ヲ糺ササルハ惡事ヲ獎勵スルノ結果ヲ來サシムルノ業ト言ハサルヘカラサルナリ



以上ハ從來商法ノ規定ニ就テ述ヘタル所ナルカ明治四十四年十月一日ヨリ實施セラレタル改正ハ此告知ノ不實ニ對スル無効ノ制裁ヲ改メテ保險者ニ契約ヲ將來ニ向ツテ解除スルノ權利ヲ與フルコトトシ此點ニ於テ舊商法ノ主義ニ復活セリ而シテ末段ニ於ケル規定即チ保險者カ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシト云フコトハ意義曖昧ナリトノ議論ヲ考慮シテ保險者カ過失ニ因リテ知ラサリシトキト改メタリ即チ第三百九十九條ノ二トシテ左ノ規定ヲ見ルニ至レルナリ

保險契約ノ當時保險契約者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但保險者カ其事實ヲ知リ又ハ過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラス而シテ此解除ハ危險發生後ニ於テモ之ヲ爲シ損害填補ノ責ヲ免ルルコトヲ得ルモノニシテ這ハ第三百九十九條ノ三ニ詳細規定セリ

最後ニ重要ナル事實ト云ヘルコトニ就テ再言スルノ必要アリ保險契約ノ要素就中危險ニ關スル事項ハ固ヨリ重要ナリト言ハサルヘカラスト雖トモ一方ニハ又危險ニ關スル事項ナラハ如何ナル些末ノ事ト雖トモ重要ナリトセサルヘカラスト

ルヤ危險ノ變更増加ニ就テハ著シキ危險ノ變更増加ヲ問ヘリ然ラハ告知義務ノ場合ニ於テモ些末ナル危險ノ虛陳ハ之ヲ問ハサルニ非スヤトノ疑問ヲ生スルノ餘地アリ而シテ又何カ危險ニ關シテ重要ナル事項ナルヤハ普通素人タル保險契約者ヨリモ素人タル保險者ノ善ク識レル所ナルヲ以テ告知義務ノ範圍ハ保險者ノ要求スル事項ニ限ルトスルヲ最適當ナリトセサルヘカラスト保險者ノ質問セサル事項マテモ悉ク陳述セサルヘカラストセハ保險契約者ハ果シテ何事ヲ陳述シテ可ナルヤヲ知ルニ苦シムト同時ニ常ニ遺漏アラサリシヲ想フテ安堵ヲ爲スノ違アラサルナリ

故ニ保險者ハ皆保險契約ノ申込ヲ爲サシムル爲メニ申込書用紙ナルモノヲ作製シ置キ其上ニ告知ヲ要スル事項ヲ記載シ保險契約者ヲシテ之ニ對スル答ヲ記入セシムルコトトセリ其事項ハ損害保險ニ在リテハ通常保險ノ目的ノ性質位置使用法等之ニ依リテ吾人カ危險ノ程度ヲ測知スルヲ得ルノ事項ニシテ例ヘハ家屋ノ火災保險ニ就テハ當該家屋ノ場所附近ノ狀態坪數構造ノ材料及ヒ種類屋根ノ葺方及ヒ住人ノ職業如何等ニ關スル告知ヲ要求スルナリ而シテ此以外ノ事項ニ

就テハ保險契約ニ於テ不陳ノ責任ヲ負フコト無キナリ  
 生命保險ニ就テモ亦同一ノ理論ヲ應用スヘシト雖トモ損害保險ニ於ケル保險ノ  
 目的ニ該當スル者カ生命保險ニ在リテハ人類ニシテ之ヲ被保險者ト稱シ其健康  
 ニ關スル事項ハ保險契約者ヨリモ寧ロ本人ノ善ク知ル所ニシテ其能力アル者ニ  
 對シテハ之ニモ告知義務ヲ負ハシムルヲ至當ト爲スカ故ニ我商法ニ於テハ生命  
 保險ニ對シテ第四百二十九條ノ規定ヲ設ケタリ其條文ハ前掲三百九十九條ト  
 同一ナリ而シテ生命保險ニ於テ保險者カ相手方ノ告知ヲ要求スル事項ハ通常死  
 亡保險ニ在リテ被保險者ノ死亡ノ危險ニ臨ム程度ヲ窺知セシムル材料即チ性年  
 齡血統病歴現在健康ノ自覺等ニシテ此外尙配偶者ノ有無健否飲酒喫煙ノ度職業  
 等ヲ告知セシメ又同一ノ被保險者ニ就テ他ノ保險契約ノ存在セルヤ否ヤ又ハ申  
 込ヲ爲シタルコトアリヤ並ニ之ヲ拒絕セタルコトアリヤ等ノ事項ヲ告知セ  
 シムルコトトセリ  
 然リト雖トモ保險申込書ニ於テ記入ヲ要求セラレタル事項ハ悉ク重要ナル事項  
 ナリト斷定セラルヘキニ非サルハ當然ニシテ縱令保險者ノ要求シタル事項ト雖

トモ客觀的ニ毫モ重要ナリト認メラレサルモノ無キニ非ス是ニ於テカ或事項ノ  
 不陳カ重要ナル事項ノ不陳タルヤ否ヤハ獨リ生命保險ニ於テノミナラス損害保  
 險ニ於テモ亦實際ノ問題ニシテ爭議ノ場合ニハ結局裁判官ノ認定ニ俟タサルヘ  
 カラサルナリ而シテ此認定ハ至難ノ業ニシテ單ニ事項ノ性質ニノミ着眼スルヲ  
 以テ足レリトセス時世ノ狀態ト告知者ノ意思ヲ考察セサルヘカラス即チ單純ニ  
 自然的危險ノミヲ考察セスシテ人意的危險ノ影響ニモ想及セサルヘカラサルナ  
 リ例ヘハ近時屢裁判上ノ問題トナレル事項即チ生命保險ノ申込者カ同一ノ被保  
 險者ニ就テ他會社ヘ保險ノ申込ヲ爲シ又ハ拒絕セラレタルコトアルニモ拘ハラ  
 ス保險者ノ要求ニ反シ此事實ヲ告ケスシテ契約ヲ締結シ後爭議ノ發生ヲ見ルニ  
 至リシ場合ニシテ他會社ヘ申込ヲ爲シ又ハ承諾セラレタル事實ノ如キハ保險契  
 約者トシテハ更ニ重要ナル事項ナリト思惟セスト言フヘケレトモ又保險者ヨリ  
 言ヘハ諸方ノ會社ヘ多數ノ契約ヲ申込ミ又ハ多額ノ保險ヲ付シ居ル如キ者ハ往  
 往人意的危險ヲ包藏スルコトアリ之ヲ知ラハ或ハ警戒スル所リシナランニ之カ  
 告知ヲ受ケサリシ爲メニ異議ナク契約ヲ締結シタリシナリト主張スルナルヘシ

而シテ裁判官カ果シテ被保險者ノ方面ニ此ノ如キ危険アリシヤ否ヤヲ推斷スルニハ其意思ヲモ探究シ其地方ニ保險詐欺ノ流行スルヤ其時世カ被保險者ノ側ニ於テ斯ク進歩セルヤ又ハ總額ノ保險契約カ身分不相應ナルヤ等ヲ考察セサルヘカラス故ニ同一ノ不陳事項ニ對シテモ必シモ同一ノ判決ヲ得ヘキニ非ス又保險思想ノ幼稚ニシテ保險詐欺ノ少カリシ時代ノ議論ヲ今日尙主張スル能ハサル場合アルナリ然レトモ他會社ヘ申込ミ拒絕セラレタル事實ノ如キハ常識ヲ以テ判斷スルモ之ヲ告知セサルハ惡意アリト推測スヘキモノナルヘク外國ニ於テモ之カ不陳ヲ以テ契約無効ノ原因トスルコト多ク見ル所ナリ

火災保險ノ如キ一個ノ目的ニ就テ多數ノ保險者ト契約ヲ締結スル習慣アル契約ニ於テ他ノ保險者ト已ニ契約ヲ締結セル事實ヲ告知スヘキ場合ニ在リテハ之ヲ重要ナル事項ト見做スコト殆ント何人モ異議ヲ唱ヘサル所ナリ是レ損害保險ニ在リテハ生命保險ト異リ有效ナル保險金額ニ制限アリ被保險者カ既契約ノ存在ヲ告知セスシテ重複ノ契約ヲ締結シ事故ノ發生ニ際シテ價額以上ノ保險金ヲ獲取セントスルカ如キ罪惡ニ陥ラサランカ爲メニ此事項ノ不陳ヲ以テ契約無効ノ

原因ト爲スモノナルヘシ

告知義務ハ前述ノ如ク保險契約ノ成立ニ關スル重要ナル事項ナルト同時ニ又頗ル複雑ニシテ明ニ之カ惡意ニ出ツル場合ハ兎モ角或ハ過失ニ出ツルヤ又ハ全ク善意ノ不知ニ出ツルヤモ知ルヘカラサル場合ニ於テ尙契約ノ效力ヲ争フコトハ被保險者ニ對シテ苛酷ナルノ感アルト同時ニ之カ爲メニ訴訟ノ發生ヲ増加セシメ保險事業ノ信用ヲ害スルコト少カラサルヲ以テ歐米諸國ノ保險業者特ニ生命保險會社ニ在リテハ多ク不可争條項(Indisputability, Incontestability, Unanfechtbarkeit)ト稱スル條款ヲ設ケ契約カ締結後數年間繼續シタル後ニ在リテハ告知義務ノ違反ヲ問題ト爲スコト無ク保險金ノ支拂ヲ爲スヘキ特約ヲ行ヘリ然レトモ此ノ如キ特約ハ保險契約ノ誠意ニ基クヘキ本質ヲ没却スルモノニシテ社會上有害ナリト主張スルノ說無キニアラス故ニ惡意ノ明白ナル場合ニハ適用セスト明言スル者アリ要スルニ便宜ノ契約ナリトセサルヘカラサルナリ我國ニ於テモ近時三四ノ會社ニ於テ此條項ヲ提供スルニ至レリ

### 第三節 保險期間

保險法 保險契約ノ要素 保險期間

第一款 保險期間ノ意義

保險契約ハ保險者カ之ニ依リテ被保險者ニ對スル危險ノ引受ヲ爲スモノナルカ故ニ其引受ニハ自ラ一定ノ期間ナカラサルヲ得ス之ヲ保險期間ト稱シ保險者ハ其間ニ發生シタル事故ニ由リテ生シタル損害ヲ填補スルノ責ヲ任スルナリ而シテ此期間ハ保險契約ノ期間ト區別セサルヘカラス保險契約ノ期間トハ其文字ノ示スカ如ク保險契約ノ存續スル期間ニシテ保險期間ト一致スル場合少カラサルモ而モ亦一致セサル場合ナキニ非ス例ヘハ其始期ニ就テ言ハンカ保險契約成立シ保險契約期間ハ開始スト雖トモ保險者カ未タ損害填補ノ責ニ任スルニ至ラサル場合アリ例ヘハ保險契約カ東京ニ於テ横濱ニ碇泊セル船舶ニ就テ締結セラレ契約期間ハ其時ヨリ一ケ年トスルモ航海ノ開始ハ數日ノ後ニ在リテ其時ヨリ引受ヲ爲ス如キ場合ハ即チ未タ保險期間ノ始マラサル場合ニシテ我商法ニ於テハ「保險者ノ責任カ始マル前云々」(第四〇七條)及「八條」ノ語アリ保險者ノ責任ノ存續スル期間カ即チ保險期間タルヲ證スルナリ又繼續保險ト稱スル方法ニ依リ船主カ其船舶ニ就テ一ケ年間ノ保險契約ヲ締結シ置クモ其船舶カ其間ニ數回ノ新ナル航海ヲ

爲ス如キ場合ハ保險期間ハ數個ニ切斷セララルナリ

商法第四百十條及ヒ第四百十一條ニ保險期間中危險カ變更増加シタル場合ニハ保險契約ハ其效力ヲ失ヒ又ハ保險者カ契約ノ解除ヲ爲スノ權利ヲ有スル旨ノ規定アルコト前節ニ述ヘタル如シ而シテ之ヲ保險期間中ノ出來事ニ限リタルハ何故ナルヤ吾人ハ一應ノ疑問ヲ抱カサルヲ得ス保險契約ヲ締結シ而モ保險者ノ責任ハ未タ始マラサル前即チ保險期間ニ入ラサル前ニ於テモ危險ニ變更増加アリタルトキハ保險者ハ解除權ヲ有シ又ハ契約ノ失效ヲ主張シ得ヘキニ非スヤ又前述シタル繼續保險ニ於テ一ノ保險期間ト次ノ保險期間ト中絶セル間ニ危險ノ變更増加セル場合ハ如何是亦同様ノ效果ヲ生セシメサルヘカラス然ルニ是等ニ就テ何等豫想シタル所無キニ似タルハ我商法ハ保險期間ナル文字ヲ以テ保險契約ノ存續スル期間ヲ指スニ非サルヤヲ疑ハシムルモノナリ果シテ然ラハ此期間ナルモノハ異性質一貫セサルモノニシテ保險者カ責任ヲ有スル期間ト有セサル期間ヲ併合シ契約ノ成立シタル時ヨリ其重要ナル效力ノ終了スヘキ豫定ノ時期マテヲ指スモノト言ハサルヘカラス然レトモ商法ニ於テ特ニ保險期間ノ始期及ヒ

終期ナル文字ヲ用フルヲ見レハ又之ヲ區別スルノ意ナルヤヲ付度セシムルニ足ルモノアリ此點尙研究スルノ餘地アリト言ハサルヘカラス

### 第二款 保險期間ノ確定

保險期間ハ保險契約ノ要素ニシテ是ナケレハ保險契約ノ存在ハ想像スヘカラレモ此期間ハ固ヨリ自然ニ存在スヘキモノニ非スシテ保險契約ノ當時之ヲ確定セサルヘカラス其長短ハ保險者ノ義務ノ容積ニ關シ其時期ニ依リテハ保險者ノ引受ヲ肯セサルコトモアルヘク又一方ヨリ言ヘハ保險契約者ノ義務タル保險料ノ多寡ヲ支配スルモノナルカ故ニ其確定ハ絕對的ニ必要ナリ而シテ之ニ就テハ次ノ三種ノ場合アリ

#### 第一 合意上ノ期間

保險期間ハ最多クノ場合ニ於テ當事者間ノ合意ニ依リテ定マルモノニシテ而シテ之ニ時ヲ標準トシテ定ムルト事實ノ繼續ニ由リテ定ムルトアリ例ヘハ火災保險ニ於テ幾日幾週幾月ト云フカ如キ短期間ヲ定メ生命保險ニ於テ五年十年二十年ト云フカ如キ長期間ヲ定メ又海上保險ニ於テ定時契約タイムポリシート稱シテ何年

何月何日ヨリ何年何月何日マテヲ期間トスルカ如キハ皆前者ニ屬シ航海契約セーリングポリシート稱シテ或一定ノ航海ニ就テ出發ヨリ到着スルマテヲ引受ケシムルカ如キハ後者ニ屬セリ又定時契約ト航海契約ヲ混合シタル如キ保險期間ノ設定方法アリ即チ航海ト期間ヲ二ツナカラ指示スルモノニシテ之ヲ混合契約ミックスドポリシート稱セリ例ヘハ横濱ヨリ桑港ニ至ル三週間ノ期間ヲ保險スト言フカ如シ然レトモ是レ實際定時契約ニ外ナラス横濱ヨリ桑港ニ至ルマテトハ單ニ航海ノ種類ヲ明示シタルニ外ナラス保險期間ハ三週間ヲ以テ盡クルモノナリトス生命保險ニ於テ終身保險ノ契約アリ是亦期間ノ不定ナルモノニシテ人類ノ生存ト言ヘル事實ニ關スル期間ヲ保險期間トスルモノト解スヘキナリ

#### 第二 法定ノ期間

當事者ノ合意ヲ以テ定メストモ法律上自ラ定マルル期間アリ我商法第四百三條第二項ニ保險者カ保險契約者ノ請求ニ應シテ發行スヘキ保險證券上ニ掲クヘキ事項ヲ舉ケタル中ニ第六號ニ保險期間ヲ定メタルトキハ其始期及ヒ終期トアルヲ以テ見ルモ保險期間ヲ定メサル場合アルヲ想像シタルヲ知ルヘシ然

レトモ是レ期間ナクシテ保険契約ノ有效ナルヲ認ムルノ意ニ非ス法律上當然ノ期間アル場合ヲ想像シタルモノニシテ例ヘハ運送保険ニ於テハ運送人カ運送品ヲ受取リタル時ヨリ之ヲ荷受人ニ引渡ス時マテヲ保險期間トシ(商法第三條)又海上保險ニ於テハ航海ニ付キ船舶ヲ保險ニ付シタル場合ニハ船積ニ着手シタル時ヨリ陸揚ノ終リタル時マテヲ保險期間トスルカ如シ(商法第六五九條及第七〇條)

### 第三 條理上ノ期間

當事者ノ明約ナク又法律ノ規定ニ依ラサルモ保險契約ノ性質上ヨリシテ當然保險期間ノ推定セラルヘキモノアリ條理上ノ期間トハ道理ニ由リテ明ナル期間ノ謂ニシテ例ヘハ耕作物ノ收穫ヲ保險スル場合ノ如キ別ニ契約ヲ以テ定メサルモ刈入ヲ終リタルトキ又ハ通常終ルヘキ時期ヲ以テ期間ノ終了ト見ルヲ得ヘキナリ

上記ノ如キ特別ナル場合ニ非スシテ當事者カ保險期間ヲ定メサルトキハ之カ保險契約ノ期間ト一致スルモノト解スヘキハ當然ナリ何トナレハ保險契約ヲ取結フノ趣旨ハ保險者ヲシテ事故發生ニ際スル損害填補ノ責ニ任セシメント

フルニ在ルコト明ナレハ其責任ノ時期ニ就テ定ムル所無ケレハ契約ノ期間ハ即チ保險期間ナリト言ハサルヘカラス

以上三種ノ場合ヲ以テ保險期間ハ確定セラルト雖トモ期日カ日ニ依リテ定メラルル場合ニ於ケル始期ト終期ハ最精確ニ明示セサルヘカラス古來之ニ關スル訴訟少カラス生命保險訴訟ノ元祖トシテ傳ヘラルル所ノモノハ此期間ノ計算ニ關スルモノニシテ千六百九十七年英國ノ一貴族某生命保險會社ト一ケ年ノ定期保險ヲ契約シ翌年同月同日ニ死シタリシカ會社ハ期間滿了後ナリト主張シ終ニ判決ノ結果翌日ヨリ起算シテ一ケ年ナルヲ以テ翌年同月同日ヲ包含スルコトナレリ我國ニ於テモ民法ノ規定ニ依レハ期日ハ總テ翌日ヨリ起算スヘキモノナレトモ保險者カ一ケ年ノ危險ヲ引受クルノ意ハ即チ三百六十五日ヲ引受クルノ意ナルヲ以テ通常民法ノ起算法ニ據ラス保險約款又ハ保險證券上ノ文言ヲ以テ何年何月何日ヨリ何年何月何日マテト記載シ若クハ何日何時ヨリ何日何時マテト確約シ一ケ年ノ契約ト言ヘハ翌年同月同日午後四時ヲ以テ終ルトセリ

### 第三款 保險期間ノ中斷及ヒ短縮

保險法 保險契約ノ要素 保險期間

保險期間ハ其間保險者カ保險上ノ責ニ任スル期間ナルヲ以テ保險者カ或事情ノ爲メ一時保險上ノ責任ヲ負ハサルコトアラハ之ヲ以テ保險期間ノ中斷ト稱スルコトアリ又之ヲ保險契約ノ效力ノ中止ト呼フコトアリ例ヘハ生命保險ノ被保險者カ熱帶又ハ戰地ヘ旅行中若クハ特ニ冒險ナル旅行ヲ企ツル間ハ保險者其死亡ニ對スル責ヲ負ハスト約スル如キ或ハ船舶カ契約ノ航路以外ニ寄港シタル場合ニ其特別航路中ニ於ケル危險ヲ負擔セサルカ如キ或ハ又保險料ノ延滞中契約ノ效力ヲ中止スル場合ノ如シ此ノ如キ場合ハ保險者カ危險ヲ負擔セサル期間ナレハ其間ニ對スル保險料ハ免除セラルヘキモノニシテ保險者既ニ受取リタル後ナラハ其部分ヲ返還スヘキモノト言ハサルヘカラス

又保險期間ノ短縮ト稱スルコトアリ即チ保險期間ノ滿了セサル前ニ契約ノ終了スル場合ニシテ或ハ契約ノ失効解除或ハ豫期セラレサル事故ノ發生又ハ豫期セラレサル事故ノ發生ノ爲メニ保險ノ目的カ滅失スル場合ニ生スルモノトス但事故カ發生スルモ保險金ノ一部カ支拂ハレタル場合ニハ殘餘ノ金額ニ對シテハ保險者ノ責任尙存續セルヲ以テ期間ノ短縮ハ起生セサルナリ

#### 第四節 保險料

##### 第一款 保險料ノ性質

保險契約カ有償契約ナルコトハ疊ニ述ヘタル如シ保險料ハ即チ契約ノ報酬トシテ保險者ノ受クル所ノ代價ニシテ經濟上及ヒ技術上ノ見地ヨリスルトキハ純保險料ト附加保險料ノ二部ヨリ成リ前者ハ共同ノ危險ヨリ生スル損害ノ填補ニ對スル各員ノ離出分ニシテ其多少ト高低ハ危險ノ種類ト程度ニ由リテ定ラサルヘカラス後者ハ費用ノ分擔額ニシテ是亦相當ノ道理ニ基キテ定メラレサルヘカラス故ニ保險契約カ投機冒險ノ契約ニ非スシテ真正ナル保險契約タルニハ數理上ノ根據ヲ有スル保險契約タラサルヘカラストノ論最近一部ノ學者間ニ於テ唱ヘラルルニ至リ例ヘハ「パークス」ローレンスノ如キ保險料ハ危險ニ相當シタル報酬ナリト言ヘリ然レトモ是レ保險料カ危險ノ反影タルノ事實ヲ表示スルノ語ニ過キスシテ之ヲ法律上ノ要件トスルコトハ到底行ハルヘカラサル理想ニシテ法律ニ於テハ其要素ト其算定法ノ如何ニ拘ハラヌ一ニ保險契約ニ於ケル危險引受ノ對價トシテ取扱ハレツツアルナリ然レトモ其經濟上ノ性質ハ法律ヲ解釋スルニ

於テ之ヲ知ラサルヘカラス特ニ生命保險契約ニ於テハ保險料中ヨリ被保險者ノ爲メニ積立ツヘキ金額ニ關スル規定アリ(商法第四三一條及ヒ四三三條)又保險業法ノ解釋ニ方

リテハ充分其性質ヲ知悉セサルヘカラサルナリ  
保險料ハ危險引受ニ對スル報酬ナルカ故ニ保險者カ危險ノ引受ヲ爲ササルトキハ之ヲ請求スルヲ得サルモノニシテ商法第四百七條ニ

保險者ノ責任カ始マル前ニ於テハ保險契約者ハ契約ノ全部又ハ一部ノ解除ヲ爲スコトヲ得

ト規定シ又第四百八條ニ

保險者ノ責任カ始マル前ニ於テ保險契約者又ハ被保險者ノ行爲ニ由ラスシテ保險ノ目的ノ全部又ハ一部ニ付キ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ危險カ發生セサルニ至リタルトキハ保險者ハ保險料ノ全部又ハ一部ヲ返還スルコトヲ要ス  
ト規定セルハ保險者カ危險ヲ負擔セサルトキハ保險料ヲ請求スル能ハサルヲ示スナリ然レトモ一旦契約ヲ締結セル以上ハ之ニ關スル費用ヲ要シタルコトモ亦想像セサルヘカラサルヲ以テ次ノ第四百九條ニ於テ

前二條ノ場合ニ於テハ保險者ハ其返還スヘキ保險料ノ半額ニ相當スル金額ヲ請求スルコトヲ得

ト定メタリ半額トハ立法者カ別段ノ標準ニ據ラスシテ其見計ヲ以テ定メタルナルヘシト雖トモ所謂附加保險料ニ相當スヘキモノナリ

又我商法ニ於テ保險者カ保險期間中ニ於テ法定ノ原因ニ由リテ解除權ヲ有スル場合ニ於テ普通契約ノ解除ト異ナリ解除ハ將來ニ向ツテ效力ヲ有ストアルハ一旦或期間ニ對シテ危險ノ引受ヲ爲シタル以上ハ中途ニシテ契約ヲ解除スト雖トモ之ヲ原形ニ復スルコトヲ得ス既往ノ期間ニ對スル保險料ハ保險者ノ取得スヘキモノト認メタルカ爲メナリ(商法第四一一條)

### 第一款 保險料ノ不可分

保險料ハ保險者カ危險ヲ負擔スル爲メニ受クヘキ報酬ニシテ保險料ト危險ノ保險契約ニ於テ因果ノ關係ヲ爲シテ存在スル缺クヘカラサル要素ナリ故ニ保險者ノ負擔義務カ分割スヘカラサルト同時ニ其權利モ亦分割スヘカラス保險料ハ保險者ノ引受ケタル危險ノ容積ニ對スル分ヲ一時ニ授受スヘキモノトス故ニ一箇



年ノ契約ヲ結ヒタルトキハ保險契約者ハ一箇年分ノ保險料ニ概束セラレ一航海ノ契約ヲ結ヒシトキニ一航海ニ對スル保險料ニ概束セララルモノニシテ例ヘハ一月一日ニ一箇年間ノ火災保險契約ヲ締結シ一箇年分ノ保險料ヲ拂込ミタルトキハ三日ノ後ニ保險契約者カ契約ノ解除ヲ爲シ又ハ危險カ消滅スト雖トモ一旦拂込ミタル保險料ハ其幾部分ヲモ返還セラレス從テ又分割拂込ト稱シ一箇年分ヲ數回ニ分チテ拂込ムコトヲ特約シタル場合ト雖トモ保險者ハ未拂込分ヲモ請求スルヲ得ルモノトス此ノ如ク保險料ノ分割スヘカラサル法理ト習慣ハ第一危險ノ性質ヨリ來ルモノニシテ保險者ノ負擔シタル危險ハ一箇年ノ始ニ起ルヤ將タ最終日ニ起ルヤ固ヨリ不明ナリ保險者カ保險契約ヲ締結シテ或一定期間内ノ危險ヲ負擔シタル以上ハ其期間ニ踏込ムヤ否ヤ全責任ヲ負フモノニシテ保險者ハ此全責任ニ對スル報酬ヲ享受スルノ權利ヲ得サルヘカラス故ニ縱令三日ノ後又ハ半年ノ後保險契約者カ其保險セラレタル利益ヲ拋棄スト雖トモ溯リテ保險者ノ負擔ヲ輕メ得タリト言フヘカラサルナリ而シテ第二ニ保險ノ數學的原理ヨリスレハ一箇年ノ危險ハ其度ニ於テ始終同一ナラス例ヘハ火災ノ危險ノ如キハ

一月ヨリ三四月頃マテ非常ノ高度ナレトモ五六月ヨリ八九月ニ至ルマテハ極メテ低度ナリ而シテ十月ヨリ年末ニ至ルマテハ火災ノ稍頻繁ナラントスルノ候ナリ況ンヤ時々刻々ニ於ケル程度ニ至リテハ殆ント算定スヘカラス故ニ平均ヲ以テ定メラレタル一箇年ノ危險度ハ之ヲ分割シテ考量スル能ハサルカ故ニ保險者ハ常ニ一箇年分ノ保險料ヲ請求セサルヘカラス此理ニ基キ一航海ニ對スル保險料モ亦分割スヘカラサルモノニシテ總テ契約セラレタル危險ニ對スル分ハ分割スヘカラサルナリ之ヲ保險料不可分ノ原則ト稱ス

此原則ハ昔ヨリ保險法上ノ原則トシテ認メララル所ナレトモ決シテ絶對的ノ真理ニアラス數理上並ニ事實上半年間ノ危險ハ一年間ノ危險ヨリ少ク三箇月ノ危險ハ更ニ少キコト明ナルカ故ニ保險料モ亦分割シテ考察スヘカラサルモノニ非ス現ニ保險業者ハ其營業ノ基礎トシテ一箇年分ノ保險料ヲ算出シ置キ之ヲ保險料ノ單位トシ一箇年ヨリ短キ期間ノ契約ヲ結フトキハ長短ノ比例ニ應シテ保險料ヲ分割シ之ニ季節ニ應シテ相當ノ割増ヲ爲シ之ニ依リテ契約ヲ締結セリ是レ保險料ノ單位ハ絶對的ニ分割スヘカラサルモノニ非サル道理ヲ示ス所ノ一例ニ

シテ假ニ一箇年ノ契約ヲ締結シ半箇年ヲ經過シタル後保險契約者カ保險契約ノ解除ヲ請求シタリトスレハ數理上及ヒ純理上保險者カ危險ノ負擔ヲ幾分カ免ルルハ争フヘカラサルコトニシテ從テ保險料ノ幾部分ハ返還セサルヘカラサルノ理ナリ現ニ保險業者ハ自己ヨリ契約ノ解除ヲ申立タル場合ニハ殘餘ノ期間ニ對スル保險料ヲ日割ヲ以テ返還スト定ムルモノ少カラス及其會計上ノ實際ニ於テハ決算ノ際未タ經過セサル時日ニ對シテ保險料ノ一部ヲ未經過保險料トシテ積立ツルコトトシ此事ハ法律ヲ以テ強制セラルルニ至レリ故ニ保險料不可分ノ原則ト言フハ昔時ノ保險者カ爲シタル取扱ニ基キテ法學者ノ立論シタル結果ニ外ナラスシテ決シテ之カ絶對的ノ真理ト言フヘキニ非ス數理上純理上保險者カ未タ經過セサル時日ニ對スル保險料ノ一部ヲ返還セサルヘカラサル道理アリ又事實アリトスレハ是レ即チ所謂保險料不可分ノ原則カ法理上ニ於テモ既ニ陳奎ニ歸シタル所以ニシテ此點ヲ以テ予ハ保險料不可分ヲ以テ絶對的ノ原則ニ非ス唯保險者ヲシテ不當ナル損害ヲ被ラサランカ爲メニ契約セラレタル期間ニ對スル保險料ノ全部ヲ得セシムル便宜の規定ニ外ナラスト言フ所以ナリ

現行法規ノ下ニ在リテ保險契約者カ一旦拂込ミタル保險料ノ返還ヲ請求スルコトヲ得サルノミナラス契約シタル期間ニ對スル保險料ハ縱令之カ分割拂込ヲ許サレタル場合ト雖トモ未拂込ノ部分マテモ徵收セラルルコトハ前ニ述ヘタル如クナレトモ實際ニ於テハ之カ行ハルル場合ト然ラサル場合トアリ例ヘハ生命保險ニ於テ保險料ノ毎月拂込ヲ承諾セラレ被保險者カ三箇月經過ノ後死亡セルカ如キ場合ニ保險者ハ拂渡スヘキ保險金ノ中ヨリ九箇月分ノ保險料ヲ差引ク便アルカ故ニ此原則ヲ實行シ得ヘシト雖トモ契約解除ノ場合ニハ保險者カ保險契約者ニ就テ未拂込分ヲ請求スルコトノ困難ナルカ故ニ殆ント之カ實行ヲ見サルナリ然レトモ是レ保險者カ任意ニ其權利ヲ拋棄シタルニ外ナラス若シ其權利ヲ行使セントナラハ無論之ヲ爲シ得ヘシ即チ被保險者ニ返還スヘキ金員アル如キ場合ニハ之ヲ差引クコトヲ得又商法第四百十七條時效ノ規定ニ從ヒ一箇年間ハ契約者ノ義務カ存留スルカ故ニ其期間内ニ相當ノ手續ニ依リテ請求ヲ爲スコトヲ得ルナリ其他ノ保險ニ於テモ皆然リ外國ニ於テハ二回以後ノ保險料ヲ約束手形ヲ以テ拂込マシムルコトアリ但前ニモ述ヘタル如ク保險料不可分ハ絶對的ノ真

理ニ非サルヲ以テ保險者カ其約款ニ依リ又ハ其計算ノ基礎ニ基キ縱令一箇年分若クハ其ヨリ短キ契約期間ニ對スル保險料ニ就テ契約ヲ締結セル場合ニ於テモ中途ノ事故發生又ハ契約解除ニ際シテ未拂込保險料ヲ請求セス若クハ殘期間ニ對スル保險料ヲ返還スルヲ妨ケス或ハ將來保險法理ノ變遷ニ伴ヒテ未經過保險料ヲ返還スルノ法律上ノ義務カ保險者ニ懸ルニ至ルヤモ知ルヘカラサルナリ先ツ其レマテハ契約セラレタル期間ニ對スル保險料ノ不可分ナルコト此ノ如シ然ルニ保險契約ノ期間ハ長短區々タリ就中生命保險ノ如キハ一年定期保險ヲ最短トシ長キハ數十年ニ亘ルアリ例ヘハ養老保險終身保險ノ如シ是等ノ場合ニ契約期間ヲ例ヘハ六十歳マテ數十年ナリトシ又ハ死スルマテナリト解釋スルトキハ保險者ハ所謂保險料不可分ノ原則ニ依リテ全期間ニ對スル保險料ヲ支拂フノ義務ヲ負フカ如キ結論ヲ生セサルヲ得ス然レトモ此ノ如キハ生命保險ノ數理上想像スヘカラサル事實ナルヲ以テ長期ノ生命保險契約ハ一箇年宛ノ契約ヲ數年又ハ數十年間無條件ニ更新スルノ契約ナリト解スルモ可ナルヘク又保險料不可分ナル原則ハ此場合ニ適用セラレヌシテ常ニ未經過年度ニ對スル保險料ハ縱令

一ノ契約セラレタル保險期間タリトモ保險者ハ之ヲ取得スルヲ得サル一例ナリトモ説明スルヲ得ヘキナリ

### 第三款 保險料ノ増減

保險料不可分ノ原則ハ雷ニ事故發生契約解除危險消滅等ノ場合ノミナラス危險カ減少セル場合ニモ之ヲ適用スヘシ例ヘハ橫濱ヨリ長崎ニ至ル積荷ノ海上保險ヲ契約シタル場合ニ該積荷カ神戸ニ於テ陸揚セラレタル場合ノ如キハ神戸以西ノ危險カ忽チ消滅シタルニモ拘ハラズ契約者ハ保險料ノ返還ヲ求ムルコトヲ得サルト同シク神戸ヨリ一層安全ナル船舶ニ搭載セラレ危險減少スト雖トモ保險料ノ減額ヲ請求スルヲ得サルカ如シ但商法第四百條ニ

保險契約ノ當事者カ特別ノ危險ヲ斟酌シテ保險料ノ額ヲ定メタル場合ニ於テ保險期間中其危險カ消滅シタルトキハ保險契約者ハ將來ニ向テ保險料ノ減額ヲ請求スルコトヲ得

ト定メタルハ初ヨリ危險カ分割シテ算定セラレタル特別ノ場合ヲ想像シタルモノニシテ例ヘハ生命保險ニ於テ戰爭ニ赴クカ爲メニ既定保險料ノ増加ヲ約シタ

ル場合ニ無事歸陣ノ曉ニ其增加部分ノ撤去ヲ將來ニ向ヒテ請求スルコトヲ得ルカ如シ保險契約者カ保險期間内ニ於テ危險ノ消滅又ハ減少ヲ理由トシテ保險料ノ返還又ハ減額ヲ請求スルコト能ハサルハ前述ノ如クナルモ一定ノ期間ヲ經過シテ更ニ繼續スル期間ニ對スル更新保險料ヲ拂込ムニ際シテハ危險減少ニ伴ヒテ保險料ノ減額ヲ請求シ得ルコト言フ俟タサルナリ

保險期間内ニ於ケル危險減少ハ上述ノ如ク認メラレサルヲ原則トスト雖トモ之カ反對ナル危險ノ増加ハ明ニ保險者ノ責任ヲ重カラシメ其負擔ヲ大ナラシムルモノナルヲ以テ保險者ハ保險契約者ニ對シテ保險期間内ト雖トモ保險料ノ増額ヲ請求シ得ルナリ但我商法ニ在リテハ第四百十條及ヒ第四百十一條ニ於テ保險者ハ危險ノ變更増加ニ對シテ契約ノ失効又ハ解除ヲ主張シ得ル旨ヲ規定セルヲ以テ保險料ノ増額ヲ請求シ得ルノ權利ハ問題ト爲ササルモ通常保險者ノ任意ニ之ヲ爲シ保險契約者ニ於テ之ニ應セサルトキハ法定ノ權利ヲ行使スルコトトセリ

#### 第四款 保險料ノ拂込時期

保險料ハ契約ニ對スル報酬ナルカ故ニ契約ノ履行ヲ待チテ拂込ヲ爲スヲ當然ト爲スヘキニ似タレトモ通常保險契約ハ締結ヨリ履行ニ至ルマテニ長キ期間ヲ要スルコトト若シ保險料ヲ契約履行ノ後ニ授受スルトセハ保險契約者ノ不拂多カルヘキコト又危險發生ノ場合ニノミ拂込ミテ無事ニ危險ヲ經過シタル場合ニハ拂込マサル憂アル等ノ事情ニ因リ實際ニ於テハ契約ノ締結ト同時ニスルカ又ハ寧ろ第一回保險料ノ拂込ヲ以テ契約ノ成立スルモノト爲スヲ普通ノ習慣トセリ然レトモ我商法ノ規定ニハ保險料ノ實際支拂ヲ以テ契約成立ノ要件ト爲サス當事者ノ一方カ之カ支拂ヲ約スルヲ以テ充分ナリトスルカ故ニ多數會社ノ保險約款ハ第一回保險料ノ拂込ヲ以テ保險者ノ責任開始ノ時期ナリト規定セリ然トモ法理上ヨリ言フトキハ保險料ノ支拂ハ契約成立ノ要件ニ非サルハ固ヨリ保險者ノ責任開始ノ要件ニモアラス而モ實際ニ於テハ多クノ場合ニ於テ前拂ヲ普通ノ習慣トシ我商法ニ於テモ保險契約ノ定義ヲ示スニ方タリテハ之カ反對ヲ示スニモ拘ハラス他ノ多クノ規定ハ保險料ハ當然前拂ニ依ルモノノ如ク起草セラレタリ例ヘハ第四百八條及ヒ之ニ關係アル條項ノ如シ然トモ保險期間ノ比較的ニ短

キ場合若クハ當事者間ニ信用ノ厚キ場合ノ如キニ於テハ保險料ノ後拂亦少カラ  
 ス例ヘハ日歩火災保險ノ如キ又ハ常得意ノ海上保險契約ノ若クハ再保險ノ如キニ  
 於テモ契約満了ノ後又ハ毎月末若クハ毎年末ノ勘定ヲ以テ保險料ヲ授受スルコ  
 トアルカ如シ

保險料ハ保險契約者カ之ヲ支拂ヒタル時ヲ以テ拂込マレタルモノト看做スヘキ  
 ヤ又ハ保險者カ之ヲ領收シタル時ヲ以テ斯ク見做スヘキヤノ問題ノ發生スルコ  
 トハ他ノ契約ニ於ケルト同一ナリ我國ノ實際ニ付テ言ヘハ保險約款ニ於テ保險  
 者ノ保險契約上ノ責任ハ第一回保險料ヲ領收シタル時ニ始マルト規定スルモノ  
 多キカ故ニ此場合ニ於テハ議論ノ餘地無シト雖トモ若シ此ノ如キ明約ナケレハ  
 如何ト言フニ第一回保險料ニテモ又其後期日毎ニ拂込ムヘキ保險料ニテモ保險  
 契約者カ單純ニ保險料支拂ノ義務ヲ履行セハ可ナル場合又ハ其他ノ條件アラハ  
 之レヲ滿シタル場合ニ於テ予ハ發信主義ヲ以テ至當ナリト信ス勿論我民法ハ發  
 信主義ヲ採用セルカ故ニ實際疑問ナカルヘシト雖トモ保險契約ニ就テハ理論上  
 特ニ發信主義ヲ採ラサルヘカラスト思惟スルナリ何トナレハ保險契約者カ保險

料ヲ拂込ムハ保險者カ個々ニ若クハ包括的ニ之カ受領ヲ諾シタル後ニ起ルコト  
 ニシテ保險者ハ特別ナル理由アル外之カ受領ヲ拒ムヲ得サルヲ普通ト爲スカ故  
 ニ少クトモ此普通ノ場合ニ於テハ保險契約者カ其手ヨリ保險料ヲ發シタルトキ  
 ヲ以テ拂込カ行ハレタリト解セサルヘカラサレハナリ保險料カ往々郵便ニ依リ  
 テ發送セラレ又近時振替貯金ニ依リテ拂込マルルコトアリ前者ニ在リテハ郵書  
 ヲ發シタルトキ後者ニ在リテハ振込タルトキヲ以テ保險料ノ拂込カ行ハレタリ  
 トスヘキナリ

保險料拂込ノ期日ハ第一回分ニ就テモ往々之カ保險者ニ依リテ指定セララルコ  
 ト無キニ非サルモ通常保險者ノ保險契約者ノ申込ヲ承諾シタル後適意ニ拂込ム  
 コトトスルモ更新保險料及ヒ分割拂込ニ於ケル第二回以後ノ保險料ハ契約ニ於  
 テ定メラレタル期日毎ニ拂込ムヘキ者ニシテ其拂込カ怠ラレタル場合ニ於ケル  
 效果如何ト言フニ之ニ就テ二様ノ說アルヘシ予ハ保險料ヲ以テ保險契約ノ要素  
 トシテ從テ契約シタル期日ニ保險料ノ拂込マレサルコトハ保險契約者カ保險ノ  
 利益ヲ享受セントスルノ意想ナキモノニシテ從テ保險者ハ之ニ因リテ危險ノ負

擔ヲ免ルルモノト解スル者ニシテ舊商法ニ於テハ保險料カ契約ノ期間ニ拂込マレサル場合ニハ保險者ハ契約ニ羈束セラレルコト無シト規定シ又生命保險ノ節ニ於テ保險料ノ不拂ハ保險者ニ於テ之ヲ契約解除ノ豫告ト見做スコトヲ得ト規定セルモ新商法ハ全ク是等ノ規定ヲ删除シ保險料ノ支拂ヲ爲ササル場合ニ對スル效果ヲ明言スルコト無シ而シテ予ハ是レ當然ノ事態ナルカ爲メニシテ何等明文ナクトモ期日ニ於ケル保險料ノ不拂ニ因リテ契約ハ其效力ヲ失フモノト解スルナリ然ルニ他ノ一說ハ保險料ノ不拂ハ保險者ノ保險義務ニハ關係ヲ有セス保險義務ハ依然トシテ繼續シ保險料ノ不拂ニ對シテハ之ニ關スル別種ノ債權カ保險者ノ方面ニ發生スルニ過キスト言フニアリ保險料ヲ保險契約ノ要素ト見做サス危險ト保險料カ互ニ表裏因果ノ關係ニ於テ存スルト云フコトヲ承認セサル學者ニ在リテハ或ハ此ノ如キ結論ニ達スヘシト雖トモ予ハ之ヲ執ラス而シテ實際ニ在リテハ多クノ保險會社ノ約款ニハ保險料ノ延滞ヲ以テ契約失效ノ原因ト爲ス旨ヲ明記セリ

契約セラレタル期日ニ於ケル保險料ノ不拂ヲ保險契約失效ノ事由ト爲スコトハ

前記ノ如クナリト雖トモ實際之ヲ厲行スルトキハ被保險者ニ對シテ甚殘酷ナル結果ヲ惹起スコトアリ即チ保險契約ヲ解除セント欲スルニモ非ス止ムヲ得サル事情若クハ單純ナル過失ノ爲メニ期日ヲ經過スルコト決シテ無キニ非ス此場合ニ於テ直チニ保險契約ノ效力ヲ失ハシメ被保險者ヲシテ忽チ其利益ヲ失ハシメ多年ノ耐忍ト希望ヲ水泡ニ歸セシムルハ人情ヲ酌マサル所業ナルヲ以テ保險社會ノ習慣トシテ通常猶豫期間ナルモノヲ設定シ正當期日ヲ經過シタル後ト雖トモ該期間内ニ保險料ヲ拂込ムニ於テハ正當期日ニ拂込ミタルモノト見做スコトトセリ此習慣ハ獨リ泰西諸國ニ於ケルノミナラス我國ニ於テモ普ク實行セラレル所ノモノナリ而シテ此設定セラレタル猶豫期間ハ通常之ヲ左ノ二種ニ別ツコトヲ得

第一ハ單純ナル保險料拂込猶豫期間ニシテ其間ニ拂込マレタル保險料ハ全然正當期日ニ拂込マレタルモノト見做サルナリ之ヲ換言セハ正當拂込期日カ到達スルトキハ保險契約者ハ當然保險料ニ相當スル金額ニ對スル債務ヲ負フモノニシテ猶豫期間内ハ契約ノ效力ニ影響セスシテ只此債務ノ辨濟ニ猶豫ヲ與フルノ

ミナリ此期間ニハ恩惠期間榮譽期間保險料拂込猶豫期間等ノ名アリ性質上絶對的ノ猶豫期間ニシテ其間ニ事故發生スルトキハ保險者ハ契約上ノ責任ヲ果スヘキモノナレハ保險期間ノ延長トモ説明セラルルナリ此期間ノ長短ハ保險者ノ隨意ニ定ムル所ナリト雖トモ火災保險ニ於テハ通常十五日ヲ附與シ生命保險ニ在リテハ三十日ヲ許スコト多ク其他ノ保險種類ニ於テモ亦之ニ類似ノ規定アリ然レトモ保險期間ノ短キニ過キタル契約ニハ通常之ヲ與ヘスシテ一箇年以上ニ亘ル契約ニ對シテ與フルヲ普通トス我國ニ於テハ以前ハ火災保險業者モ更新保險料ノ拂込ニ對シ一週間ノ猶豫ヲ與フルノ習慣アリシカ數年前ヨリ全ク之ヲ廢シ獨リ生命保險會社カ通常三十日ノ期間ヲ設定スルノミ而シテ延滞保險料ニ對シテ利息ヲ徵收スルノ規定多クノ約款ニ掲ケラルルト雖トモ實際之カ履行セラルコト無キカ如シ

第二ノ猶豫期間ハ實質上稍制限セラレタル猶豫期間ニシテ通常生命保險ニ於テ第一種ノ期間ノ上ニ更ニ附與セララル所ノモノナリ即チ此期間ハ一旦效力ヲ失ヒタル契約ヲ回復シテ將來ニ進行セシムル所ノモノニシテ危險カ未タ發生セザ

ル場合ニ於テノミ契約ノ繼續ヲ許スモノナリ此期間ハ又回復期間ト稱シ其相手方ニ對スル恩惠ハ保險契約者ヲシテ單ニ解約ノ損失ヲ免レシムルニ過キサカ故ニ保險者ハ比較的ニ長期間ヲ之ニ與ヘ例ヘハ第一種ノ猶豫期間經過後尙二箇月間ノ保險契約者カ保險料及ヒ延滞利息ヲ拂込ムニ於テハ契約ノ回復ヲ承諾スルコトトセリ而シテ此場合ニ被保險者ノ生存セル事實ヲ以テ足レリトセス其健全ナルコトヲ條件トスル旨ヲ規定セル約款アリ此ノ如キ回復期間ハ恩惠ノ程度少キモノト言ハサルヘカラサルナリ(猶豫期間ニ就テハ拙著保險論集第三一二頁乃至第三七〇頁參照)拂込期日カ休日又ハ大祭日ニ際シタルトキハ當然一日ノ猶豫アリト謂ハサルヲ得ス即チ大祭日又ハ日曜日ハ一般ノ休日ト謂フコトヲ得スト雖トモ少クトモ保險者ハ店舗ヲ閉チテ休業スルノ日ナレハ此休業日ニハ保險者ハ保險契約者ニ對シテ保險料ノ拂込ヲ強制スルヲ得ス獨逸商法第三百二十九條ハ明ニ之ヲ定メタリ而シテ我國ニ於テハ民法第四十二條ニ據リテ斯ク解釋セサルヘカラサルナリ

### 第五款 保險料拂込ノ場所

保險料拂込ノ場所モ亦當事者ノ合意ニ由リテ定ムヘキモノナレトモ特別ノ意思

表示ナケレハ保險者ノ營業所即チ保險會社ノ本店支店又ハ代理店へ拂込ムヘキモノト謂ハサルヘカラス何トナレハ保險契約ハ少クトモ保險者ノ方面ヨリシテ商行爲ニシテ一方ニ對シテ商行爲ナラハ之ヲ商行爲トスヘキカ故ニ舊法第二百七十八條ノ規定ニ據リ債權者ノ營業所ニ就キテ支拂フヘキモノナレハナリ故ニ保險料ハ原則トシテハ持參債務ニシテ尙保險業者ハ通常其保險約款ヲ以テ之ヲ明定セリ然ルニ實際ニ於テハ我國ニ於テモ又々外國ニテモ保險會社カ集金人ヲ派遣シ保險契約者ニ就テ之ヲ請求スルノ習慣アリ約款其他ノ文言ヲ以テ保險者カ之ヲ明約シタルトキハ勿論取立債務ト爲ルヘキモノナレトモ然ラサル場合ニハ此習慣ノ爲メニ疑義ノ發生スルコト少カラス例ヘハ集金人カ拂込期日ニ保險契約者ヲ訪問セサリシカ爲メニ保險料ノ拂込カ延滞ニ歸シ時ニハ猶豫期間ヲモ經過シテ被保險者カ死亡シタル場合ノ如キニ在リテ保險者ハ契約ノ失效ヲ主張シテ保險金ノ支拂ヲ拒ミ被保險者側ハ延滞ノ責ヲ保險者ニ歸シテ保險金ノ支拂ヲ促スヘシ現ニ先年守屋博士遺族ノ内國生命ニ對スル事件アリテ一時社會ノ耳目ヲ聳テシメタリ然レトモ卑見ヲ以テスレハ保險者カ集金人ヲ派シテ保險料ヲ

徴收セシムルハ唯保險者カ其營業ノ利便上即チ主トシテ保險料ノ延滞ヲ防キ契約ノ失效解除ヲ減少セシメンカ爲メニスル任意ノ行爲ニシテ之ヲ拘束セラルヘキモノニ非ス何トナレハ保險者ヲシテ必ラス期日ニ於テ保險契約ニ就テ之ヲ請求セシムルコトハ數多ノ保險契約者ヲ有セル保險者ニ對シテ之ヲ強ユルヘカラスルコトナルト同時ニ期日ニハ保險契約者カ必ラス自宅ニ在リテ保險料ヲ用意シ居ルモノト假定セサルヘカラス而モ事實ハ之ニ反シ保險契約者ハ通常此用意ニ乏シクシテ或ハ不在或ハ都合不良等ノ言譯ノ下ニ再三足ヲ運ハシムルノ狀況ナリ而シテ保險者カ尙之ニ羈束セラルルト言ハンカ何人モ其事理ニ協ハサルヲ覺ルヲ得ヘキナリ況ンヤ保險會社カ其約款ニ於テ保險料ハ會社ノ本支店又ハ代理店へ拂込ヘキモノト明定セルニ於テヤ故ニ保險料ハ保險契約者ヨリ約定ノ期日ニ拂込マサルヘカラサルモノニシテ幸ニ集金人來ランカ之レニ交付スルノ便アリト雖トモ猶豫期間モ將ニ經過セントシテ尙集金人來ラサレハ集金人ノ派遣ヲ督促シ若クハ自ラ保險料ヲ持參シテ拂込マサルヘカラサルナリ

## 第五章 保險契約ノ當事者

保險法 保險契約ノ當事者



## 第一節 保險者

保險契約ニ於ケル當事者ノ一方ヲ保險者ト稱シ即チ損害填補ノ責ニ任シ若クハ相手方又ハ第三者ノ生死ニ關シテ保險金支拂ノ責ニ任スル者ニシテ其權利義務ノ詳細ニ就テハ次章ニ講述スヘシト雖トモ今先ツ其資格ニ就テ言フナラハ昔ハ之カ一人ノ保險者少カラス現ニ英國ニ於テハロイド組合ニ屬スル一個人ノ保險者アリト雖トモ此ノ如キ歴史的產物ヲ除キテハ現今世界各國ノ法律ニ於テ一個人ノ保險業者ヲ認許セス而シテ保險契約ハ事實上同一ノ保險者カ多數ノ保險契約者ト同種若クハ類似ノ契約ヲ締結スルニ於テ存在セルカ故ニ保險者ハ皆保險業者ニシテ現今我邦ニ於テハ之ヲ株式會社ト相互會社ニ限定セララルナリ獨逸ニ於テハ此二者ノ外相互保險組合ヲ許セリ而シテ是等ノ會社又ハ組合ハ其目的ニ於テハ營利的タルト相互的ノ別アリト雖トモ法律上ノ形態ニ於テハ保險者ノ地位ニ在ルモノナリ

此ノ如ク保險者カ會社又ハ組合ノ如キ法人ニ非サレハ不可ナリトセラルル理由ハ營利的ナル保險者ニ就テハ之カ多數ノ保險契約ヲ締結シテ廣ク長キ責任ヲ負フ者ナルカ故ニ命數ニ際限アリ資力ニ變動アル一私人ヲ以テハ之ヲ營ムニ適當ナラス自己ノ利益ト共ニ社會ノ福利ヲ進ムヘキ公共的ノ法人即チ株式會社ニ限ルト爲シタルモノニシテ而シテ相互組織ノ保險團體ニハ契約上ノ關係ニ於テ保險者ノ地位ニ立ツヘキ者ヲ要スルヨリシテ特ニ相互會社ナル形式ヲ認メ之ニ法人格ヲ附與シタルナリ

右ノ如キ資格上ノ制限ノ外諸國ノ立法ニ於テ頗ル綿密ナル要求アリ多クハ保險業法又ハ保險會社法ト號クル特種ノ法律ニ依リテ規定セラル我國ニ於テモ明治三十三年七月一日ヨリ施行セラレタル保險業法ナルモノアリ保險事業ヲ營ムニハ株式會社及ヒ相互會社ニ限ルトスル外之ヲ爲スニ就テ主務官廳ノ免許ヲ要シ他ノ事業トノ兼營ヲ許サレス殊ニ生命保險會社ハ他種ノ保險ヲ兼營スルヲ得ス資本金額ノ最低ヲ限定セラレ其他諸種ノ監督ニ服シ特別ノ制裁ヲ被ル等ノ重要ナル事故アリ予カ保險法ヲ講スルニ就テハ保險業法論中ニ之ヲ説明スルヲ例トセシカ本講義ハ時間ノ都合上保險契約法ヲ專ラトスルヲ以テ茲ニハ之ヲ省略ス

(保險業法ノ講究及ヒ保險會社ノ監督ニ就テハ拙著保險法及ヒ保險學綱要參照ナリ)

保險法 保險契約ノ當事者 保險者

## 第二節 保險契約者

保險契約ヲ締結シテ保險者ノシテ危險ノ引受ヲ爲サシメント欲スル者ハ被保險利益ヲ有スル者タルヘキハ自然ノ結果ニシテ初ハ此者カ自ラ保險契約ノ當事者ト爲リ保險者ノ對手ト爲リテ保險契約ヲ締結シタリ此時代ニ在リテハ保險者被保險者ノ名稱ハ恰モ原告被告加害者被害者ト言フカ如ク對手關係ヲ示スモノトシテ存在セリ然ルニ或場合ニ於テハ被保險者自身カ契約ノ締結ニ關係セスシテ他人カ契約ヲ締結スルヲ便利トスルコトアリ例ヘハ自身利益ヲ有セサルモ此利益ニ關スル物件ヲ保管又ハ使用スル者或ハ之カ質權者其他類似ノ關係ヲ有スル者ニシテ被保險者ノ爲メニ該利益ヲ保護セントスルコト屢之アリ又ハ事務管理ノ爲メ或ハ全ク好意恩惠ノ心ヲ以テ他人ノ利益ヲ保險セントスル者アリ此ノ如キ意思ト好意ハ社會ノ財産ヲ保全シ人々ノ間ニ存在スル信用ト情誼ヲ進ムル等ノ爲メニ嘉スヘキ事實ナルヲ以テ之ヲ禁スヘキニ非サルハ固ヨリ進ンテ之ニ對スル法律的關係ヲ明ニスル必要上新ナル名稱ヲ作り此ノ如ク他人ノ爲メニ保險契約ヲ締結スル者ヲ保險契約者ト稱スルニ至レリ而シテ此名稱ノ生シタル上ハ

總テノ場合ニ於テ保險者ノ對手ヲ保險契約者ト稱スルヲ以テ文字ノ一致ヲ得ルモノト言ハサルヘカラス是ニ於テカ現今ニ於テハ他人ノ爲メニスルト自己ノ爲メニスルトヲ問ハス保險者ニ對シテ保險契約ヲ締結スル者ヲ保險契約者ト稱スルニ至レリ

我商法ハ之ニ關シテ左ノ規定アリ

第四百一條 保險契約ハ他人ノ爲メニモ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ保險契約者ハ保險者ニ對シテ保險料ヲ支拂フ義務ヲ負フ

ト而シテ我商法ニ於テハ保險契約者カ契約ノ當事者ナリトノ明文ハ存セサルモ第三百八十四條及ヒ第四百二十七條ノ報酬即チ保險料ヲ支拂フコトヲ約スル者ヲ保險者ノ相手方トスル文詞ヲ照應シテ斯ク解釋スルコトヲ得ルナリ

斯ク保險契約者ハ契約ノ當事者タルカ故ニ一般ノ契約ヲ締結スル能力アル者ナラサルヘカラス法律上ノ無能力者ハ保險契約者タルヲ得ス彼等ノ締結シタル契約ハ民法ノ規定ニ依リテ無効又ハ取消シ得ヘキモノトス然レトモ保險契約中生命保險ハ一般人類ノ生存並ニ社會ノ繁榮ノ爲メニ必要ナル行爲ニシテ同時ニ之

ニ對スル保險料ヲ負擔スルニトハ少額ナル貯蓄ヲ爲スカ如キモノニシテ元本ヲ處分運轉スルカ如キ大事件ニ非サルヲ以テ法律上ノ無能力者ニモ保險契約者タルコトヲ許ス立法例アリ例ヘハ妻カ夫ノ許諾ヲ得スシテ保險契約者タル場合未成年者カ後見人ニ依ラスシテ自ラ契約ヲ締結スル場合等ニ於テハ多クノ外國ニ於テハ特別法ヲ以テ之ヲ認ムルコトトセリ例ヘハ英國ニ於テ既婚婦財産法ヲ以テ前者ヲ保護シ其判例ニ於テ未成年者ノ結ヒタル保險契約ハ未成年者ヲ拘束セサレトモ保險者ヲ拘束スト定ムルカ如シ我國ニ於テハ未タ是等ノ特別法無キヲ以テ無能力者ノ締結セル保險契約ハ保險者ニ取リテ取消サルルノ危險アルヲ以テ保險者ハ之ヲ締結セサルナリ

### 第三節 被保險者

被保險者ハ保險契約ノ當事者ニ非サルモ保險契約ノ利益ヲ享受スル者ニシテ即チ被保險利益ヲ有シ事故ノ發生ニ方リテ損害ノ填補ヲ受クヘキ者ナリ即チ家屋ノ所有人ハ火災ニ因リテ損害ヲ被ルコトアルカ故ニ之カ保護ヲ受ケンカ爲メニ被保險者タルヲ得ルナリ之ト同シク吾人ハ自己ノ生命ノ損傷ニ因リテ損害ヲ被

ルコトアルカ故ニ被保險者タルヲ得ルナリ自己ノ生命ノ損傷ニ因リテ損害ヲ被ルトハ例ヘハ疾病ニ罹リ負傷ヲ爲シ又ハ老衰ニ因リテ費用ヲ要スルカ如キヲ言フナリ而シテ死亡モ亦損害ヲ惹起スルモノト言フヲ得ヘキカ故ニ吾人ハ之ニ對シテ自ラ被保險者タルヲ得サルヘカラス然レトモ此場合ニ於テハ損害ノ填補ヲ受クル所ノ自身ハ既ニ死セルカ故ニ死セル者カ填補ノ利益ヲ受クルコトノ不能ナルノミナラス生者ニ對シテコソ損害ナルモノ發生シ得レトモ死者ニ對シテ損害ノ發生ヲ想像シ得ヘカラストノ反對說アルカ故ニ凡テノ死亡保險ニ於テハ被保險者自身ノ利益ヲ目的トセス其相續人ノ利益ヲ目的トシ即チ此不定ナル相續人カ實際被保險者タルモノト解釋セサルヘカラサルナリ是ニ於テカ死亡保險ニ於ケル被保險者ナル文字ハ生存保險又ハ損害保險ニ於ケル被保險者ト其地位ヲ異ニシ恰モ火災保險ニ於ケル家屋ノ如ク保險ノ目的タルニ過キサルナリ此ノ相續人カ本人ノ生命ニ就テ利益ヲ有ズルト同時ニ親カ子ノ生存ニ付キ利益ヲ有シ妻カ夫ノ死亡ニ就テ損害ヲ被ル場合ハ無論想像セラルヘキモノナルヲ以テ此ノ如キ場合ニハ親又ハ妻カ被保險者ト爲リテ子又ハ夫ノ生命ニ付キ自己ノ利益ヲ

保險スヘキヲ至當トス然レトモ多クノ法律及ヒ習慣ニ於テハ此ノ如キ場合ニ於ケル親又ハ妻ヲ保險者ト言ハス被保險者ナル文字ハ必ラス死亡生存ノ主體タル生命ノ本體即チ此場合ニ於ケル子若クハ夫ヲ指スモノトセリ  
 上述ノ議論ハ生命保險ニモ亦被保險利益ノ存在スルコトヲ前提シタルモノニシテ之ヲ前提スル能ハストセハ被保險者ナル者ノ觀念モ亦消滅セサルヲ得サルナリ而シテ我商法ニ於テハ損害保險ニ在リテハ明ニ被保險者ヲ以テ保險契約ニ依リテ生スル利益ノ享受者タラシメ第四百二條ニ左ノ規定アリ  
 保險契約者カ委任ヲ受ケスシテ他人ノ爲メニ契約ヲ爲シタル場合ニ於テ其旨ヲ保險者ニ告ケサルトキハ其契約ハ無効トス若シ之ヲ告ケタルトキハ被保險者ハ當然其ノ契約ノ利益ヲ享受ス  
 然ルニ生命保險ニ在リテハ此條項ヲ適用又ハ準用セス是レ被保險者ノ性質カ全ク損害保險ニ於ケルト異ナレルカ故ナリ

#### 第四節 保險金受取人

前述ノ如ク被保險者ノ死亡ニ際シテ保險金ノ支拂ヲ爲ス所ノ保險ノ種類ニ在リ

テハ被保險者自身カ保險金ヲ受取ルコト能ハサルヲ以テ別ニ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ定ムルノ必要生ス之ヲ保險金受取者ト稱シ我商法ニハ保險金額ヲ受取ルヘキ者ト言ヘリ即チ商法第四百二十八條ニ之ニ關スル數多ノ規定アリ  
 生存保險ノ場合ニハ被保險者自身保險金額ヲ受取ルコトヲ得ルヲ以テ保險金受取人ヲ別ニ指定スルヲ要セス自然本人ヲ以テ受取人ト爲スコトトシ保險會社ニテハ之ヲ明定スルモノアリト雖トモ被保險者生存ノ場合ニモ被保險者以外ノ者カ受取人タルヲ得ストハ言フヲ得ス例ヘハ養老保險ノ如キ被保險者カ一定ノ老年ニ達シテ保險金ノ支拂ヲ受クルニ當リ其子又ハ其他ノ親族カ之ヲ受取ルコトヲ妨ケサルカ如キ是ナリ  
 次ニ死亡保險ニ在リテハ必ラス被保險者以外ニ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定セサルヘカラサルカト言フニ必シモ然ラス何人ヲモ指定セサルトキハ相續人ノ爲メニスル契約ト見做スコトヲ得ヘク從テ相續人ノ決定セサル間ニ於テハ自己ヲ受取人ト指定シ置クモ亦妨クル所ナシト思惟スルナリ然レトモ他人ノ生命ヲ保險ニ付シ其死亡ニ付テ保險金ヲ受クヘキ場合ニ於テハ保險金受取人ノ範圍ヲ

制限セサルトキハ罪惡ノ發生ヲ招クノ虞アリトシ我商法ハ之ヲ被保險者ノ相續人及ヒ親族ニ限リシカ最近ノ改正ヲ以テ被保險者ノ同意アル者ト改メタリ抑保險金額ヲ受取ルヘキ者トシテ契約中ニ指定セラレタル者ノ權利ノ性質如何トノ問題ハ常ニ發生スル所ノモノニシテ之ニ對シテ三說アリ第一說ハ保險金受取人ノ權利ハ恰モ遺贈ヲ受クル者ノ權利ノ如ク本人ノ死亡ニ因リテ始メテ確定スルモノニシテ其以前ニ在リテハ何時ニテモ本人ノ意思ニ依リテ變更スルコトヲ得ルモノナリト言フニ在リ此說ハ英法ニ法ケル觀念ニシテ現行商法制定前ニ在リテハ我國生命保險會社ニ在リテハ皆此主義ニ基キテ保險規則ヲ定メ即チ保險契約者ノ請求ニ依リテ會社ハ保險金受取人ノ變更ヲ承認シタリシナリ然レトモ現行商法ノ規定ニ照ストキハ斯ク主張スヘキ理由頗ル薄弱ナリ第二說ハ被保險者以外ニ保險金受取人ヲ指定シタル保險契約ハ即チ民法ニ所謂第三者ノ爲メニスル契約ニシテ第三者ノ權利ハ其受益ノ意思表示ニ由リテ確定スト言フニ在リ此說ハ我商法ノ生命保險ニ關スル規定ニ照應シテ最適切ナルカ如クナルヲ以テ最多クノ贊成者ヲ有スルニ似タリ而シテ第三說ハ保險金受取人ノ權利ヲ初ヨ

リ確定セルモノト解釋スルモノニシテ即チ生命保險契約ニモ被保險利益ノ存在ヲ必要トシ生命保險契約ハ確定セル保險金受取人ノ被保險者ニ關シテ有スル利益又ハ相續人タルヘキ者カ被保險者ニ關シテ有スル利益並ニ被保險者カ自己ニ關シテ有スル利益ヲ保險スルモノニシテ保險金受取人ハ確定シテ動スヘカラス之ヲ動カストキハ即チ契約ノ實質ヲ破壞スルモノナレトモ受取人ノ承諾サヘアラハ便宜上契約其モノニハ影響ヲ與ヘス他ノ者ヲシテ新ナル受取人タラシムルヲ得ルナリト言フニアリ此說ハ割合贊成者ヲ得サル說ナルモ予ハ本來之ヲ主張セリ然ルニ現行政正商法ハ之ヲ明定シ即チ第四百二十八條ノ二ニ於テ左ノ規定ヲ設ケタリ

保險金額ヲ受取ルヘキ者カ第三者ナリシトキハ其第三者ハ保險契約ノ利益ヲ享受ス但保險契約書カ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ

## 第六章 保險契約ノ效力

保險契約ノ效力トハ契約ノ成立ニ因リテ當事者間ニ發生スル所ノ權利義務ノ關係ヲ指スモノニシテ次ニ節ヲ逐ヒテ之ヲ概述セントス

## 第一節 保險者ノ權利義務

保險者ノ權利ハ相手方ヨリ保險料ヲ要求シ事故ノ發生シタル後ハ保險ノ目的ニ關スル權利ヲ取得スルニアリ而シテ其義務ハ頗ル單純ニシテ事故ノ發生ニ當リテ財産ノ給付ヲ爲スニ在リ但此義務ノ前提條件トシテ相手方ニ對シ種々ノ要求ヲ爲スノ權利アリト雖モ此權利ハ即チ相手方タル保險契約者並ニ被保險者若クハ保險金受取人ノ義務ナルヲ以テ次節ニ於テ之ヲ説カン

### 第二節 保險契約者被保險者及ヒ保險金

#### 受取人ノ權利義務

#### 第一款 保險契約者被保險者及ヒ保險金

##### 受取人ノ權利義務

保險契約者ハ保險契約ノ當事者ナリト雖トモ被保險利益ヲ有スル者ニ非サルカ故ニ事故ノ發生ニ當リテ保險者ヨリ損害填補又ハ保險金額ヲ受クル權利ヲ有セス然レトモ契約ニ關スル其他ノ權利ハ凡テ其有スル所ニシテ即チ任意又ハ法律ノ規定ニ因リテ契約ヲ解除スルノ權、保險契約ニ因リテ生シタル權利ヲ讓渡スノ

權、保險金受取人ヲ指定スル權利等ヲ有スルナリ

被保險者ハ損害保險ニ在リテハ損害填補ヲ受クルノ權利ヲ有シ生命保險ニ在リテハ生存ノ場合ニ保險金額ヲ受取ル權利ヲ有スルコトヲ得ルモ是レ寧ロ被保險者トシテニアラスシテ保險金額ヲ受取ルヘキ者トシテ有スル權利ナリ而シテ疾病保險傷害保險等ニ於テハ死亡ノ外通常被保險者本人ヲ以テ保險金ヲ受取ルヘキ權利者トセリ

我商法ニ所謂保險契約ニ因リテ生シタル權利トハ其文字ノ上ヨリスレハ以上總テノ權利ヲ指示スヘク了解セラルルカ如キモ法律ノ精神ハ單ニ損害填補若クハ保險金額ヲ受クヘキ權利ヲ指スニ在ルカ如シ

#### 第二款 保險契約者被保險者及ヒ保險金

##### 受取人ノ義務

#### (一) 告知義務

告知義務ハ保險契約ノ前提條件ニシテ之ヲ以テ直チニ保險契約者其他ノ義務ト稱スルハ穩當ヲ缺クト雖トモ告知事項ノ拘束力ハ契約ノ成立ト共ニ發生スルカ

故ニ一ハ記憶ヲ喚起スル爲メニ茲ニ之ヲ擧ケタル其詳細ハ曩ニ説述シタルカ如シ

(二)告知事項ノ變更ニ通知スル義務

告知事項ハ保險契約ノ成立ニ關スル重要ナル事項ニシテ其不陳又ハ虛陳カ契約解除ノ原因ナルト同時ニ之ニ關スル變更ハ又保險契約ノ效力ニ影響ヲ及ホシ或ハ保險者ニ解除權ヲ與フルモノナルヲ以テ保險契約者又ハ被保險者ハ告知事項ノ變更ヲ遲滯ナク通知スルノ義務アリ之ニ就テハ曩ニ危險ノ變更増加ヲ説明セラルノ條下ニ詳論セリ

(三)保險料支拂ノ義務

保險料ノ支拂ハ保險契約者ノ負擔スル所ニシテ被保險者自身カ保險契約者タル場合ハ勿論他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ト雖トモ此義務ヲ負フコトハ商法第四百一條ニ明定セルカ如シ然レトモ保險契約者ト被保險者カ別人ナル場合ニ前者カ破産ノ宣告ヲ受ケ將來保險料支拂ノ義務ヲ盡スコトヲ得サルノ状態ニ陥リタルトキハ被保險者カ之ニ代リテ保險料ヲ支拂ハサルヘカラス但保險契約者カ已ニ保險料ノ全部ヲ支拂ヒタル場合又ハ被保險者カ契約ノ利益ヲ享クルヲ欲セサル場合ハ保險料ヲ支拂フニ及ハサルコト無論ナリ即チ第四百六條ニ左ノ規定アリ

他人ノ爲メニ保險契約ヲ爲シタル場合ニ於テ保險契約者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ保險者ハ被保險者ニ對シテ保險料ヲ請求スルコトヲ得但被保險者カ其權利ヲ拋棄シタルトキハ此限ニ在ラス

(四)利益ヲ保護スル義務

保險契約ハ避クヘカラサル損害ヲ之ニ依リテ保護セント欲シテ被保險者カ之ヲ利用スルナリ故ニ被保險者ハ能フ丈ノ注意ヲ以テ損害ヲ避クルコトヲ勉メ力及ハサル場合ニ於テ始メテ保險者ノ填補ヲ受クヘキモノナルヲ記憶セサルヘカラス自己ノ家屋財産ヲ火災保險ニ付シタリトテ火ノ用心ヲ粗末ニシ或ハ近傍ヨリ出火シテ自家ニ延燒シ來ルヲ見ナカラ消防ニ盡力セス又ハ荷物ヲ搬出セスシテ冷然タルカ如キハ自己ノ財産ヲ保護スルノ意思ナキ者ナルカ故ニ保險契約ノ利益ヲ拋棄シタル者ト見做スヘク又此ノ如キ不心得ナル者ヲ保護スルハ公安上却

保險法

保險契約ノ效力

保險契約者被保險者及ヒ保險金受取人ノ權利義務

テ害アリ故ニ商法第四百十四條ニ左ノ規定アリ

被保險者ハ損害ノ防止ヲカムルコトヲ要ス但之カ爲メニ必要又ハ有益ナリシ  
費用及ヒ填補額カ保險金額ニ超過スルトキト雖トモ保險者之ヲ負擔ス  
而シテ此義務ヲ特ニ被保險者ニ負ハシメタルハ被保險者ニ只利害關係ヲ有シ且  
相當ナル防衛ヲ爲シ得ルニ最便利ナル地位ニアレハナリ而シテ損害ノ防止トハ  
危險ノ防止ト混同スヘカラス損害ハ危險發生ノ結果ナルカ故ニ危險發生シテヨ  
リ時ノ經過ト共ニ漸々損害額カ増加スル如キ場合無キニ非ス此ノ如キ場合ニハ  
管ニ危險ノ發生ニ對シテ充分ニ防禦ヲ爲ササルヘカラサルノミナラス發生ヲ開  
始シタル損害ヲシテ成ルヘク其額ヲ少量ナラシムヘク盡力セサルヘカラサルナ  
リ  
又防止ノ費用ヲ保險者ニ負擔セシムルハ此クシテマテ被保險者ヲ防止ニ盡力セ  
シメントスルカ爲メト又防止ノ爲メニ利益ヲ被ルハ此場合ニ保險者ナレハナリ  
然レトモ此費用カ防止ノ爲メニ必要又ハ有益ナリシヤ否ヤニ付テハ事實上ノ問  
題ト爲ルヲ免レス不必要又ハ無益ナル防止ヲ試ミ其費用ヲ多額ニ請求セララル

危險ヲ免レンカ爲メニ我國ノ火災保險契約ニハ防止ノ費用ハ保險者之ヲ負擔セ  
スト規定セラレタルトモ予ハ此ノ如キ勝手ナル規定カ有效ナリヤヲ疑ハサルヲ  
得サルナリ公安上法律カ防止ノ義務ヲ被保險者ニ負ハシムル以上ハ之ニ反對ノ  
規定ヲ設クル能ハサルヲ當然トセサルヘカラス然ラハ又此規定ノ效驗ヲ全カラ  
シメントスル規定ヲ任意ニ撤去スルヲ得サルニ非スヤ  
茲ニ直接ニ損害ノ防止ト言フ能ハサルモ又間接ニ損害ノ防止ニ關スル規定アリ  
即チ商法第三百九十六條ノ後段ニ

「……保險契約者若クハ被保險者ノ惡意若クハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル  
損害ハ保險者之ヲ填補スル責ニ任セス」

トアルコトニシテ惡意ノ場合ハ之ヲ除キ重大ナル過失ノ爲メニ損害ヲ發生セシ  
メタル場合ハ防止ヲ怠リ又ハ利益ヲ保護スルニ付テ懈怠アリト看做サルヘキモ  
ノナリ然レトモ此條並ニ第四百十四條ハ損害保險ニノミ適用セラレ生命保險ニ  
ハ適用又ハ準用ナシ是レ吾人カ疾病ニ罹ルニ醫藥ヲ施サスシテ死ヲ待ツカ如キ  
又ハ不攝生ヲ爲シテ生命ヲ短縮スルカ如キハ此義務ニ違反セリト言フヲ得ヘキ



モ此ノ如キハ至靈ナル人類ノ普通一般ニ爲ササルモノトノ推定ト且之ヲ證明スルノ困難ナルカ爲メナルヘシト雖トモ生命保險ニ於テモ明ニ此義務ニ反セリト思ハルル場合ナキニ非ス例ヘハ電車ノ疾走スルニ飛下リヲ爲シ負傷ノ結果死ニ至リタルカ如キハ重大ナル過失ヨリ死亡ヲ惹起セリト言フヲ得ヘク又相當ノ醫療ヲ加ヘサヘスレハ回復ノ見込アリシニモ拘ハラズ放任シタリシ爲メ死ニ至リタリトノ證明モ之ヲ爲シ得ル場合ナキニ非ス是レ即チ防止ヲ怠リシ場合ニ非スヤ此二條ヲ生命保險ニ準用スルハ必シモ不可能ニ非ス傷害保險ニ在リテハ通常之ニ關スル規定ヲ約款中ニ設ケタリ

最後ニ被保險者カ防止義務ヲ怠リタル制裁如何ト問フニ我商法ニ於テハ第四百十四條ノ義務違反ニ對シテ何等ノ制裁ヲモ規定セサルカ故ニ或學者ハ被保險者カ其爲メニ保險者ニ被ラシメタル損害ヲ賠償スルノ責ヲ負フニ過キスト説キ或學者ハ保險者ノ填補義務ヲ免除スルモノナリト言ヘリ而シテ理論上ハ姑ク措キ事實上被保險者カ防止義務ヲ怠リシ爲メ損害ヲ生セシメタリトスレハ保險者ヲシテ損害填補ノ責ニ任シ而シテ翻テ其損害ノ賠償ヲ請求セシムルト云フカ如キ

迂遠ナル方法ヲ執ラシムルヲ要セス保險者ヲシテ填補ノ義務ヲ免レシムルヲ適當ナリトス

**(五) 損害ヲ通知シ且之ヲ證明スルノ義務**

危險發生シテ損害起リタル場合ニハ保險契約者又ハ被保險者若クハ保險金受取人ハ直チニ其旨ヲ保險者ニ通知シ且之ヲ證明セサルヘカラス直チニ通知セサルヘカラサル必要ハ保險者ヲシテ充分速ニ損害ノ調査ヲ爲サシメ又損害ノ防止ヲ行ハシメンカ爲メナリ例ヘハ生命保險ニ於テ被保險者カ死亡シ葬式ヲ濟マセ尙數日ノ後ニ之ヲ保險者ニ通知スル如キコトアラハ該死亡ニ就テ保險者カ疑問ヲ挾ムトキト雖トモ之ヲ解クノ手懸ヲ埋沒セシメラレテ又如何トモスル能ハサルノ不利ヲ來スカ如ク又海上保險ニ於テ貨物ノ沈没ヲ速ニ保險者ニ通知セハ保險者直チニ引揚ニ着手シテ出來得ル限り損害ヲ免レ得ヘキモ然ラサレハ損害ヲ増加セシメ若クハ遂ニ全部損失トナル場合アルカ如シ故ニ我商法第四百十二條ニ

保險者ノ負擔シタル危險ノ發生ニ因リテ損害カ生シタル場合ニ於テ保險契約

者又ハ被保險者カ其損害ノ生シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

トアリ又第四百三十二條ニハ左ノ規定アリ

保險契約者又ハ保險金額ヲ受取ルヘキ者カ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

所謂遲滯ナクト云フハ出來得ル限り速ナルノ意ナルヘシト雖トモ事實上爭ヲ惹起スノ餘地多キカ故ニ通常當事者間ニ一定ノ期間ヲ設ケ保險契約者其他カ此期間内ニ通知ヲ發スル能ハサリシトキハ其理由ノ正當ナルコトヲ證明シ得 場合ノ外義務ノ不履行ト見做サルルコトトセリ而シテ此義務不履行ニ對スノ制裁ハ我商法ノ規定セサル所ナレトモ義務者カ之ニ因リ生シタル損害ヲ賠償セサルヘカラスト言フノ說ハ實際迂遠ナルヲ以テ之ニ依リテ保險者カ填補ノ責ヲ免ルルコトトスルヲ適當ナル解釋ナリトセサルヘカラス

損害ヲ證明スルノ義務ハ被保險者又ハ保險金受取人ニ於テ當然存在スル所ノモノニシテ例ヘハ生命保險ニ在リテハ主治醫ノ死亡證明書及ヒ戶籍吏ノ證明ヲ以テ被保險者ノ死亡ヲ證シ火災保險ニ於テハ損害調査海上保險ニ於テハ海損計算書ヲ提出セシムルカ如シ

(六) 保險ノ目的ニ付キ有セル權利ヲ讓渡ス義務

損害保險ニ在リテ被保險者カ損害ノ填補ヲ受ケタルトキハ從前其目的ニ付テ有シタル權利ヲ保險者ヘ讓渡ササルヘカラス然ラサレハ被保險者ハ損害ノ爲メニ却テ利益ヲ博取シ得ルノ結果ヲ生スレハナリ而シテ被保險者カ保險ノ目的ニ就テ有シタル權利ニハ二種アリ一ハ直接ニ其目的上ニ存在スル權利ニシテ一ハ第三者ニ對スル損害要償ノ權利ナリ保險者ハ此二者トモ取得スヘキモノナレトモ其取得スル限度ハ彼カ保險ノ目的ニ付テ損害ヲ填補シタル範圍内ナラサルヘカラス即チ一部保險ノ場合ニハ其權利ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ヲ以テ定メ又保險金額ノ一部ヲ支拂ヒタル場合ニハ保險者ハ其比例ヲ以テ權利ヲ取得スヘキ道理ナリ即チ商法第四百十五條ニ

保險ノ目的ノ全部カ滅失シタル場合ニ於テ保險者カ保險金額ノ全部ヲ支拂ヒタルトキハ被保險者カ其目的ニ付キ有セル權利ヲ取得ス但保險價額ノ一部ヲ

保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ權利ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

トアリ然レトモ注意スヘキハ此條文カ全部損害ノ場合ノミヲ規定シタルコトニシテ一部損害ニ就テハ問フ所ナキヲナリ例ヘハ保險價額一千圓ノ家屋ニ一千圓ノ保險ヲ付シ之レカ全部焼失シテ保險者カ一千圓ヲ支拂ヒタル場合ニハ殘留物例ヘハ半燒ノ木石材金物類ハ全部保險者ノ所有ニ歸スト言フナリ而シテ保險金カ五百圓ナリシ場合ニハ即チ千圓ニ對スル五百圓即チ二分ノ一ノ割合ニ依リテ權利ヲ取得スルト言フナリ然レトモ之ヲ全部損失ノ場合ニ限リ一部損失ノ場合ヲ問ハサルハ何故ソヤ勿論火災保險ノ如キニ在リテハ一部損失ノ場合ニハ實際生シタル損害ヲ精算シテ燒木燒釘ノ類ハ之ヲ被保險者ニ屬セシメ讓受クヘキ物ナキヲ以テ之ヲ規定セストノ辯明アルヘシト雖トモ運送保險ノ如キニ在リテ被保險貨物ノ一部カ損害ニ遭ヒタル場合(例ヘハ湖川へ落下シ又ハ)ニ其損害ヲ精算シ引揚物又ハ變質物ヲ被保險者ニ屬セシムルハ實際不便ナリ而シテ海上保險ニハ委付ノ規定アリ前記條項ハ獨リ全損ノ場合ノミナラス總テノ場合ニ適用スヘ

ク規定シテ可ナリト思惟ス第三者ニ對スル求償權ニ就テハ規定アリ

損害カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險者カ被保險者ニ對シ其負擔額ヲ支拂ヒタルトキハ其支拂ヒタル金額ノ限度ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ第三者ニ對シテ有セル權利ヲ取得ス

保險者カ被保險者ニ對シテ其負擔額ノ一部ヲ支拂ヒタルトキハ保險契約者又ハ被保險者ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テノミ前項ニ定メタル權利ヲ行フコトヲ得

第三者ニ對スル要償權トハ損害カ第三者ノ過失又ハ不法行爲ニ因リテ發生シタルトキ被保險者カ之ニ對シテ損害賠償ヲ請求シ得ルノ謂ニシテ被保險者ハ既ニ保險者ヨリ損害ノ填補ヲ得タルカ故ニ其限度ニ於テハ第三者ヨリ賠償ヲ受クヘキニ非ス故ニ其權利ハ自然保險者ニ移轉シ保險者ハ第三者ニ對シテ賠償ヲ請求シ得ルナリ但之ヲ以テ被保險者ノ保險者ヨリ填補ヲ受ケタル以外ノ要償權ヲ妨ケタルニ非ス而シテ舊商法ニ於テハ第六百五十八條ニ一般ノ保險者ニ對シテ此要償權取得ノ權ヲ與ヘ又往年ノ商法修正案ニハ損害保險ノ規定ヲ生命保險ニ準

用シタリト雖トモ現行商法ニ於ケル規定ハ損害保険ノミニ對シ生命保險ニハ之ヲ準用セス其意立法者カ生命保險ニハ之ヲ認メスト言フニ在ルヤ將又當然ノ事ナルヲ以テ特ニ規定ヲ設クル必要ナシト言フニアルヤ明瞭ナラスト雖トモ思フニ人ノ生命ニ關スル損傷ハ所謂金錢ニ見積ルヘカラサル損害ニシテ遺族カ被ル所ノ損害ノ見積額ハ確定セル標準ニ據ル能ハス故ニ此内ヨリ保險金ニ相當スル金額ヲ保險者ヘ移轉セシムルコトハ不當ナリト言フニアルカ如シ然レトモ損害賠償ノ理論ト損害保險ニ於ケル規定トノ權衡上ヨリスレハ生命保險ニ於テモ之ヲ許スト解スルヲ寧ロ適當トセサルヘカラス然レトモ生命保險ニ於テハ定期保險ヲ除キ養老保險終身保險等ノ契約ニ在リテハ此場合ニ保險者ノ被リタル損害ハ早ク保險金ヲ支拂ハサルヘカラサル事實ニ存スルノミニシテ其損害ハ之ヲ第三者ニ要償スルコトヲ得ルモ支拂ヒタル保險金全額ヲ請求スルヲ得ス是レ或ハ現行商法カ損害保險ノ規定ヲ生命保險ニ準用セシメサル理由ニ非サルカ損害カ全部ニ就テ發生シ保險者カ保險金ノ全部ヲ支拂ヒタルトキハ保險者カ其目的ニ就テノ凡テノ權利ヲ取得スルコト前述ノ如クナルカ海上保險ニ就テハ之

ニ關聯シテ委付ノ制度アリ斯事業ノ便益ト發達ヲ進捗セシメンカ爲メニ古昔ヨリ存在セル習慣ニシテ即チ海上保險ニ於テ被保險者ノ利益カ殆ント全部失ハレタリト看做サルルモ而モ亦充分ナル手段ヲ施シ又綿密ナル調査計算ヲ行フトキハ利益ニ多少ノ殘留物ヲ發見スルコトナキニ非ス而モ被保險者ニシテ成ルヘク速ニ損害ノ回復ヲ得セシムルコトハ保險契約ノ本旨ナルヲ以テ多少ノ殘留分カ想像セラルル場合若クハ未タ必スシモ損害カ發生シタリト斷定スヘカラサル場合ト雖トモ被保險者ヲシテ速ニ填補ヲ得セシメンカ爲メニ保險ノ目的ニ就テノ權利ヲ保險者ニ讓渡シテ保險金額ノ全部ヲ請求セシムルコトヲ許セリ之ヲ委付ト稱シ我商法第六百七十一條以下ニ規定セラレタリ之ニ依リテ被保險者カ委付ヲ爲シ得ル場合左ノ如シ

- 一 船舶カ沈没シタルトキ
- 二 船舶ノ行方カ知レサルトキ
- 三 船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ
- 四 船舶又ハ積荷カ捕獲セラレタルトキ

保險法 保險契約ノ效力 保險契約者被保險者及ヒ保險金受取人ノ權利義務

五 船舶又ハ積荷カ官ノ處分ニ依リテ押收セラレ六ヶ月間解放セラレサルト

キ

即チ全損ト見做サルヘキ場合ニ限リ被保險者カ之ヲ行ヒ得ルモノニシテ被保險者ノ權利ナリ然レトモ此權利ヲ行フニ就テハ保險ノ目的ニ付テ自己ノ有スル權利ヲ填補金額ノ割合ニ應シテ保險者ヘ讓渡スノ義務ヲ有スルナリ

委付ニ付テハ尙説明スヘキ點多シト雖トモ茲ニハ之ヲ略ス依テ商法ノ條文ニ就テ其大體ヲ了解スヘシ

### 第七章 保險契約ノ時効

商行爲ニ因リテ生シタル債權ノ時効ハ商法第二百八十五條ニ據リ五年ヲ原則トスト雖トモ保險契約ニ就テハ第四百十七條ニ特ニ短キ期間ヲ定メ保險料支拂ノ義務ハ一年保險金支拂ノ義務ハ二年ヲ以テ時効ニ因リテ消滅スト規定セリ是レ蓋シ營業者タル保險者カ一年以上モ其權利ヲ等閑ニ付スル理由ナク又保險金ノ支拂ニ就テハ一ハ證據ノ湮滅ヲ防クト一ハ損害填補ハ長日月ノ後ニ於テ之ヲ爲スハ保險ノ效用ナキカ爲メナリ然ルニ多クノ保險會社ハ被保險者又ハ保險金受

取人カ事故ノ發生ヲ知リタルトキヨリ二箇月内又ハ三箇月内ニ必要ナル書類ヲ提出シテ保險金ノ請求ヲ爲ササルトキハ會社ハ保險金支拂ノ責ヲ免ル旨ヲ其保險約款ニ規定セリ是レ時効ノ規定ニ牴觸スルモノニ非スヤトノ說アリ予ハ之カ時効ノ規定ニ牴觸スルトスルモ時効ノ短縮ヲ定ムルハ有效ナリト信スルモ此ノ如キ場合ニ在リテハ時効ノ規定ニ關セス被保險者カ損害ノ發生ヲ通知スルノ義務ヲ怠リタル場合ノ制裁トモ解釋スルヲ得ヘク二箇月又ハ三箇月ヲ過キテ尙事故ノ發生ヲ通知セサルハ即チ遲滞ノ責ヲ負フヘキモノト解釋スルヲ得ヘキナリ但シ通知ハ之ヲ爲シタルモ而モ保險金ノ請求ハ規定ノ期間内ニ之ヲ爲サザリシナラハ如何此ノ如キ場合ニハ時効短縮有效說ヲ以テ解カサルヘカラサルナリ時効ノ起算點ハ如何ト言フニ保險料ニ就テハ拂込期日(猶豫期間)アラハ其滿了ノ日ヨリシ保險金ニ就テハ事故發生ノ日ヨリスルト保險契約者被保險者又ハ保險金受取人カ事故ノ發生ヲ知リタルトキヨリスルト被保險者又ハ保險金受取人カ保險金ノ請求ヲ爲シタルトキヨリスルトノ三說アリト雖トモ事故ノ發生セルコトヲ被保險者ノ知ラサルコト往々ナキニ非ス之ニモ拘ハラズ直チニ時効ヲ進行

61

セシムルハ酷ニ失スルカ故ニ第二説ニ依リ被保險者其他カ之ヲ知リタルトキヨ  
リトスルヲ寧ロ穩當ナリトセサルヘカラス然レトモ縱令被保險者又ハ保險金受  
取人カ事故ノ發生ヲ知リタルトスルモ損害ヲ證明スルニ多クノ時日ヲ費シ保險  
者ヲ満足セシメ且保險者ノ異議ニ對シ争フ間ニ時效期間ノ經過ヲ見ルノ恐少カ  
ラサルヲ以テ第三説ノ生スルニ至レリト雖トモ其ノ如キ場合ハ實際多數ナラサ  
ルヘク又中斷ノ方法アルカ故ニ第二説ヲ以テ普通ノ解釋ナリト謂ハサルヘカラ  
ス

保 險 法 (終)

